
保健管理センター年報

第 23 号

(平成10年度)

岐阜大学保健管理センター

目 次

まえがき

岐阜大学保健管理センター所長

I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

(1) 平成10年度学生の健康管理業務計画	1
(2) 平成10年度学生・職員定期健康診断実施計画	2
(3) 平成10年度学生定期健康診断実施結果	4
(4) 平成10年度外国人留学生特別健康診断実施概要	17
(5) 平成10年度新入生への全員面接と健康調査UPI実施結果	24
(6) 入学志願者の健康診断	28

2. 職員の健康管理

(1) 平成10年度職員健康診断実施計画	29
(2) 平成10年度職員一般定期健康診断実施結果	30
(3) 平成10年度職員特別定期健康診断実施結果	32
(4) 平成10年度放射線取扱者特別健康診断結果（学生・職員）	34

3. 平成10年度保健管理センター利用状況（学生・職員等）

4. 平成10年度健康診断書申込者数及び発行枚数

II 研究・報告・調査

1. 定期健康診断におけるBMIと収縮期血圧の関係	56
2. 教官との相談・連携について（第2報）	60
3. 平成10年度メンタルヘルス研究協議会	65
4. 喫煙の防止と喫煙者に対する喫煙・分煙活動について	68
5. エイズ講演会について	78

6. 「喫煙の害と禁煙」についての講演会	80
7. 平成10年度保健管理センター業務報告（関係行事を含む）（学生・職員）	83
8. 平成10年度疾病分類別要管理者内訳（学部学生・大学院生・医療技術短大生）	86
9. 平成10年度休学・退学・除籍者調べ	90
III 参考資料	
1. 健康診断受診率	92
2. 学生への配布資料「定期健康診断について」	94
3. 学生の間診票と職員の健康調査票	99
4. 保健管理センター利用案内	103
IV 保健管理センター規則等	
1. 岐阜大学保健管理委員会規則	105
2. 岐阜大学保健管理センター規則	106
3. 岐阜大学保健管理センター学生相談室細則	109
4. 岐阜大学健康管理機構略図	110
5. 保健管理医・学校医及び学生相談室員の担当日時	111
6. 関係職員	113
7. 建物平面図・位置図	115
8. 主要設備備品	116

ま え が き

—— 禁煙運動をしよう！ ——

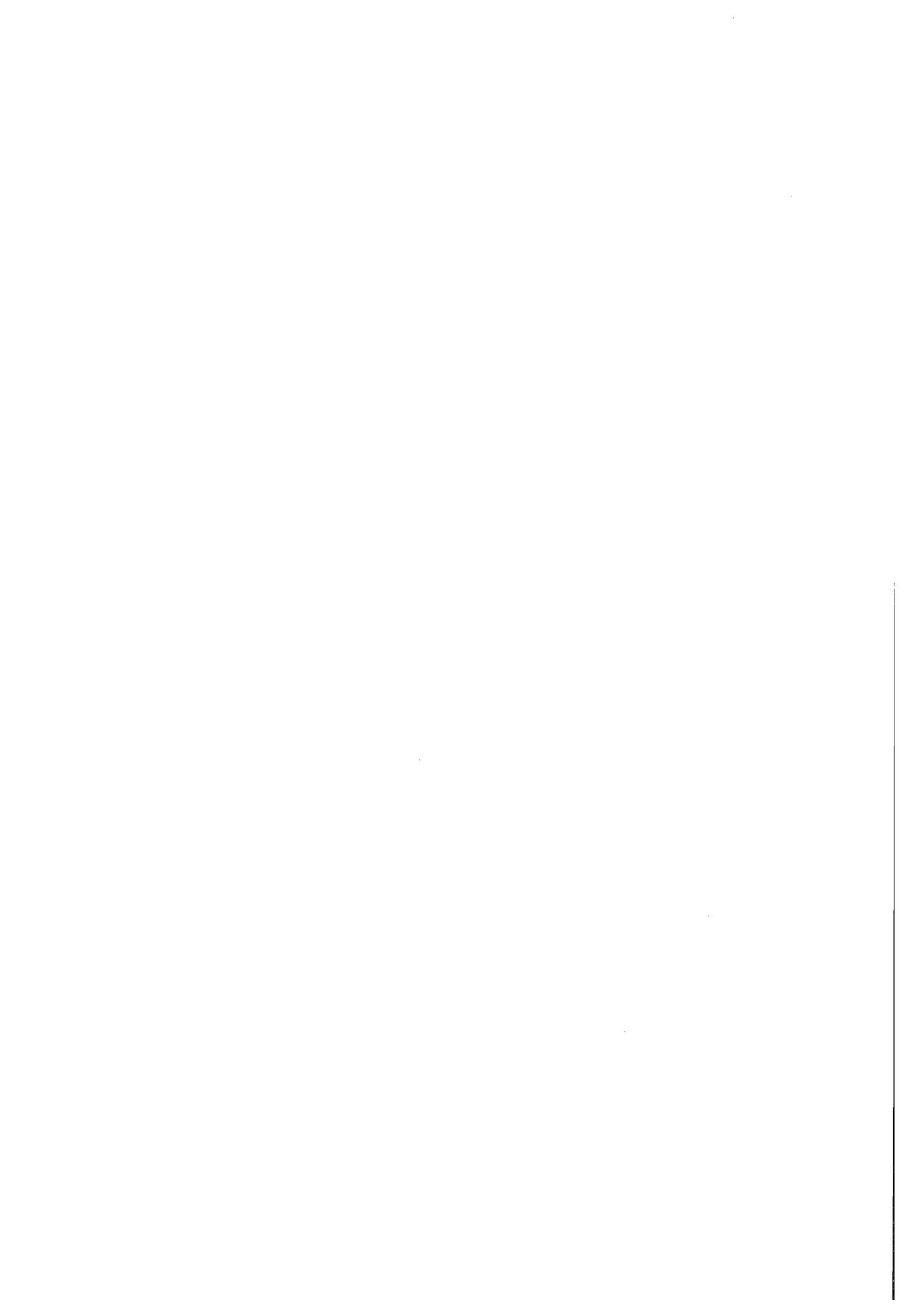
岐阜大学保健管理センター所長 藤原久義
(平成11年4月就任)

平成10年度岐阜大学保健管理センター年報をお届けいたします。本年度も大過なく保健管理センターの業務の遂行が行われたように思います。学校医、学生相談員、職員をはじめとする多くの関係者の御協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

さて、非禁煙者と比較し、喫煙者が狭心症、心筋梗塞になる頻度は2.5倍高く、特に高コレステロール血症や高血圧症を合併している場合は8倍高い。非喫煙者を1とした喫煙者が以下の疾患で死ぬ確立は喉頭ガン32倍、肺ガン5倍、肝臓ガン3倍である。喫煙者それ自身がこのような病気になることは自業自得といえるかもしれない。しかし、受動喫煙者（自分は喫煙しないが、周りの人が喫煙しているためにタバコの煙を吸い、喫煙したことになる人）の問題はどうしても見逃すわけにはいかない。

一昨年度の本学保健管理センターの調査による男/女の喫煙率は学部学生24/3%、院生33/2%、職員28/7%であった。学生の喫煙率は高学年ほど高くなるが、主な上昇は2年生進級時に見られる。学部別では工学部と医学部が高い。米国のほとんどの大学では禁煙は常識であり、特に医学部・病院では喫煙者は人格失格者とみなされる。そこで、保健管理センターとしては岐阜大学の現状を放置しておくわけにはいかない。まず、教職員、事務職員から模範を示し、学生に呼びかけていくべきであると思う。「禁煙運動をしよう！」ということをこの1年の保健管理センターのテーマと考えているが、どうであろう？是非、一緒にやりましょう。

なお、岐阜大学医学部第2内科では飯田真美先生が喫煙外来を2年前より毎週火曜日の午後に行っており、かつインターネットのホームページで禁煙マラソン (<http://www.kin-en.com/>) もあるので積極的に利用していただきたい。



I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

(1) 平成10年度 学生の健康管理業務計画

区 分		対 象 者	実施期間	検 査 項 目 等
健康調査及び個別面接	全員面接	新 入 生 全 員	入学直後	健康管理カードI・IIによる健康調査及び粗面接・体内脂肪測定・血圧測定
	二次面接	要 精 密 面 接 者	4月下旬～ 6月下旬	精密面接、内科診察、心電図、血圧測定、貧血検査、尿検査
定期健康診断		学 部 大 学 院 医 療 技 術 短 期 大 学 部 特 殊 教 育 特 別 専 攻 科 農 業 別 科 研 究 生 全 員 (7 , 4 7 4 人)	4月中旬～ 5月下旬	内科診察 エックス線間接撮影 身体計測(身長・体重)、視力測定、尿検査(蛋白、糖)
定期健康診断 (精密検査)		要 再 検 ・ 精 検 者	4月下旬～ 6月下旬	エックス線直接撮影、赤沈、血糖検査、貧血検査、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察等
臨時健康診断		伝染病等が発生した時に必要に応じて行う。		
特別健康診断	放射線取扱者健診	該 当 者	4月・10月 H11年2月	血液検査、皮膚の検査、問診
	留学生健診	該 当 者	11 月	エックス線直接撮影、身体測定(身長、体重)、体内脂肪測定、尿検査、血圧測定、内科診察、血液検査、問診等
継続観察者の再検査、健康相談		要 観 察 者	随 時	エックス線直接撮影、赤沈、血糖検査、貧血検査等、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察等

(2) 平成10年度 学生・職員定期健康診断実施計画

月日	曜日	学部	学年	平成9年度 受診率	平成10年度 対象人数		受付時間	対象	講義名	受付時間	対象	講義名	講義名	実施場所
					男	女								
◎4.14	火	工	4	79.5	704	61	12:00 / 13:30	土木 応化	なし なし	13:45 / 15:30	機械 電情	なし なし	保健管理 七	
4.15	水	農	4	91.1	340		12:00 / 13:30	利用 5年	なし	13:45 / 15:30	生産	機械工学 卒業研究	◇	
4.16	木	教育	6	88.3	151	189	12:00 / 13:30	獣医5年	なし	13:45 / 15:30	獣医4年	獣医内科学実習	◇	
		教育	4	88.3	346		12:00 / 13:30	音楽、美術、 体育、家政、 看護、学校	なし	13:45 / 15:30	国語、数学 社会、理科	なし	◇	
◎4.22	水	教育	1	97.6	292	213	12:00~ 13:30	全	なし					
		教研		65.3	101	46				13:45~ 15:30	全	なし	◇	
		工研	2	97.8	237	9				13:45~ 15:30	全	なし	◇	
		前期		47.9	228	76				13:45~ 15:30	全	なし	◇	
		後期			73	3								
4.24	金	工 (花間主)	1	79.1	80	10	17:30~ 18:30	全	なし					
			2	51.2	80	11	17:30~ 18:30	全	なし					
			3	54.9	82									
			4	57.7	75	7				13:45 / 20:00	全	測量学実習Ⅰ 機械工作実習 有機化学Ⅲ 電子情報計測学 都市計画学 機械工学実務 応用化学実習Ⅲ 電液応用工学	◇	
5.6	水	教育	2	83.6	87	4	12:00~ 13:30	全	なし	13:45~ 15:30	全	なし		
		農研	1	96.4	79	211								
			2		111	58								
5.7	木	農	3	92.8	30	39	12:00 / 13:30	生産	植物生産遺伝学実験Ⅱ 緑地設計実習 動物管理実習、実習					
				84.9	42	33				13:45 / 15:30	システム	測量学実習 生物生産制御学実験 経営管理実習	◇	
				90.4	35	44	12:00~ 13:30	利用	生物資源利用学実験 及び、実験法Ⅱ					
				75.8	17	17				13:45~ 15:30	獣医	生理学実習		
		連農研		76.9	67	9				13:45~ 15:30	連農研			
		連獣研		75.0	20					13:45~ 15:30	連農研			
△5.12	火	医	3	62.0	55	27				13:45 / 14:00			司町 医学部	
			4	64.8	58	22	11:00 /							
			5	77.1	68	23								
			6	91.3	50	20	12:30							
		医研	全	46.0	120	30								

月 日	曜日	学部	学年	平成9年度 受診率	平成10年度 対象人数		受付時間	対 象	講 義 名	受付時間	対 象	講 義 名	実施場所
					男	女							
5. 13	火	工	1	92.6	582		12:00~13:30	土木・機械 応用精密 土木 情報	開放科目 工場管理B なし なし	13:45~15:30	生命工学・電気 電子・応用情報 機械A 機械B 応用化学実験I 電気電子	開放科目 工場管理A 流体工学II 機械設計製図 応用化学実験I 電子情報計測学	保健管理 センター
◎5. 18	月	工	3	64.5	602		12:00 13:30						
		医	1	98.8	83	58	12:00~13:30	全	身体活動科学 講義IA 英語ARIII				
			2	19.5	83		12:00~13:30	全					
◎5. 20	水	農	1	97.0	238	130	12:00~13:30	全	なし	13:45~15:30	全	なし	
		工	2	67.0	558	59	12:00~13:30	全	なし				
		教育	3	92.2	499	339	12:00~13:30	国、社、教 理、音	なし	13:45~15:30	美、体、技 家、英、障、学	なし	
◎5. 27	水	地域	1	97.3	115	224	12:00~13:30	全	なし				
			2		43	67	12:00~13:30	全	なし				
		農	2	82.3	45	110	12:00~13:30	全	なし				
			2		248	65	12:00~13:30	全	なし				
		工研 前期	1	88.6	110	202	12:00~13:30	全	なし	13:45~15:30	全	なし	
		職 員			193	9	12:00~13:30	柳戸地区 柳戸地区	なし なし	13:45~15:30	柳戸地区 柳戸地区	なし なし	
5. 28	木	職 員		32.2	824		13:00	全	なし				
5. 29	金	職 員			246		15:30	全	なし				
△6. 3	水	医 短	1	95.0					なし				
			2										
			3										
		職 員			31					13:00 15:30			北野町 医療短大
△6. 4	木	職 員		69.8	748			同地区 同地区 同地区					
△6. 5	金	職 員						同地区 同地区					
△6. 16	火	X線直接撮影 X線直接撮影					10:00~11:00	散当者					
		予備日											

検査項目

定期健診

- 学生 ①身長、体重 ②視力 ③尿検査 ④胸部X線(間接撮影) ⑤内科診察 ⑥血圧測定
- 職員 ①身長、体重 ②視力 ③尿検査 ④胸部X線(間接撮影) ⑤内科診察 ⑥血圧測定
- 再検査 ①血圧測定 ②尿検査
- 精密検査 ①内科再診察 ②心電図 ③貧血検査 ④血糖検査 ⑤X線直接撮影

(注)

1. 上記以外の研究生等の学生は、予備日に受検させる
2. ◎印の日は、X線撮影を2か所(保健管理センター2FのX線撮影室と検診車)で実施、△印の日は、検診車で実施する。
3. 再検査及び精密検査は6月4日(水)~6月30日(火)に行う、但し、早急に診断書等必要な場合は早めに行う
4. 平成10年度対象人数は、平成9年度を参考にした予測人数

(3) 平成10年度 学生定期健康診断実施結果

1. 健康診断実施時間・方法について

ここ数年暫時健康診断受診率の低下がみられるので、その背景を探り対策を講ずるため、昨年、健康診断未受診学生に対し「未受診アンケート」を行った。

アンケートの結果をふまえ、10年度は二点を改正し健康診断を実施した。第一点は、健康診断開始を1時間繰り上げ正午からとし、休み時間を利用して早くから受診できるようにし、健診時間を1時間長く設定した。第二点は、前半・後半の2部制をとり学部・学科の指定をおこない混雑の解消と待ち時間の短縮をはかった。健康診断後に行った「健康診断についてのアンケート」によると、半数の学生が2部制を良いと支持していることから今後もこの方法を継続して良いと考える。

また、今年度から問診票を取り入れ、本人からの健康情報をより詳しく把握できるよう努めた。

検査項目としては、血圧測定を全員実施し生活習慣病の早期発見と予防のための保健指導をおこなった。健康診断全項目終了後全員に面接し、健診結果についての説明や再検査の勧奨など個別におこなった。

2. 健康診断受診率について

今年度も6月に未受診者健診を設け163名が受診したが、学部学生受診率は80.3%にとどまり、昨年度より2.3%低下した。研究科は昨年比とは減少したものの推移としては大きな変化はない。医療技術短期大学部においては、休講措置の協力のもとに例年100%に近い受診率であったが、今年度は低下が見られた。

(図1)

学部別に見ると、例年と同様に医学部・工学部夜間主が低い。医学部においては1年(51.2%)・2年(46%)、工学部夜間主においては4年(45.7%)が特に低かった。

今年度の特記すべき傾向として、例年受診率の高い1年生の受診率の低下(昨年度92.9%から84.3%)と、その反対に例年低い3年生の受診率の向上が見られたことである。特に工学部昼間3年生は昨年の64.5%から84.6%と大きく向上している。どの学部においても、4年生(80.4%)より3年生(86.0%)の受診率の方が逆転して高くなっている。

1年生の受診率の低下については、健康診断実施計画の時点で、工学部と医学部以外は「講義無し」の日に設定してあるにもかかわらず低下しているのを、入

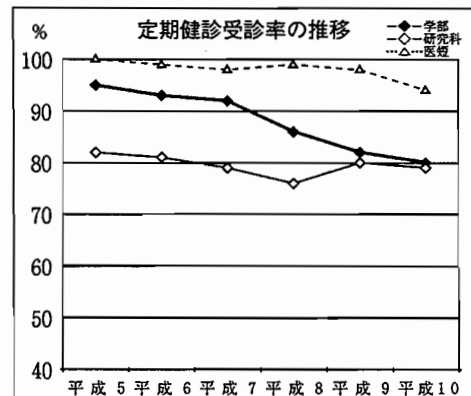


図1

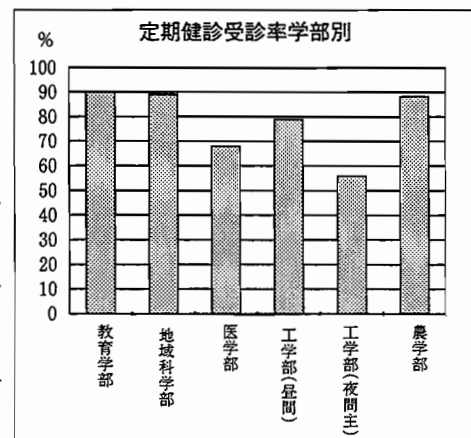


図2

学時に健康診断の意義等啓蒙活動が必要である。(図2・3)

4年生の受診率について、例年大きな変化はないものの80% (昨年度83.4%)にとどまっているのは、進学・就職等で健康診断書の必要な学生のみが受診しているからではないだろうか。

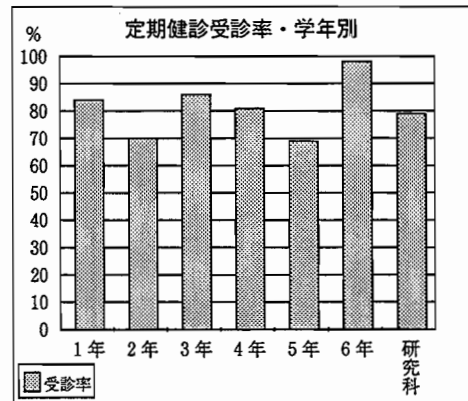


図3

3. 検査項目有所見について

有所見者とは、

- ・胸部間接撮影 ……一次読影の結果、所見のあった者
- ・尿検査 (蛋白) ……一次検査で (±) または (+) の判定 (随時尿検査対象)、(++) 以上・随時尿で陽性・要観察者 (早朝尿検査対象)
- ・尿検査 (糖) ……一次検査で (±) 以上の判定 (食後血糖検査対象)、強陽性の判定・要観察者 (糖負荷検査対象)
- ・診 察 ……聴診・貧血・甲状腺等に所見があり再診察の必要な者・医療機関で治療中あるいは経過観察中の者
- ・血 圧 ……最高血圧140以上、最低血圧90以上の者
- ・肥 満 ……BMI 26.4以上 (2次検査対象者)

有所見率の項目は、学部学生では尿検査 (8.1%)、診察 (6.9%)、血圧 (5.1%)、肥満 (4.2%) の順に高いのに比べ、研究科生では、診察 (10.5%)、血圧 (10.2%)、肥満 (8.2%)、尿検査 (5.6%) と順位が異なっている。

再検査結果は、学部学生研究科とも、肥満・診察の要観察率が高く、尿検査の要観察率は低くなっている。

学部学生は69.1%、研究科生は50.7%、医短は55.6%異常なしとなったが、未受検者がそれぞれ32.3%、35.6%、60%いるのでよびだし等でフォローしていかなければならない。(資料1.2)

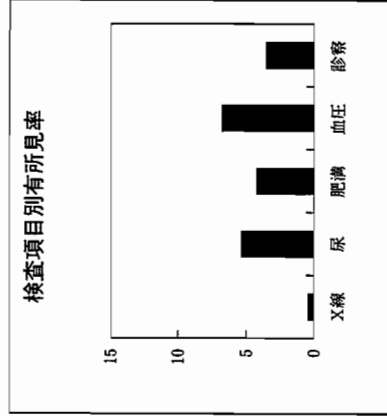
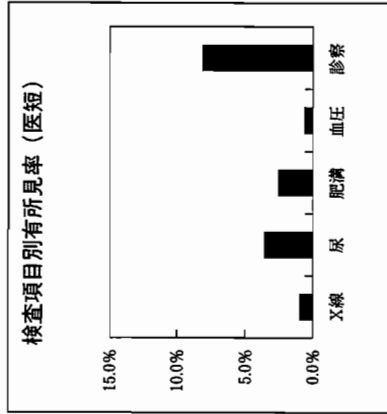
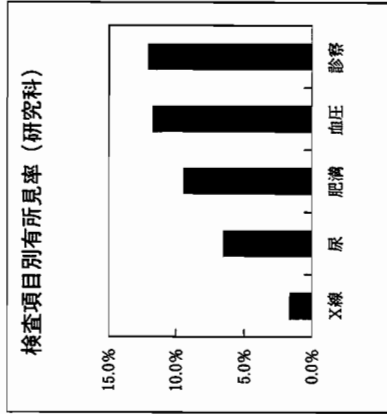
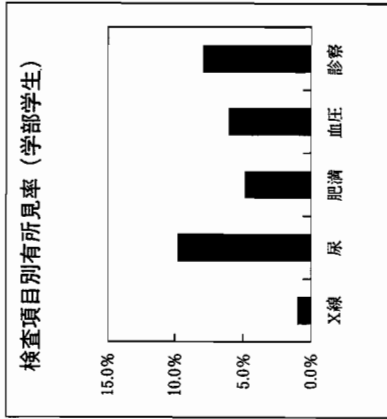
4. まとめ

受診率の低下に対し、アンケートを取り健診時間の延長など対策を講じたが受診率の向上には結びつかなかった。しかし、3年生の受診率の向上は評価できるので、次年度は特に1年生への指導をはかれば向上すると思われる。

健診の内容としては、血圧・肥満に対して項目をふやしたが再検査等の確実なフォローをどのようにすすめていくかが課題である。

健康診断実施結果

資料1



有所見項目	学部		研究科		医療技術短期大学部		全国 有所見率
	受検者数	有所見者数	受検者数	有所見者数	受検者数	有所見者数	
X線	4740	36	804	10	227	2	0.72
尿(蛋白)	4676	377	804	42	227	7	5.3
尿(糖)	4676	13	804	3	227	0	0.0
肥満	4768	198	804	66	227	5	4.1
血圧	4020	206	766	78	223	1	6.8
診察	4758	328	809	85	227	16	3.59

*尿検査に蛋白・糖を含む

*肥満はBMIが26.4以上をいう

再検査結果

資料 2

学部

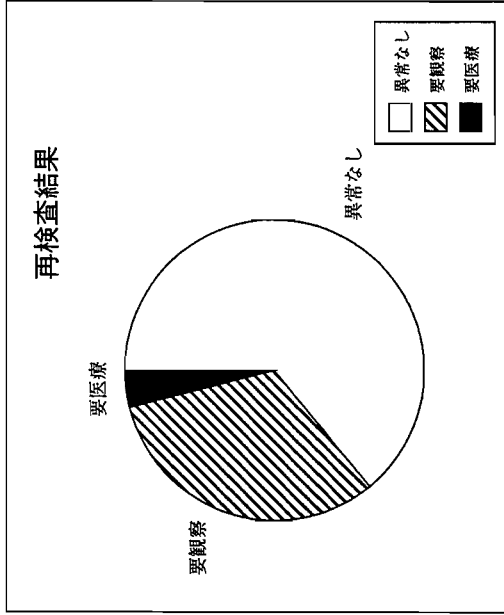
	対象者	受検者	異常なし	要観察	要観察率	要医療	未受検者
内科診察	328	192	56	127	66.1%	9	136
X-P	36	35	21	12	34.3%	2	1
検尿蛋白	410	369	347	22	6.0%		46
検尿糖	13	13	7	6	46.2%		1
血圧	206	76	63	13	17.1%		130
肥満	55	30		30	100.0%	1	25
計	1048	715	494	210	29.4%	12	339

研究科

	対象者	受検者	異常なし	要観察	要観察率	要医療	未受検者
内科診察	85	37	2	35	94.6%		48
X-P	10	10	4	6	60.0%		
検尿蛋白	42	40	36	4	10.0%		2
検尿糖	3	2		2	100.0%		1
血圧	78	49	36	14	28.6%		29
肥満	18	14	0	14	100.0%		4
計	236	152	77	75	49.3%		84

医短

	対象者	受検者	異常なし	要観察	要観察率	要医療	未受検者
内科診察	15	5	2	3	60.0%		10
X-P	2	2	1	1	50.0%		
検尿蛋白	6	1	1		0.0%		5
検尿糖							
血圧	1	1	1		0.0%		
肥満	1		0				
計	25	9	5	4	44.4%		15



* 肥満の2次検診対象者はBM 126.4以上としたがここでの数字は

疾病としてみるBMI 30以上の数字である。

* 要医療に要精検を含む

* 尿検査は随時尿・一次早朝尿検査数である。

1 次検査

再検査および2次検査

- 1 胸部レントゲン間接撮影 所見あり → (センター医師によるふりわけ) 要直接 → 直接撮影所見あり →
- 2 尿検査
 - ① 蛋白陽性 土、+ → 随時尿またはスルホサリチル酸法で陽性 → 早朝尿
 蛋白陽性 ++以上 → 早朝尿
 要観察継続者 → 所見あり →
 - ② 糖 土以上 → 空腹時血糖検査 所見あり → 糖負荷 (75 g G.T.T) → 所見あり →
- 3 内科診察 所見あり
 - 貧血 → 貧血液検査・診察 → 所見あり →
 - 心臓 → 心電図・診察
 - その他 → 診察

(医療機関等で経過観察中・治療中の者等)
- 4 血圧測定 最高血圧140mmHg以上 または 最低血圧90mmHg以上 → 再検査 所見あり →
- 5 BMI BMI 26.4以上 → 血液検査 (空腹時採血)・心電図・測定 (体重・体脂肪・血圧)・診察 (6月頃)
 希望者に食事摂取量調査とライフコーダー (運動消費量測定) を実施 →
 所見の有無にかかわらず 定期測定、血液検査再検査 (12月頃)
 *血液検査項目 GOT,GPT,ChE,TG,T-cho,HDL-cho,BUN,U,A,BUN,FBS,Na,Cl,k
 クレアチニン、血算、(肝機能値高値の場合 HBs抗原、HCV抗体)

要観察
再検査
または
要精検
要医療

要観察

〈平成10年度 学生定期健康診断実施結果 資料〉

① 受診状況

所 属	区 分	在学者数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率 (%)	他医療機 関で受診	未受診 者 数
			疾 病	疾病以外					
学 部	教育 学 部	1,279	1	16	1,262	1,129	89.5	4	129
	地 域 学 部	216		1	215	191	88.8		24
	医 学 部	488	2	3	483	324	67.1		15
	工学部(昼 間)	2,564		16	2,548	1,994	78.3	1	553
	工学部(夜間主)	386		10	376	210	55.9	8	158
	農 学 部	1,064		8	1,056	923	87.4	2	131
	合 計	5,997	3	54	5,940	4,771	80.3	15	1,154
医療技術短期大学部		244		3	241	227	94.2		14
大 学 院	教育学研究科	129		2	127	98	77.2	1	28
	医学研究科	146	2	4	140	62	44.3		78
	工学研究科	504	1	10	493	416	84.4	5	72
	農学研究科	174		3	171	164	95.9		7
	連合農学研究科	75		2	73	53	72.6	1	19
	連合獣医学研究科	27		1	26	18	69.2	1	7
	合 計	1,055	3	22	1,030	811	78.7	8	211
専 攻 科 ・ 別 科 ・ 研 究 生 等	特 殊 教 育 特 別 専 攻 科	9			9	3	33.3		6
	農 業 別 科	2			2	1	50.0		1
	教 育 学 部 等 地 域 学 部 等	16			16	6	37.5		10
	地 域 学 部 等 医 学 部 等	7			7	2	28.6		5
	医 学 部 等 工 学 部 等	15		1	14	6	42.9		8
	農 学 部 等 農 学 部 等	23			23	2	8.7		21
	全学共通教育	4			4				4
	教育学研究科 研 究 生 等	2			2				2
	医学研究科 研 究 生 等								
	工学研究科 研 究 生 等	9			9				9
	農学研究科 研 究 生 等	6			6	1	16.6		5
	連合農学研究科 研 究 生 等	3			3	2	66.7		1
	連合獣医学研究科 研 究 生 等								
	流域環境研究 セ ン タ	1			1				1
	国費外国人留学生 生日本語研究	6			6	6	100.0		
	合 計	103		1	102	29	28.4		73

(注) 司地区の研究生は対象にしている。

② 胸部X線撮影

所 属	間 接 撮 影			一次読影結果		有所見者二次読影結果					直 接 撮 影				そ の 他					
	対象者数	受検者数	受検率	異常なし	有所見者数	直 接 不 要			要精査	要直接	対象者数()	受検者数	結 果			対象者数	未受検者数	結 果		
						放置可	要観察	その他					放置可	要観察	要精査			要治療	放置可	要観察
学 部	教育学部	1,262	1,118	88.6	1,112	6	4		1	1	1	1	1			1				
	地域科学部	215	189	87.9	184	5			3	1	1	1		1		3	3			
	医学部	483	316	65.4	313	3					5	5	2	3	2					
	工学部(昼間)	2,548	1,989	78.1	1,979	10	4				16	6	6	3	3					
	工学部(夜間主)	376	208	55.3	203	5	3				1	1	1	1						
	農学部	1,056	922	87.3	915	7	1	3			11	1	1							
	合 計	5,940	4,742	79.8	4,706	36	12	3	4	2	15	15	11	9	6	4	3		3	
医 大	医療技術短期学部	241	227	94.2	225	2	1		1						1					
大 学 院	教育学研究科	127	97	76.4	96	1	1													
	医学研究科	140	62	44.3	59	3		1		2	2	1	1		1					
	工学研究科	493	412	83.6	408	4	1	1	1	3	3	2	2	1		1	1			
	農学研究科	171	164	95.9	163	1			1							1	1			
	連合農学研究所	73	52	71.2	52					1	1	1	1							
	連合獣医学研究所	26	18	69.2	18															
	合 計	1,030	805	78.2	796	9	2	2	2	6	6	4	3	2		2	2		2	
専 攻 科 ・ 別 科 ・ 研 究 生 等	特別専攻科	9	3	33.3	3															
	農業別科	2	1	50.0	1															
	教育学部等	16	6	37.5	6															
	地域科学部等	7	2	28.6	2															
	医学部等																			
	工学部等	14	6	42.9	6															
	農学部等	23	2	8.7	2															
	全学共通教育	4																		
	教育学研究科等	2																		
	医学研究科等																			
	工学研究科等	9																		
	農学研究科等	6	1	16.6	1															
	連合農学研究科等	3	2	66.7	2															
	連合獣研究科等																			
	流域環境研究センター	1																		
	国費外国人留学生日本語研修生	6	6	100.0	6															
合 計	162	29	28.4	29																

(注) 司地区の研究生は対象にしていない。

③ 内科診察

所 属	一 次 診 察			再診察・再検査							(再掲)再検査実施内訳										
	対象者数	受診者数	受診率	有所見者数	対象者数	結 果				未受診	心電図異常		貧血異常		血糖異常(二次)		血糖異常(三次)		その他		
						異常なし	要観察	要精検	要治療		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
学 部	教 育 学 部	1,262	1,125	89.1	81	81	20	39	3	2	17	7	12	16	5					1	
	地 域 科 学 部	215	191	88.8	10	10	3	6			1		3	2	1						
	医 学 部	483	324	67.1	19	19	3	7		1	8	1	2	1							
	工学部(昼間)	2,548	1,990	78.1	133	133	34	66	3	2	28	14	13	7	1					1	7
	工学部(夜間主)	376	208	55.3	4	4		2	1		1	1	1							1	1
	農 学 部	1,056	923	87.4	78	78	5	39		4	30		14	2	3						
	合 計	5,940	4,761	80.2	325	325	65	159	7	9	85	23	45	28	10					3	8
医療技術短期大学部	241	227	94.2	15	15	4	4			7	1	1	2								
大 学 院	教育学研究科	127	98	77.2	6	6		3	1		2		1								
	医学研究科	140	62	44.3	5	5		1			4	1									
	工学研究科	493	416	84.4	29	29	2	24		1	2	2	5							2	
	農学研究科	171	164	95.9	13	13		11			2		3	2							
	連合農学研究科	73	53	72.6	10	10	1	8			1		2							1	1
	連合獣医学研究科	26	18	69.2	5	5		1			4										
	合 計	1,030	811	78.7	68	68	3	48	1	1	15	3	11	2						1	4
専 攻 科 ・ 別 科 ・ 研 究 生 等	特 殊 教 育 特 別 専 攻 科	9	3	33.3																	
	農 業 別 科	2	1	50.0																	
	教 育 学 部 等 研 究 生	16	6	37.5																	
	地 域 科 学 部 等 研 究 生	7	2	28.6																	
	医 学 部 等 研 究 生																				
	工 学 部 等 研 究 生	14	6	42.9																	
	農 学 部 等 研 究 生	23	2	8.7																	
	全 学 共 通 教 育	4																			
	教 育 学 研 究 科 等 研 究 生	2																			
	医 学 研 究 科 等 研 究 生																				
	工 学 研 究 科 等 研 究 生	9																			
	農 学 研 究 科 等 研 究 生	6	1	16.6																	
	連 合 農 学 研 究 科 等 研 究 生	3	2	66.7	1	1				1											
	連 合 獣 医 学 研 究 科 等 研 究 生																				
流 域 環 境 研 究 セ ン タ ー	1																				
国 費 外 国 人 留 学 生 日 本 語 研 究 生	6	6	100.0																		
合 計	102	29		1	1				1												

(注) 1. () は特別研究生。
2. 司地区の研究生は対象にしている。

* 要治療に治療中のものを含む

④ 尿検査〈蛋白〉

所 属	一 次 検 査				再 検 査																		
	対象者数	受検者数	受検率	有所見者	随時尿対象者	結 果		未受検	早朝尿①対象者	結 果				未受検	早朝尿①対象者	結 果				未受検			
						異常なし	所見あり			放置可	要観察	要精検	要治療			放置可	要観察	要精検	要治療				
学 部	教育学部	1,262	1,107	87.7	94	84	50	27	7	37	19	6	2		10	2		1			1		
	地域科学部	215	186	86.5	14	13	9	3	1	4	2		1		1	1					1		
	医学部	483	309	64.0	21	13	10	2	1	2	1				1								
	工学部 (昼間)	2,548	1,957	76.8	169	129	99	28	4	52	29	8	7		8	6	3	1				2	
	工学部 (夜間主)	376	204	54.3	16	7	1	6		6	3	2	1										
	農学部	1,056	915	86.6	64	51	32	15	4	25	17	6	1		1	2	2						
	合 計	5,940	4,678	78.8	378	297	201	81	17	126	71	22	12		21	11	5	2				4	
医療技術短期大	241	227	94.2	7	4	1	1	2	4	2				2									
大 学 院	教育学研究科	2	127	98	77.2	9	9	7	2		3	1			2								
	医学研究科	2	140	60	42.9	3	3	1		2													
	工学研究科	493	414	84.0	23	17	14	3		6	3	1	1		1	1		1					
	農学研究科	171	163	95.3	6	3	1	2		4	1	1	2		1		1						
	連合農学科 研究	73	53	72.6																			
	連合獣医科 研究	26	18	69.2	1	1			1														
	合 計	1,030	806	78.3	42	33	23	7	3	13	5	2	3		3	2		2					
専 攻 科・別 科・研 究 生 等	特殊教育 特別専攻科	9	3	33.3																			
	農業別科	2	1	50.0																			
	教育学部等 研究生	16	6	37.5																			
	地域科学部等 研究生	7	2	28.6																			
	医学部等 研究生																						
	工学部等 研究生	14	6	42.9																			
	農学部等 研究生	23	2	8.7																			
	全学共通 教育	4																					
	教育学研究科等 研究生	2																					
	医学研究科等 研究生																						
	工学研究科等 研究生	0.9																					
	農学研究科等 研究生	6	1	16.6																			
	連合農学研究科 研究生等	3	2	66.7																			
	連合獣医学 研究科研究生等																						
	流域環境 研究センター	1																					
	国費外国人留学生 日本語研究生	6	6	100.0																			
	合 計	102	29	28.4																			

(注) 司地区の研究生は対象にしていない。

⑤ 尿検査〈糖〉

所 属	一 次 検 査				二次検査（食後血糖）					三次検査（糖負荷）						
	対象者数	受検者数	受検率	有所見者数	対象者数	結 果				未受検	対象者数	結 果				未受検
						放置可	要観察	要精検	要治療			異常なし	要観察	要精検	要治療	
学 部	教育学部	1,262	1,107	87.7	2	2			1		1	1		1		
	地域科学部	215	186	86.5	1	1	1									
	医学部	483	309	64.0												
	工学部(昼間)	2,548	1,957	76.8	5	5	3	1	1			3		2	1	
	工学部(夜間主)	376	204	54.3	1	1					1					
	農学部	1,056	915	86.6	4	2		2				1		1		
	合 計	5,940	4,678	78.8	13	11	4	3	2		2	5		4	1	
医 大	療 術 短 期 学 部	241	227	94.2								1		1		
大 学 院	教育学研究科	127	98	77.2	1	1					1					
	医学研究科	140	60	42.9												
	工学研究科	493	414	84.0	1	1		1								
	農学研究科	171	163	95.3								1		1		
	連 合 農 学 科 研 究	73	53	72.6	1							1		1		
	連 合 獣 医 学 科 研 究	26	18	69.2												
	合 計	1,030	806	78.3	3	2		1			1	2		2		
専 攻 科 ・ 別 科 ・ 研 究 生 等	特 殊 教 育 科 特 別 専 攻 科	9	3	33.3												
	農 業 別 科	2	1	50.0												
	教 育 学 部 等 研 究 生	16	6	37.5												
	地 域 科 学 部 等 研 究 生	7	2	28.6												
	医 学 部 等 研 究 生															
	工 学 部 等 研 究 生	14	6	42.9												
	農 学 部 等 研 究 生	23	2	8.7												
	全 学 共 通 教 育	4														
	教 育 学 研 究 科 等 研 究 生	2														
	医 学 研 究 科 等 研 究 生															
	工 学 研 究 科 等 研 究 生	9														
	農 学 研 究 科 等 研 究 生	6	1	16.6												
	連 合 農 学 科 等 研 究 生	3	2	66.7												
	連 合 獣 医 学 科 等 研 究 生															
	流 域 環 境 研 究 セ ン タ ー	1														
	国 費 外 国 人 留 学 生 日 本 語 研 修 生	6	6	100.0												
合 計	102	29	28.4													

(注) 1. () は特別研究生。
2. 司地区の研究生は対象にしていない。

⑥ 血圧（一年生のみ）

所 属	一 次 検 査				再 検 査						
	対象者数	受検者数	受 検 率	有所見者数	対象者数	結 果				未 受 検	
						異常なし	要 観 察	要 精 検	要 治 療		
学 部	教育学部	1,262	1,003	79.5	43	43	18	3			22
	地域科学部	215	184	85.6	3	3	2				1
	医学部	483	305	63.1	5	5	3				2
	工学部(夜間主)	2,548	1,654	64.9	117	117	59	20			38
	工学部(昼間)	376	203	54.0	16	16	8	2			6
	農学部	1,056	725	68.7	38	38	15	3			20
	合 計	5,940	4,074	68.6	222	222	105	28			89
医 大	療 術 短 期 学 部	241	223	92.5	1	1	1				
大 学 院	教育学研究科		127	91	71.7	7	7	1			6
	医学研究科	140	60	42.9							
	工学研究科	493	394	79.9	59	59	31	12			16
	農学研究科	171	158	92.4	8	8	4	3			1
	連 合 農 学 研 究 科	73	49	67.1	6	6	4	1			1
	連 合 獣 医 学 研 究 科	26	18	69.2	1	1					1
	合 計	1,030	770	74.8	81	81	40	16			25
専 攻 科 ・ 別 科 ・ 研 究 生 等	特 殊 教 育 特 別 専 攻 科	9	3	33.3							
	農 業 別 科	2	1	50.0							
	教 育 学 部 等 研 究 生	16	6	37.5							
	地 域 科 学 部 等 研 究 生	7	2	28.6							
	医 学 部 等 研 究 生										
	農 学 部 等 研 究 生	14	5	35.7							
	農 学 部 等 研 究 生	23	2	8.7							
	全 学 共 通 教 育	4									
	教 育 学 研 究 科 等 研 究 生	2									
	医 学 研 究 科 等 研 究 生										
	工 学 研 究 科 等 研 究 生	9									
	農 学 研 究 科 等 研 究 生	6	1	16.6							
	連 合 農 学 研 究 科 等 研 究 生	3	2	66.7							
	連 合 獣 医 学 研 究 科 等 研 究 生										
	流 域 環 境 研 究 セ ン タ ー	1									
国 費 外 国 人 留 学 生 日 本 語 研 修 生	6	6	100.0								
合 計	102	28	27.5								

(注) 司地区の研究生は対象にしている。

平成11年度 前倒し学生定期健康診断実施結果について

就職協定に廃止に伴い、就職活動が年々はやまっている。このような状況のもとに学生の就職活動を支援するために、健康診断証明書の早期発行を目的として最終学年の学生を対象に、平成11年1月と3月に前倒し健康診断を3日間実施した。

受診率は、教育学部76.2%・工学部（昼間）73.1%・農学部80.5%・工学研究科86.3%・農学研究科73.4%となり、大学院進学予定者以外の就職希望者のほぼ全員が受診した。また、証明書の発行は4月1日から発行が可能となった。

定期健康診断受診率（1/25,3/1,3/8前倒し実施分）

学部	学 科 等	学生数	受診者数	受診率(%)
教 育 部	国語教育	28	24	85.7
	社会科教育 史学	20	15	75.0
	地理学	18	12	66.7
	法・経済	20	17	85.0
	哲学	18	16	88.9
	数学教育	35	22	62.9
	理科教育 物理	20	12	60.0
	化学	18	14	77.8
	生物	18	13	72.2
	地学	18	13	72.2
	音楽教育	21	18	85.7
	美術教育	23	18	78.3
	保健体育	26	20	76.9
	技術教育	23	16	69.6
家政教育	19	19	100.0	
部	英語教育	27	22	81.5
	障害児教育	18	13	72.2
	学校教育 教育学	10	7	70.0
	心理学	10	6	60.0
	小 計	390	297	76.2
工 学 部 （ 昼 ）	土木工学科	153	120	78.4
	機械工学科	176	139	79.0
	応用化学科	237	173	73.0
	電子情報工学科	237	155	65.4
	小 計	803	587	73.1
工 学 部 （ 夜 ）	土木工学科	40	8	20.0
	機械工学科	34	8	23.5
	応用化学科	28	9	32.1
	電子情報工学科	28	13	46.4
	小 計	130	38	29.2
農 学 部	生物資源生産学科	81	66	81.5
	生物生産システム学科	86	64	74.4
	生物資源利用学科	82	69	84.1
	獣医学科	33	28	84.8
	小 計	282	227	80.5
	学 部 合 計	1,605	1,149	71.6

研 究 科	学生数	受診者数	受診率(%)
教育研究科	74	32	43.2
工学研究科（前期）	205	177	86.3
工学研究科（後期）	30	4	13.3
農学研究科	94	69	73.4
連合農学研究科	32	10	31.3
連合獣医学研究科	3	2	66.7
合 計	438	294	67.1

学 部 合 計	2,043	1,443	70.6%
---------	-------	-------	-------

※学生数は、最終学年の在籍者数をいう。（平成11年4月1日現在である）

平成10年度 外国人留学生定期健康診断受診状況（再掲）

学 部	在籍身分	在籍者数	休学者数	対象者数 人	受診者数 人	未受診者数	受診率%
教育学部 教育研究科	学 部 生	2		2	1	1	50.0
	大学院生	6		6	4	2	66.7
	研 究 生	10		10		10	
	特別聴講学生	3		3	1	1	33.3
	計	21		24	6	14	25.0
地域科学部	学 部 生	8		8	4	4	50.0
	研 究 生	4		4	1	3	25.0
	特別聴講学生	2		2		2	
	計	14		14	5	9	35.7
医学部 医学研究科	学 部 生	7		7	4	3	57.1
	大学院生	40	3	37	27	10	73.0
	計	47	3	44	31	13	70.5
工学部 工学研究科	学 部 生	15		15	12	3	80.0
	大学院生	38	1	37	34	4	91.9
	研 究 生	7		7	3	1	42.9
	特別聴講学生	1		1	1	1	100.0
	計	61	1	60	50	9	83.3
農学部 農学研究科	学 部 生	1		1	1		100.0
	大学院生	16		16	14	2	87.5
	研 究 生	4		4	2	2	50.0
	特別聴講学生	3		3			
	計	21		21	15	6	71.4
連合農学 研究科	大学院生 (岐阜大学配置学生)	31		31	28	3	90.3
	研 究 生	2		2	1		50.0
	計	33		33	29	3	87.9
連合獣医学 研究科	大学院生 (岐阜大学配置学生)	5		6	5	1	83.3
	研 究 生						
	計	5		7	5	1	71.4
留学生センター	日本語研修生	8		8	7	1	87.5
合 計	学 部 生	33		33	22	11	66.7
	大学院生	136	4	133	112	22	84.2
	研 究 生 等	44		44	16	21	36.4
	計	213	4	210	150	54	71.4

※ 在籍者数は、平成10年5月1日現在。

※ 医学部研究生は対象から除く。

(4) 平成10年度 外国人留学生特別健康診断の実施概要

外国人留学生特別健康診断は、春季の定期健康診断とは別に年1回実施している。

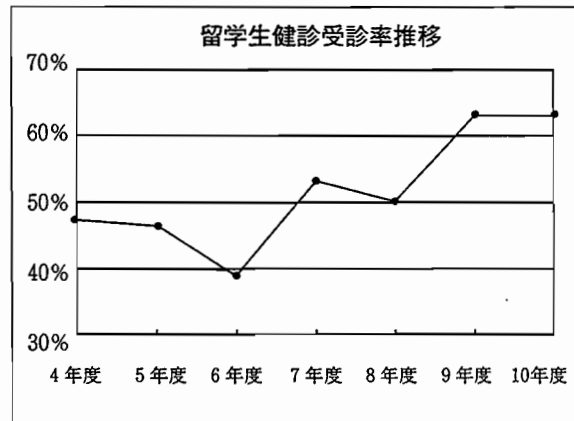
平成4年度から開始し、今回で7回目の実施となった。

1. 実施日時
平成10年11月11日（水）AM 9：00～11：00
平成10年11月16日（月）AM 9：00～11：00
平成10年11月18日（水）AM 9：00～11：00
平成10年11月19日（木）AM 9：00～11：00
2. 実施場所
保健管理センター
3. 対 象
岐阜大学に所属している外国人留学生全員（学部生・大学院生・研究生・聴講生・教員研修生など）。
対象者数224名（平成10年10月1日現在の留学生在籍者数）
4. 周知方法
従来は、「留学生のつどい」として健診の説明会を設け受診勧奨を行っていた。しかし、説明会出席者しか理解を得られないので、7年度より留学生全員に周知出来るように方法を変更した。（配布は、8年度より留学生係に依頼した。）
対象者全員に個別通知による受診勧奨をした。その案内文は日本語に英語版と中国語版を付け、理解を得られるようにした。
5. 健診内容
健診項目は、問診・血圧測定・体脂肪測定・尿検査・内科診察・胸部レントゲン・（春季に受検した者は除く、直接撮影）・心電図検査（該当者のみ）などの一般健診項目に加え、血液検査を実施した。
血液検査項目のうち、肝機能・腎機能・血清脂質・貧血検査・など36項目は全員実施することとし、その他、HBs 抗原・HCV 抗体・HIV 抗体・梅毒反応検査については、受診者のプライバシーを考慮して希望選択とした。（今年度は業者の手違いのため、血液像はできなかった。）
また、健康調査(UPI)とライフスタイル調査も同時に行った。
6. 事後指導
医師による判定結果にコメントをつけて個別に通知した。また、結果の説明と保健指導を該当者に行った。

1. 受診率について

今年度の受診率は、対象者（平成10年10月1日現在の在籍者）224名中、受診者は142名で63.4%だった。各年度の受診率を右図に示す。

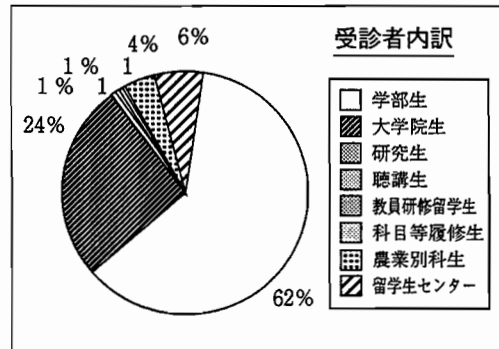
従来の説明会に変えて、平成7年度より個別通知による周知方法へ変更した結果、受診率は向上している。



2. 受診状況について

受診者の内訳を在籍区分別にみると、大学院生が6割近いで研究生が2割を占めた。

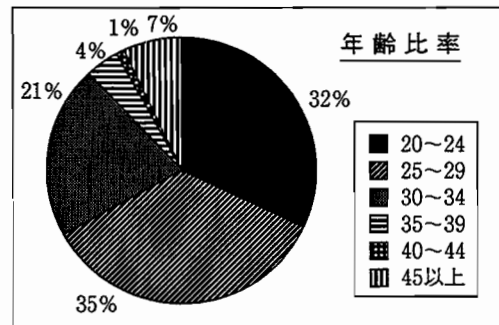
また、在籍区分毎に受診率をみると、留学生センター日本語研修生（100.0%）、研究生（85.4%）大学院生（66.9%）の受診が多かった。一方、外国人特別聴講生・研究生（0.0%）、学部生（27.3%）の受診は少なかった。



今回の受診者の年齢構成は、右図のように25～34歳が全体の7割を占めた。

受診者の平均年齢は、男31.9歳・女30.4歳だった。（昨年は男31.3歳・女29.8歳）

今年度の受診者142名中、2回以上受診したことがある者は、全体の55.6%（昨年度は44.7%）であった。また、受診者の約7割（95人）は春の定期健康診断も受診しており、受診者の健康に対する関心がかがえる。〈別表5〉



3. 健診結果について

胸部レントゲンでは142名中79名が実施し、要観察2名、要医療1名（TB）であった。内科診察では、高血圧5名・甲状腺腫1名・尿潜血1名がチェックされ、要観察となった。また、治療中疾患のあるのが4名、尿潜血・高血糖・血小板減少症・貧血・多血症がそれぞれ1名ずつ要精検・要治療となった。

血液検査では、131名中56名（有所見率42.7%）に異常所見がみられた。これは、昨年の有

所見者52名（有所見率40.6%）と比べて増加した。今年度より、異常所見者はB（要観察）C1（要再検者）C2（要医療）と区分し、そのうち、C1（13名）については、全員再検査を実施した。

高アミラーゼ血症については、有所見率が7～10年にかけて9.8%,19.1%,6.3%,9.2%と増減が激しい。昨年度は初回受診者が多かったためか有所見率が低かったが、今年度は初回受診者が少なく、有所見者12名のうち、3名は昨年要観察者、7名は昨年正常範囲、2名は初回受診者だった。留学生集団において、高アミラーゼ血症の増減についての問題は、今後も追跡したい。

HIV検査については、38名受検し全員異常なかった。

なお、健診項目については、平成7年度より現在の項目を必須項目として実施している。

4. 今後の留意点

今年度の要観察者・要治療者は56名だったが、経過観察のためには次年度の健康診断をいかに確実に受診させるかが今後の課題になる。その対応として、センターでは健康診断の案内文の送付時に個別に受診を勧めてゆきたい。また、留学生健診の方法や必要性についても今後検討してゆきたい。

平成10年度 外国人留学生特別健康診断結果資料

表1 外国人留学生特別健康診断結果

対象者数	受診者数	受診率	有所見者数	再診察・再検査結果			再検査未受診
				放置可	要観察	要治療	
224	142	63.4%	65	9	47	9	0

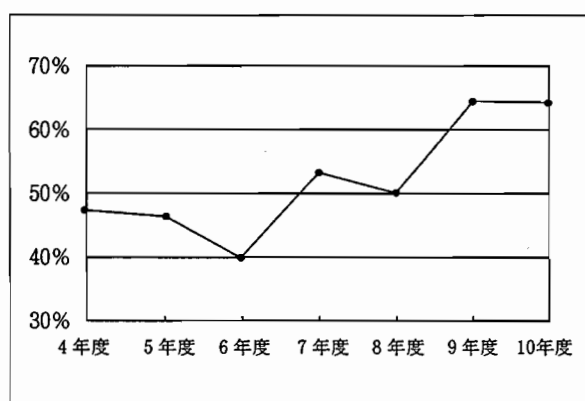
*対象者は平成10年10月1日現在の在籍者数

受診状況年次推移

表2

年 度	対象者数	受診者数	受診率
1992年度 4年度	133	63	47.4%
1993年度 5年度	145	67	46.2%
1994年度 6年度	171	67	39.2%
1995年度 7年度	173	92	53.2%
1996年度 8年度	187	94	50.3%
1997年度 9年度	208	132	63.5%
1998年度 10年度	224	142	63.4%

図1

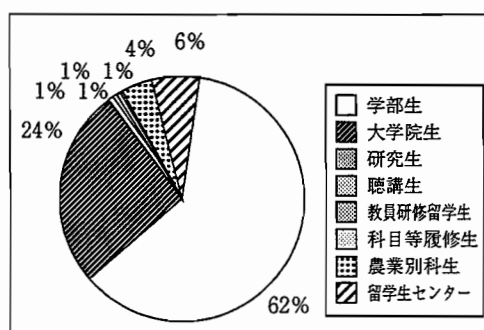


在籍身分別受診状況

表3

	対象者数	受診者数	受診率
学 部 生	33	9	27.3%
大 学 院 生	133	89	66.9%
研 究 生	41	35	85.4%
聴 講 生	1	1	100.0%
外国人特別聴講生	5	0	0.0%
外国人特別研究生	1	0	0.0%
教員研修留学生	3	1	33.3%
科目等履修生	1	1	100.0%
農業別科生	1	1	100.0%
留学生センター	5	5	100.0%
合 計	224	142	63.4%

図2

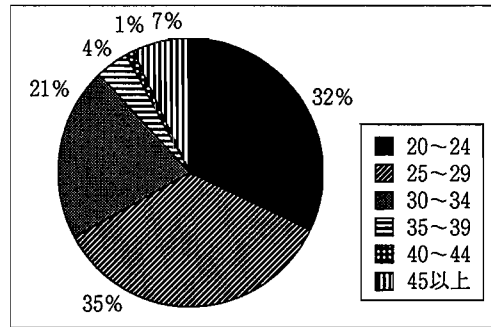


年齢別受診者内訳

表4

年齢別	男	女	合計
20～24	3	7	10
25～29	25	20	45
30～34	34	16	50
35～39	19	11	30
40～44	3	3	6
45以上	1	0	1
計	85	57	142

図3



受検回数内訳

表5

学部生	対象者数	受診者数	受診率	初回	2回	3回以上	留学生健診受診者中春の定健受診者数
学部生	33	9	27.3%	5	4		6
大学院生	133	89	66.9%	25	32	32	77
研究生	41	35	85.4%	25	9	1	11
聴講生	1	1	100.0%				0
外国人特別聴講生	5	0	0.0%	1			0
外国人特別研究生	1	0	0.0%				0
教員研修留学生	3	1	33.3%		1		0
科目等履修生	1	1	100.0%	1			0
農業別科生	1	1	100.0%	1			1
留学生センター	5	5	100.0%	5			0
合計	224	142	63.4%	63	46	33	95

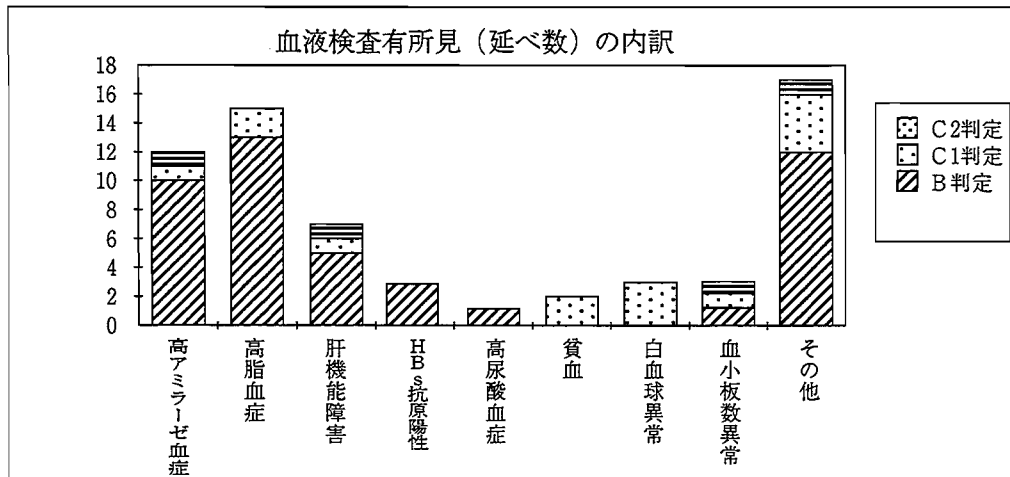
表6 血液検査有所見（延べ数）の内訳

血液検査131人実施

診断名	B判定	C1判定	C2判定	合計	有所見率
高アミラーゼ血症	10	1	1	12	9.2%
高脂血症	13	2	0	15	11.5%
肝機能障害	5	1	1	7	5.3%
HBs抗原陽性	3	0	0	3	2.3%
高尿酸血症	1	0	0	1	0.8%
貧血	0	2	0	2	1.5%
白血球異常	0	3	0	3	2.3%
血小板数異常	1	1	1	3	2.3%
その他の	12	4	1	17	13.0%
合計	45	14	4	63	—

B判定 : 要観察
C1判定 : 要再検査
C2判定 : 要精検

図3



平成10年度 外国人留学生特別健康診断結果（学部別）

	在籍区分	対象者	受診者数	受診率	再診察・再検査結果				再検査未受診
					有所見者数	放置可	要観察	要治療	
教育研究科 教育学部	学部学生	2							
	大学院生	5	4		1		1		
	外国人特別聴講生	11	9	53.8%	3	1	2		
	外国人特別研究生	4							
	教員研修留学生	1			1		1		
地域科学部	学部学生	8	4						
	大学院生	4	3	53.8%	2	1	1		
	外国人特別聴講生	1							
医学研究科 医学部	学部学生	7	1		1		1		
	大学院生	38	25	61.2%	12	3	5	4	
工学研究科 工学部	学部学生	15	4		3		3		
	大学院生	38	22	54.5%	13	1	11	1	
	外国人特別聴講生	13	10		3		3		
農学研究科 農学部	学部学生	1			3		3		
	大学院生	16	12		7	2	3	2	
	外国人特別聴講生	8	8	82.1%					
	目等履修生	1	1						
	農業別科生	1	1						
	外国人特別聴講生	1	1						
連合農学研究科	大学院生	31	21	68.8%	11	1	10		
	大学院生	1	1		1			1	
連合獣医学研究科	大学院生	5	5	100.0%	3		3		
留学生センター	日本語研修生	5	5	100.0%	1			1	
合 計		224	142	63.4%	65	9	47	9	0

*連合農学研究科・連合獣医学研究科の対象者数は、岐阜大学配置学生数である。

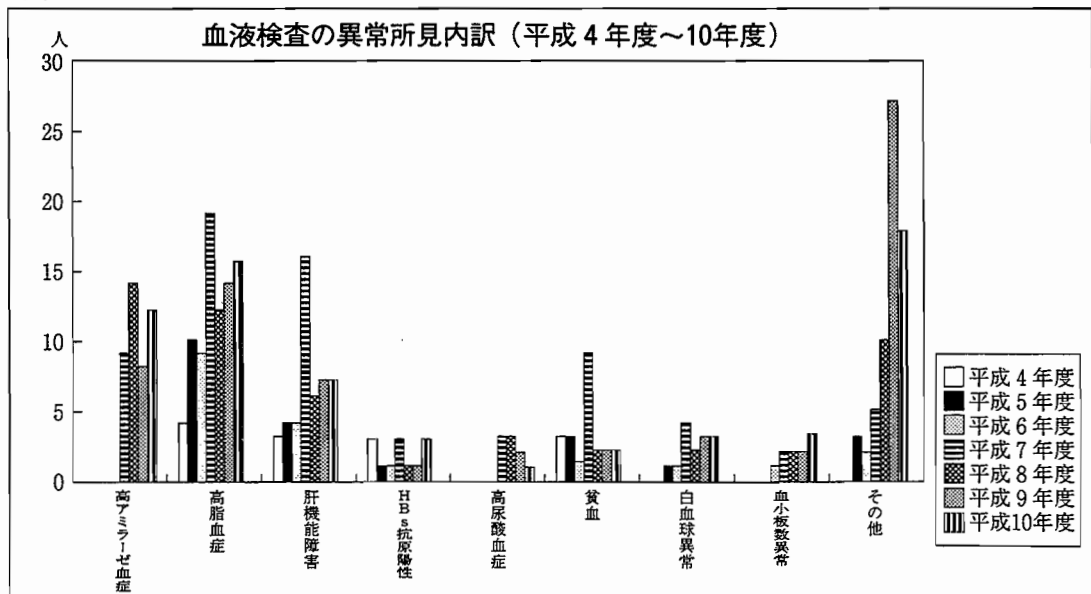
血液検査の異常所見内訳（医師の判定による）

表7

平成4年度～10年度

	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
高アマミラーゼ血症	—	—	—	9	14	8	12
高脂血症	4	10	9	19	12	14	15
肝機能障害	3	4	4	16	6	7	7
HBs抗原陽性	3	1	1	3	1	1	3
高尿酸血症	—	—	—	3	3	2	1
貧血	3	3	1	9	2	2	2
白血球異常	0	1	1	4	2	3	3
血小板数異常	0	0	1	2	2	2	3
その他	0	3	2	5	10	27	17
合 計	13	22	19	61	52	66	63

図4



外国人留学生特別健康診断実施項目

表 8

		基準値	平成10年度	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度	平成4年度
血算式	WBC	4000~9000	○	○	○	○	○	○	○
	RBC	男431~565 女378~497	○	○	○	○	○	○	○
	Ht	男40.2~51.5 女33.6~44.6	○	○	○	○	○	○	○
	Hb	男13.7~17.4 女11.3~14.9	○	○	○	○	○	○	○
	MCV	男83.3~101.4 女80.2~100.7	○	○	○	○	○	○	○
	MCH	男28.2~34.7 女26.4~34.3	○	○	○	○	○	○	○
	MCHC	男31.8~36.4 女31.3~36.1	○	○	○	○	○	○	○
	血小板	13.4~34.9	○	○	○	○	○		
血液像				○			○		○
生化学的検査	総蛋白	6.7~8.3	○	○	○	○	○	○	○
	ALB	3.8~5.8	○	○	○	○			
	A/G	1.1~1.8	○	○	○	○			
	GOT	10~40	○	○	○	○	○	○	○
	GPT	4~50	○	○	○	○	○	○	○
	LDH	290~540	○	○	○	○	○	○	○
	ALP	110~350	○	○	○	○			
	γ-GTP	男 80以下 女 30以下	○	○	○	○	○	○	○
	アミラーゼ	50~160	○	○	○	○			
	クレアチニン	男 0.8~1.2 女 0.6~0.9	○	○	○	○	○	○	○
	尿酸	男 3.5~7.9 女 2.6~6.0	○	○	○	○			
	尿素窒素	8~20	○	○	○	○	○	○	○
	血糖	60~110	○	○					
	中性脂肪	32~153	○	○	○	○	○	○	○
コレステロール	130~240	○	○	○	○	○	○	○	
HDL-コレステロール	男 34~ 76 女 40~ 88	○	○	○	○	○			
血清鉄	男 62~216 女 43~172	○	○	○	○	○		○	
ビリルビン	0.2~1.2	○	○	○	○				
CRP	(-)	○	○				○		○
血清学的検査	梅毒 凝集法	(-)	*○	*○	*○	*○	*○	*○	○
	梅毒 TPHA法	(-)	*○	*○	*○	*○	*○	*○	○
	HBs 抗原	(-)	*○	*○	*○	*○	*○	*○	○
	HCV抗体	(-)	*○	*○	*○	*○	*○	*○	○
	HIV 抗体	(-)	*○	*○	*○	*○	*○	*○	○
尿検査	蛋白	(-)	○	○	○	○	○	○	○
	糖	(-)	○	○	○	○	○	○	○
	潜血	(-)							○
血圧測定	139以下/ 89以下	○	○	○	○	○	○	○	○
心電図検査		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
胸部レントゲン		○	○	○	○	○	○	○	○
その他							空腹時血糖 HbA1c HBs抗原・抗体 UGI ホルター心電図	UGI 空腹時血糖 血液像	UGI 全血比重 血液型

(注1) 平成4年度の検査項目については、医師による問診にて決定したものである。

(注2) 表中の*は、本人の希望によって実施した項目である。

(注3) ◎の項目は、医師が必要とした者のみに実施した。

(注4) 胸部レントゲンは、春季定期健康診断未受検者と希望者のみに実施した。

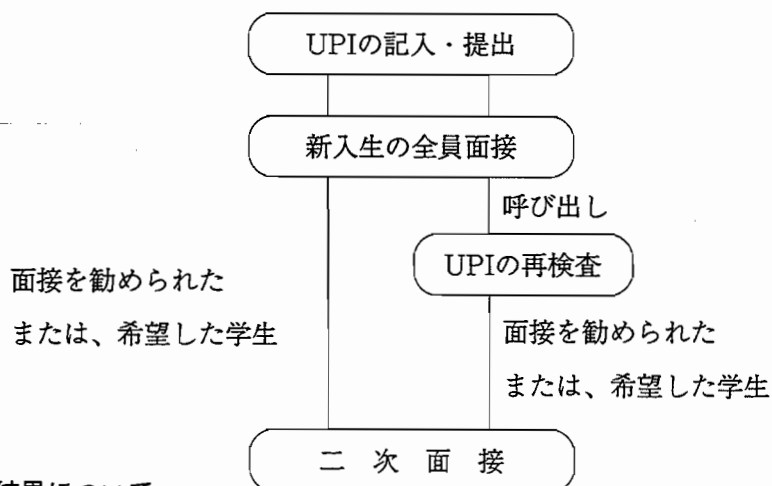
(5) 平成10年度新入生への全員面接と健康調査UPI実施結果

1) 全員面接とUPIの提出について

平成10年4月7、8日にUPIに基づく新入生の全員面接を学生相談室員の協力の下に行った。全員面接実施日にはUPIは入学生全体の63.8%の提出にとどまった。そのため、その後も掲示板などで呼びかけて84.6%の提出をみた。(表1)全員面接が徹底できなかったことについては、日程が予め周知できなかったことが大きいと考え、来年度は合格者へ届けられる資料に日程が盛り込まれるようにしたいと考えている。

2) UPI再検査と2次面接について

全員面接とUPIの結果に基づいて、下記のような基準で65名(提出者の5.3%)をUPI再調査対象として選び、6月末に掲示板に学籍番号を掲示して呼び出した。再調査の基準としては、1)陽性反応数15項目以上のもの、2)項目25番「死にたくなる」に陽性であったもの、3)離人感11番「自分が自分でない気がする」26番「何事も生き生き感じられない」の2項目に陽性であったもの4)被害感56番「他人に陰口をいわれる」57番「周囲の人が気になって困る」の2項目に陽性であったもの、5)相談希望としながらまだ面接していないもの、6)一度面接したが経過観察が必要なものとした。が、来所して再調査に応じたものは23名(対象者の35.4%)であった。2次面接は、4月の全員面接直後と、UPI再調査後に12名行っている。(表2)二次面接者12名のうち、2名は投薬などの医療的介入が必要と考え医療機関を紹介した。7名は精神医学的問題を特に認めず、正常範囲と考えられ、他のものは本人に希望する時に相談に来所することとした。



3) 再調査実施者へのアンケート結果について

再調査時に調査時点の学生生活についてのアンケートを行った。入学時のUPIと再調査時を自分で比較して改善とらえたものが26名中11名であった。(編入生3名含む)。また大半の学生は友人ができ、大学生活で充実できるものを見つけていた。また困った時の相談相手を持つのは26名中20名であった。(編入生3名含む)。相談相手を複数解答で選んでもらうと、友人、家族が各15名で、教官と答えたものは2名であった。

表1 平成10年度 全員面接とUPIの提出率について

	a. 入学生数	b. 面接数 (b/a)	c. 後日提出分 (c/a)	d. 全提出数 (d/a)
教育学部	271	79 29.2%	141 52.0%	220 81.2%
地域科学部	107	48 44.9%	30 28.0%	78 72.9%
医学部	82	48 58.5%	4 4.9%	52 63.4%
工学部(昼間)	594	494 83.2%	56 9.4%	550 92.6%
工学部(夜間主)	87	81 93.1%	3 3.4%	84 96.6%
農学部	226	96 42.5%	65 28.%	161 71.2%
学部合計	1367	846 61.9%	299 21.9%	1145 83.8%
医療技術短期大学部	81	78 96.3%	2 2.5%	80 98.8%
総合計	1448	924 63.8%	301 20.8%	1225 84.6%

教育学部編入	4	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%
工学部(昼間)編入	51	13 25.5%	16 31.4%	29 56.9%
工学部(夜間主)編入	3	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
農学部編入	15	10 66.7%	4 26.7%	14 93.3%
合計	73	27 37.0%	23 31.5%	50 68.5%

表2 平成10年度UPI：提出・再調査・二次面接について

	教育学部			地域科学部			医学部			工学部		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
a. 入学生数	271	77	194	107	42	65	82	45	37	594	534	60
b. UPI提出数	220	60	160	78	25	53	52	29	23	550	496	54
UPI提出率 (b./a.)	81.2%	77.9%	82.5%	72.9%	59.5%	81.5%	63.4%	64.4%	62.2%	92.6%	92.9%	90.0%
c. 再調査対象者数	9	3	6	4	1	3	2	0	2	34	29	5
(c./b.)	4.1%	5.0%	3.8%	5.1%	4.0%	5.7%	3.8%	0.0%	8.7%	6.2%	5.8%	9.3%
d. 再調査実施数	7	2	5	1	1	0	2		2	6	6	0
(d./c.)	77.8%	66.7%	83.3%	25.0%	100.0%	0.0%	100.0%	-	100.0%	17.6%	20.7%	0.0%
e. 二次面接実施数	3	1	2	0	0	0				3	3	0
(e./b.)	1.4%	1.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%

備考：医学部入学生に復学者1名を含む

	工学部(夜)			農学部			全学部			医療短大		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
a. 入学生数	87	79	8	226	118	108	1367	895	472	81	0	81
b. UPI提出数	84	76	8	161	77	84	1145	763	382	80	-	80
UPI提出率 (b./a.)	96.6%	96.2%		71.2%	65.3%	77.8%	83.8%	85.3%	80.9%	98.8%		98.8%
c. 再調査対象者数	5	5	0	9	3	6	63	41	22	2	-	2
(c./b.)	6.0%	6.6%	0.0%	5.6%	3.9%	7.1%	5.5%	5.4%	5.8%	2.5%		2.5%
d. 再調査実施数	2	2	0	3	0	3	21	11	10	2	-	2
(d./c.)	40.0%	40.0%	-	33.3%	0.0%	50.0%	33.3%	26.8%	45.5%	100.0%		100.0%
e. 二次面接実施数	1	1	0	1	0	1	10	5	5	2	-	2
(e./b.)	1.2%	1.3%	0.0%	0.6%	0.0%	1.2%	0.9%	0.7%	1.3%	2.5%		2.5%

(裏面)

健康管理カード I

10

岐阜大学保健管理センター

ふりがな 10	氏名	生年 昭和	性別 男・女
年度 10	学部・研究科	学科・専攻	学籍番号

ふりがな 10	氏名	生年 昭和	性別 男・女	体養系 サークル名
年度 10	学部・研究科	学科・専攻	学籍番号	

健康診断再検査

検査項目	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果
心電図	見																	
血圧測定	見																	
尿検査	尿蛋白																	
	尿糖																	
	尿潜血																	
	尿比重																	
血液検査	血糖																	
	コレステロール																	
備考																		
指 示																		
担当医師名																		

※この欄は記入しないで下さい

既往症	有 精糖 気管支 心疾患 腎疾患	有 才 才 才 才	その他 才 才 才 才	有 才 才 才 才	無 才 才 才 才
-----	------------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------

健康診断

検査項目	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果	検査年月日	結果
身長 (cm)																		
体重 (kg)																		
BMI																		
視力	右		左															
()は矯正																		
血圧																		
番号																		
所見																		
蛋白																		
糖																		
体脂肪率																		
内科診察																		
()は疾患																		
担当医師名																		

年齢	男	生年月日	昭和	学部	学科	学籍番号			
氏名	女	年月日	(歳)						
自宅(家族)住所	〒					TEL			
本人(下宿)住所	〒					TEL			
出身校名	高校卒業(年月)・中退(年月) 高専卒業(年月)・中退(年月) 大学卒業(年月)・中退(年月) 大検			家族構成 ○でかこむ	父 母 祖父 祖母	兄 姉	人 人 その他 ()	弟 妹	人 人

以下の項目について番号順によく読んで該当する欄に□を記入してください。
この調査結果は、あなたの健康状態の理解と増進の目的以外に使用したり、他へ漏らしたりすることはありませ
ないので、安心してチェックしてください。

* あなたが最近1年位の間に時々感じたり、経験したこと。

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1 食欲がない | <input type="checkbox"/> 16 不眠がちである | <input type="checkbox"/> 31 赤面して困る | <input type="checkbox"/> 46 体がだるい |
| <input type="checkbox"/> 2 吐気・胸やけ・腹痛がある | <input type="checkbox"/> 17 頭痛がする | <input type="checkbox"/> 32 吃ったり、声ふるえたりする | <input type="checkbox"/> 47 気になると冷汗が出やすい |
| <input type="checkbox"/> 3 わけもなく便秘や下痢をしやすい | <input type="checkbox"/> 18 頭すじや肩がこる | <input type="checkbox"/> 33 体がほてったり、冷えたりする | <input type="checkbox"/> 48 めまいや立ちくらみがする |
| <input type="checkbox"/> 4 動悸や脈が気になる | <input type="checkbox"/> 19 胸が痛んだり、しめつけられたりする | <input type="checkbox"/> 34 排尿や性器のことが気になる | <input type="checkbox"/> 49 気を失ったり、ひきつけたりする |
| <input type="checkbox"/> 5 いつも体の調子が良い | <input type="checkbox"/> 20 いつも活動的である | <input type="checkbox"/> 35 気分が明るい | <input type="checkbox"/> 50 よく他人に好かれる |
| <input type="checkbox"/> 6 不平や不満が多い | <input type="checkbox"/> 21 気が小さすぎる | <input type="checkbox"/> 36 なんとなく不安である | <input type="checkbox"/> 51 こだわりすぎる |
| <input type="checkbox"/> 7 親が期待しすぎる | <input type="checkbox"/> 22 気疲れする | <input type="checkbox"/> 37 独りでいるとおちつかない | <input type="checkbox"/> 52 くり返したしかめないと苦しい |
| <input type="checkbox"/> 8 自分の過去や家庭は不幸である | <input type="checkbox"/> 23 いらいらしやすい | <input type="checkbox"/> 38 ものごとに自信をもてない | <input type="checkbox"/> 53 汚れが気になって困る |
| <input type="checkbox"/> 9 将来のことを心配しすぎる | <input type="checkbox"/> 24 おこりっぽい | <input type="checkbox"/> 39 何事もためらいがちである | <input type="checkbox"/> 54 つまらぬ考えが取れない |
| <input type="checkbox"/> 10 人に会いたくない | <input type="checkbox"/> 25 死にたくなる | <input type="checkbox"/> 40 他人にわるくとられやすい | <input type="checkbox"/> 55 自分のへんな匂いが気になる |
| <input type="checkbox"/> 11 自分が自分でない感じがする | <input type="checkbox"/> 26 何事も生き生きと感ぜられない | <input type="checkbox"/> 41 他人が信じられない | <input type="checkbox"/> 56 他人に陰口をいわれる |
| <input type="checkbox"/> 12 やる気が出てこない | <input type="checkbox"/> 27 記憶力が低下している | <input type="checkbox"/> 42 気をまわしすぎる | <input type="checkbox"/> 57 周囲の人が気になって困る |
| <input type="checkbox"/> 13 悲観的になる | <input type="checkbox"/> 28 根気が続かない | <input type="checkbox"/> 43 つきあいが嫌いである | <input type="checkbox"/> 58 他人の視線が気になる |
| <input type="checkbox"/> 14 考えがまとまらない | <input type="checkbox"/> 29 決断力がない | <input type="checkbox"/> 44 ひげ目を感じる | <input type="checkbox"/> 59 他人に相手にされない |
| <input type="checkbox"/> 15 気分に波がありすぎる | <input type="checkbox"/> 30 人に頼りすぎる | <input type="checkbox"/> 45 とりこし苦労をする | <input type="checkbox"/> 60 気持が傷つけられやすい |

その他何らかの不調や、気になることがあったら記入してください	上記あるいはその他のことで、相談を希望しますか。
	はい いいえ

(6) 平成11年度入学志願者（前・後期日程）に係る健康状況の確認について

保健管理センター

		確認 依頼	書類審査				高校等への問い合わせ				精密検査	備考
			就学に 支障なし	要精密 検査	入学後の 健康管理	小計	内科	視力	聴力	その他		
教育学部	前期											
	後期											
地域科学部	前期	3			3	3						
	後期	3			3	3						
医学部	前期											
	後期											
工学部	昼間	前期	1		1	1						
		後期										
	夜間主	前期										
		後期										
農学部	前期											
	後期											
合計	前期	4			4	4						
	後期	3			3	3						

*私費外国人留学生については、該当者なし。

2. 職員の健康管理

(1) 平成10年度 職員健康診断実施計画

区分	対象者 (対象者概数)	検査項目等	実施期日	
			柳戸地区	司地区
一般定期健康診断	職員全員 (1,600)	身体測定(身長、体重、視力、聴力) 内科検診 胸部エックス線間接撮影 血圧測定 尿検査(蛋白糖)	5月28日・29日	(医短)6月3日 6月4日・5日
	35歳及び40歳以上 (900)	肝臓機能検査 血清総コレステロール検査 中性脂肪検査 貧血検査	6月4日・5日	5月21日・22日
	40歳以上 (850)	便潜血反応検査	6月4日・5日	7月中旬
	35歳及び40歳以上 (900)	心電図検査	6月4日・5日	7月中旬
	40歳以上 (850)	胃の検査	1月12日・13日	6月16日・17日
	40歳以上で喫煙指数が600以上の者	喀痰細胞診	6月4日・5日	7月中旬
	精密 再検者及び精検者	赤沈、尿検査、血圧測定、胸部エックス線直接撮影	6月8日～30日	6月16日
特別定期健康診断	放射線取扱者 (250)	皮膚の検査、問診(3月毎) 血液の検査(6月毎)	4月17日 10月16日	5月下旬 11月中旬
	病原体汚染業務従事者 (800)	自覚症状等の検査 病原体による疾病に特有な症状の検査 病原体の検査	4月17日 10月16日	5月21日・22日 11月中旬
	特定有害物質取扱者 (70)	自覚症状等の検査、 口腔及び皮膚の検査、 血液の検査、尿検査、 肺臓の検査、肺活量の検査等	4月17日 10月16日	5月21日・22日 11月中旬
	理学療法士 (2)	自覚症状等の検査、皮膚の検査、 上肢・頸部及び背部の機能検査	—————	6月4日・5日 12月中旬
	夜勤者 (280)	自覚症状等の検査、 血圧の測定、尿の検査	—————	6月4日・5日 12月中旬
	給食等関係者 (25)	伝染病の検査(毎月) 寄生虫の検査(6月毎)	中旬 4月・10月中旬	中旬 4月・10月中旬
		自覚症状等の検査、皮膚の検査、 腰部の機能検査	5月28日・29日 11月20日	6月4日・5日 12月中旬
自動車運転手 (2)	自覚症状等の検査、眼の検査、 聴器の検査、平衡機能の検査、 胃腸の検査、血圧の測定、 上肢・頸部及び腰部の機能検査	5月28日・29日 11月20日	6月4日・5日 12月中旬	
臨健康時診断	35歳以上女子 (180)	子宮癌検診	11月2日～14日	11月2日～14日
	VDT作業従事者 (45)	自覚症状等の検査、眼の検査、 上肢・頸部及び背部の機能検査 VDT従事者問診	11月20日	12月中旬
職員健康診断判定会議		1回目：11月上旬	2回目：3月上旬	

* 教育学部附属小・中学校、農学部附属演習林及び流域環境研究センター(高山試験地)については、別途実施する。

(2) 平成10年度 職員一般定期健康診断実施結果

検査項目 部 局	胸部X線間接撮影 (職員全員)				胸部X線直接撮影 (間接異常者等)				血 圧 測 定 (職員全員)				尿 検 査 (職員全員)				心 電 図 検 査 (満35歳及び40歳以上)				血清総コレステロール (満35歳及び40歳以上)				
	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	
事務局・学生部 地域共同研究センター 保健管理センター ほか	142	57	40	1	1	1	100	1	142	57	40	2	142	57	40	3	106	15	14	100	1	106	36	34	2
教 育 学 部	201	36	18		1	1	100	1	201	74	37	5	201	74	37	1	134	19	14		2	134	34	25	2
地 域 科 学 部	60	15	25						60	15	25	2	60	15	25		45	3	7			45	4	9	1
医 学 部	260	105	40	5	13	12	92	1	260	105	40	15	260	102	39	15	178	15	8	2	178	127	71	23	8
医学部附属病院	495	356	72	2	9	7	78	3	495	342	69	10	495	338	68	10	183	28	15	6	183	151	83	21	10
工 学 部	259	69	27	2	2	2	100		259	69	27	4	259	69	27		173	14	8	5	173	43	25	5	1
農 学 部 大学院連合農学研究科 同 獣医学研究科	151	49	32						151	49	32	8	151	49	32	3	109	7	6	2	109	38	35	5	
附 属 図 書 館	18	11	61						18	11	61		18	11	61	1	15	2	13		15	7	47		
医療技術短期大学部	32	10	31						32	11	31		32	10	31		20	2	10		20	13	65	3	
計	1,618	708	44	10	26	24	92	7	1,618	733	45	46	1,618	725	45	33	963	105	11	18	963	453	47	62	19
人間ドック受診者		361								361				361				361				361			
人間ドック受診者を加えた受診率	1,618	1,069	66						1,618	1,094	68		1,618	1,086	67		963	466	48		963	814	85		
同上昨年度受診率	1,603	953	59						1,603	1,043	65		1,603	1,035	65		942	435	46		942	715	76		

注 ・ 下段数字は希望者で外数
 ・ 喀痰細胞診検査の対象者は、満40歳以上で喫煙指数（1日の平均喫煙本数×喫煙年数）が600以上の者（喫煙に関するアンケートに回答した職員1,052人中86人（8.175%）が喫煙指数600以上という結果が出

中性脂肪 (満35歳及び40歳以上)			血糖値の検査 (満35歳及び40歳以上)				貧血検査 (満35歳及び40歳以上)				肝機能検査 (満35歳及び40歳以上)				胃の検査 (満40歳以上)			便潜血反応検査 (満40歳以上)				喀痰細胞診検査 (喫煙指数600以上の者)						
対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	対象者	受診人員	受診率	経過観察実施数	
1068	368	34100		1068	368	34100	1	1068	368	34100		1068	368	34100	2	1052	82	8100	1	1052	142	13100	1	121	121	100	1	
1343	343	25100	1	1343	343	25100		1343	343	25100		1343	343	25100	1	1275	125	9100	2	1275	95	7100		16	4	25		
454	44	9100	1	454	44	9100		454	44	9100		454	44	9100	1	411	51	12100		411	41	10100		5	4	80		
17872	12772	71100	143	17872	12772	71100	132	17872	12772	71100	82	17872	12772	71100	95	1742	152	9100	2	1741	91	5100		211	71	33100		
183301	151301	83100	117	183301	151301	83100	64	183301	151301	83100	88	183301	151301	83100	55	1624	114	7100		1624	74	4100		403	33	100		
17312	4312	25100	41	17312	4312	25100	31	17312	4312	25100		17312	4312	25100	11	1631	101	6100	3	1631	81	5100		211	11	5100		
10922	3822	35100	51	10922	3822	35100	1	10922	3822	35100		10922	3822	35100	31	1021	131	13100		1021	61	6100		12	4	33		
151	71	47100	1	151	71	47100		151	71	47100		151	71	47100		15	2	13		15	1	7		1				
207	137	65100	1	207	137	65100		207	137	65100		207	137	65100		20				20	2	10		2	2	100		
963430	453430	47100	3813	963430	453430	47100	247	963430	453430	47100	1610	963430	453430	47100	2313	90915	7615	8100	8	90914	6014	7100	1	1306	346	26100	1	
	361				361				361				361				361				361							
963	814	85		963	814	85		963	814	85		963	814	85		909	437	48		909	421	46						
942	715	76		10年度から実施				642	715	76		942	715	76		900	425	47		900	390	43						

たので、職員数に8.175%を乗じた数を対象者とした。)

(3) 平成10年度 職員特別定期健康診断等実施結果

検査項目 部局	有害薬品(1号)				病原体(4号)				チェンソー(5号)				放射線(2号)				理学療法士(4号)				
	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率 %	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率 %	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率 %	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率 %	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率 %	
事務局・学生部 地域共同研究センター 保健管理センター ほか	2	2	3	75	7	6	11	79					3	3	12	100					
教育学部	7	7	10	71									5	5	10	50					
地域科学部																					
医学部					254	199	295	58					59	59	236	100					
医学部附属病院	9	9	17	94	486	452	902	93					122	122	488	100		2	2	4	100
工学部	25	17	30	60	1								20	20	45	56					
農学部 大学院連合農学研究科 同 獣医学研究科	15	15	24	80	2	4	4	5	63	3	3	6	100	31	31	124	100				
附属図書館																					
医療技術短期大学部					17	17	31	91													
計	58	50	84	72	3	768	678	1244	81	3	3	6	100	240	240	915	95	2	2	4	100
昨年度受診率				82					81				50				97				89

注：放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査（年4回実施）下段数字は血液の検査（年2回実施）を示す。
 ・調理配膳の上段数字は、伝染病の検査（毎月1回実施、附属学校は7月及び8月は月1回、その他の月は、毎月2回実施）
 ・VDT作業従事者及び子宮癌の検診は年1回実施し、子宮癌検診の上段数字は、35歳以上の女子職員（対象者）、下段数字は
 ・その他の健康診断は年2回実施する。

深夜作業(6号)					自動車運転手(7号)					調理配膳(8号)					VDT作業従事者					子宮癌検診				
対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数	対 象 者	受 診 実 人 員	受 診 延 人 員	受 診 率	経 過 観 察 実 施 数
人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人	人	人	人	%	人
					1	1	2	100							7	7	7	100		10	1	1	10	
										3	3	66	100		3	1	1	33		32	1	1	3	
															1					3	1	1	100	
					1	1	2	100		15	15	180	100		17	17	17	100		27	1	1	4	
303	570	570	94	8											12	12	12	100		106	2	2	2	
															1					22				
										1	1	12	100							3	1	1	33	
										1	1	2	100											
															11	9	9	82		4				
																				13				
303	570	570	94	8	2	2	4	100		19	19	258	100		52	46	46	88		220	6	6	3	
										19	19	41	100							1	1	1	100	
			97					100					100					100					2	
													100										100	

下段数字は寄生虫、皮膚及び腰部の機能検査(年2回実施、附属学校は年3回実施)を示す。
35歳未満の女子職員(希望者)を示す。

(4) 平成10年度 放射線取扱者特別健康診断結果 (学生・職員)

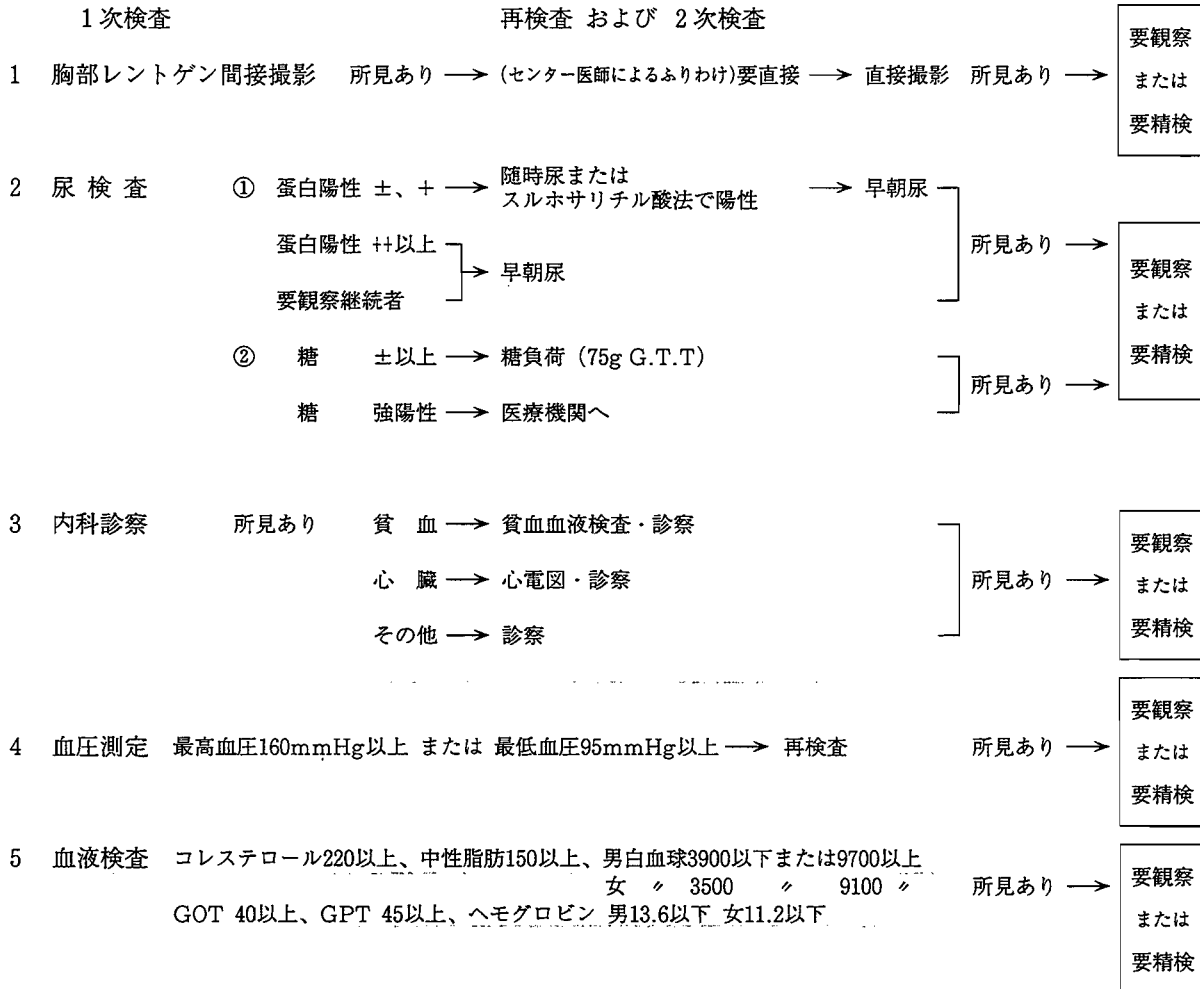
4 月	対象者数	受診者数	再 掲 外国人 留学生	未受診 者 数	検 査 結 果				再 検 査 結 果		
					正常範囲	要観察	要再検査	要医療	放置可	要観察	未受検
学 生	教 育 学 部	4	4		4						
	工 学 部	44	43		1	40		3		2	1
	農 学 部	70	70			58	6	5	1	4	1
	教育学研究科	1	1			1					
	工学研究科	50	49	2	1	44	4	1		1	
	農学研究科	37	37	4		32	2	3		2	1
	連合農学研究科	8	8	3		8					
	連合獣医学研究科	15	15	1		12	3				
研 究 生	3	3	3		3						
学 生 合 計	232	230	13	2	202	15	12	1	9	2	1
職 員	59	52		7	43	9					
そ の 他	研 究 者	2	2		2						
総 合 計	293	284	13	9	247	24	12		9	2	1

10 月	対象者数	受診者数	再 掲 外国人 留学生	未受診 者 数	検 査 結 果				再 検 査 結 果		
					正常範囲	要観察	要再検査	要医療	放置可	要観察	未受検
学 生	教 育 学 部										
	工 学 部	3	3			3					
	農 学 部	18	18			13	1	4		3	1
	教育学研究科										
	工学研究科	4	4			3		1		1	
	農学研究科	1	1			1					
	連合農学研究科	1	1			1					
	連合獣医学研究科	5	5			4	1				
研 究 生	1	1	1		1						
学 生 合 計	33	33	1		26	2	5		4	1	
職 員	61	50		11	47	1	2			2	
そ の 他	研 究 者	1	1	1	1						
総 合 計	95	84	2	11	74	3	7		4	3	

3 月	対象者数	受診者数	再 掲 外国人 留学生	未受診 者 数	検 査 結 果				再 検 査 結 果		
					正常範囲	要観察	要再検査	要医療	放置可	要観察	未受検
学 生	教 育 学 部	5	5		5						
	工 学 部	29	24		5	20	2	2		2	
	農 学 部	25	22		3	17	3	1			1
	教育学研究科										
	工学研究科	16	16			16					
	農学研究科	10	8	1	2	7	1				
	連合農学研究科	2	1		1	1					
	連合獣医学研究科	1	1			1					
研 究 生	2	2	1		2						
学 生 合 計	90	79	2	11	69	6	3		2	1	
職 員											
そ の 他	研 究 者										
総 合 計	90	79	2	11	69	6	3		2	1	

〈参考〉

職員の定期健康診断フォロー体制



*治療中のものは、経過把握し要観察とする。

3. 平成10年度 保健管理センター利用状況（学生・職員等）

利用者数

区 分	学 生						
	学 部		研 究 科		医療技術短期大学部		研 究 生 等
内 科 的 処 置	1,868	102	459	27	21	5	85
外 科 的 処 置	247	21	42	1			17
整 形 外 科 的 処 置	196	31	31	9	1		15
眼 科 的 処 置	40	22	7	2			1
耳 鼻 科 的 処 置	24	13	7	4			3
皮 膚 科 的 処 置	135	25	52	8			14
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	21	7	3				3
精 神 神 経 科 的 処 置	179	3	110	3			2
泌 尿 器 科 的 処 置	61	22	9	2			0
婦 人 科 的 処 置	125	15	13	2			2
そ の 他	85		4				1
健 康 診 断 書 の 申 請	1,574		495		149		50
合 計	4,555	261	1,232	58	171	5	193

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 面	686	158	7	6
精 神 面	17	2		
そ の 他	8			
小 計	711	160	7	6

B 救急処置

創 部 処 置	266	51		18
湿 布	104	28	1	6
投 薬	1,016	231		78
ベ ッ ド 休 養	57	6		7
そ の 他	11			11
小 計	1,454	316	1	109

C 検査、診察

尿 検 査	514	65	9	2
血 圧 測 定	290	101	3	8
心 電 図 検 査	101	22	7	1
血 液 検 査	90	33	5	2
診 察	1,544	501	14	114
そ の 他	664	164		42
小 計	3,203	886	38	169

D その他

救 急 薬 品 貸 出	95			1
証 明 書 発 行	3,071	913	228	60
紹 介 状 発 行	221	53	5	6
そ の 他		21		2
小 計	3,387	987	233	69

A+B+C+D延べ件数	8,755	2,349	279	353
再掲健康診断事後措置	880	131	19	55

健 康 診 断 実 施 数	6,227	1,375	227	64
新 入 生 健 康 調 査	1,195		80	
健 康 教 育	1,241			
国 試 面 接	93		79	

計		職 員		そ の 他		合 計		再掲 外国人留学生	
2,433	134	1,219	61	25	2	3,677	197	149	5
306	22	70	4	9		385	26	23	
243	40	146	5	2	1	391	46	21	2
48	24	34	5			82	29	1	
34	17	28	2			62	19	4	1
201	33	97	3			298	36	21	1
27	7	21				48	7	7	1
291	6	9		6		306	6	4	
70	24	29	5	1	1	100	30		2
140	17	11		2		153	17	6	
90	0	19		1		110		37	
2,268		21				2,289		85	
6,151	324	1,704	85	46	4	7,901	413	358	12

857	93	4	954	16
19		4	23	
8			8	
884	93	8	985	16

335	70	8	413	26
139	17	1	157	8
1,325	968	16	2,309	145
70	7	10	87	
11	4		15	
1,880	1,066	35	2,981	179

590	122		712	9
402	196	2	600	12
131	23		154	1
130	194		324	8
2,173	1,040	10	3,223	221
870	260		1,130	93
4,296	1,835	12	6,143	344

96	16		112	1
4,272	23		4,295	134
285	76	3	364	16
23		1	24	
4,676	115	4	4,795	151

11,736	3,109	59	14,904	690
1,085	132		1,217	47

7,893	1,043		8,936	296
-------	-------	--	-------	-----

1,275				
1,241			1,241	
172				

月別保健管理センター利用状況（学部生：医療短大は除く）
利用者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内 科 的 処 置	207	14	142	5	382	30	121	9	24	3	102	5
外 科 的 処 置	28	1	32	1	40	8	17	2	11	1	28	1
整 形 外 科 的 処 置	17	2	30	8	39	10	22	2	1	1	7	2
眼 科 的 処 置	3	2	9	5	10	8					4	1
耳 鼻 科 的 処 置	1		5	2	2	2	4	3			1	1
皮 膚 科 的 処 置	23	3	16	5	25	9	11	2	4	1	19	2
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	1	1	1		7	2	1	1	1	1	3	1
精 神 神 経 科 的 処 置	19	1	14		19		22		14		28	1
泌 尿 器 科 的 処 置	8	4	2		17	6	4	2	4	2	5	
婦 人 科 的 処 置	10		17	1	23	7	15		2		5	
そ の 他	2		8		7		15		10		6	
健 康 診 断 書 の 申 請	135		437		162		178		293		65	
合 計	454	28	713	27	733	82	410	21	364	9	273	14

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 面	107	37	93	58	14	26
精 神 面			1	3	2	5
そ の 他	1		3			3
小 計	108	37	97	61	16	34

B 救急処置

創 部 処 置	38	37	40	18	12	35
湿 布	8	18	21	11	1	1
投 薬	88	108	114	66	16	82
ベ ッ ド 休 養	6	6	10	4	2	10
そ の 他		2	3	2		1
小 計	140	171	188	101	31	129

C 検査、診察

尿 検 査	91	36	155	21	7	8
血 圧 測 定	19	13	83	10	2	9
心 電 図 検 査	13	4	35	5	4	2
血 液 検 査	12	2	38	3	3	4
診 察	157	149	293	149	34	128
そ の 他	49	68	59	38	5	60
小 計	341	272	663	226	55	211

D その他

救 急 薬 品 貸 出	1	10	7	20	9	14
証 明 書 発 行	507	1,011	382	310	345	113
紹 介 状 発 行	28	23	64	18	8	11
そ の 他						
小 計	536	1,044	453	348	362	138

A+B+C+D延べ件数	1,125	1,524	1,401	736	464	512
再掲 健診事後措置	126	48	280	74	4	7

健 康 診 断 実 施 数	117	4,769	54			28
新 入 生 健 康 調 査	1,195					
健 康 教 育				11		
国 試 面 接						

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
195	7	98	4	101	3	109	3	173	8	214	11	1,868	102
17	3	31	1	27	2	8	1	2		6		247	21
23	3	13	1	17		9	1	11		7	1	196	31
2	1	4	2	3	2	1		3		1	1	40	22
3	1	2	1	1	1			4	2	1		24	13
15		10	1	3	1	2		4	1	3		135	25
2		2		2	1			1				21	7
17		12	1	8		6		13		7		179	3
2	1	1		3	2	3	1	6		6	4	61	22
19	2	8	1	12	2	4		5		5	2	125	15
9		7		2		1		12		6		85	
49		41		82		49		15		68		1,574	
353	18	229	12	261	14	192	6	249	11	324	19	4,555	261

85	24	29	10	72	131	686
3	1			2		17
		1				8
88	25	30	10	74	131	711

19	29	27	4	3	4	266
14	10	9	5	4	2	104
105	108	102	94	92	41	1,016
8		5	4	2		57
1	1		1			11
147	148	143	108	101	47	1,454

14	5	4	13	51	109	514
70	10	5	6	15	48	290
11	3	3	2	7	12	101
4	2	1	1	9	11	90
148	38	113	101	136	98	1,544
66	57	70	78	79	35	664
313	115	196	201	297	313	3,203

9	7		4	9	5	95
79	50	89	62	20	103	3,071
13	9	13	5	10	19	221
101	66	102	71	39	127	3,387

649	354	471	390	511	618	8,755
61	9	1	12	91	167	880

	31		530	28	670	6,227
						1,195
	430		800			1,241
		70			23	93

月別保健管理センター利用状況（大学院生）
利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置	26	39	62	34	7	34
外科的処置	4	1	3	3		6
整形外科的処置	2		5	1	3	2
眼科的処置		1			1	3
耳鼻科的処置						1
皮膚科的処置		7	4	12	7	5
歯科口腔外科的処置				1		
精神神経科的処置	5	5	7	15	14	12
泌尿器科的処置		2	2			2
婦人科的処置	1	1	4	2		1
その他						
健康診断書の申請	54	171	47	41	22	50
合計	92	227	134	109	54	116

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体面	8	18	25	19	2	5
精神面				1		
その他						
小計	8	18	25	20	2	5

B 救急処置

創部処置	4	3	5	5		7
湿布			4			18
投薬	19	17	23	22	10	
ベッド休養	1		1	1	1	
その他						
小計	24	20	33	2	11	25

C 検査、診察

尿検査	4	5	11	1		4
血圧測定	7	18	22	4	1	9
心電図検査	1	1	5	3		7
血液検査	1	1	2			8
診察	23	36	45	56	28	50
その他	12	9	11	9	4	16
小計	48	70	96	73	33	94

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行	111	340	88	75	26	63
紹介状発行	2	2	7	5	6	6
その他				21		
小計	113	342	95	101	32	69

A+B+C+D延べ件数	193	450	249	222	78	193
再掲健康診事後措置	10	27				

新入生健康調査						
健康診断実施数	110	806	18			15
健康教育						

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
42	3	23	3	34	1	47	3	50	2	61	3	459	27
5		2		9				5		4		42	1
3	1	5	1	1		2	1	3		4	2	31	9
2	1											7	2
		2	1	2	2					2		7	4
4	1	2	1	1		1		4		5		52	8
						1		1				3	
7		9	1	10		5		11		10		110	3
								2	1	1		9	2
1		1	1	1				1				13	2
		2		1				1				4	
6		7		35		16		27		19		495	
70	6	53	8	94	3	72	4	105	3	106	5	1,232	58

16	1	4	7	22	31	158
	1					2
16	2	4	7	22	31	160

6	2	9		6	4	51
1	2	1	1		1	28
23	22	26	20	25	24	231
1	1					6
31	27	36	21	31	29	316

	2		5	15	18	65
10	1		3	7	19	101
		1	1	1	2	22
	1		8	4	8	33
42	37	45	39	54	46	501
12	18	19	15	19	20	164
64	59	65	71	100	113	886

6	14	43	38	55	54	913
5	8	3	4	1	4	53
						21
11	22	46	42	56	58	987

122	110	151	141	209	231	2,349
7	2		20	29	36	131

	99			7	320	1,375
--	----	--	--	---	-----	-------

月別保健管理センター利用状況（医療技術短期大学部）
利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置			1	7	3	4
外科的処置						
整形外科的処置			1			
眼科的処置						
耳鼻科的処置						
皮膚科的処置						
歯科口腔外科的処置						
精神神経科的処置						
泌尿器科的処置						
婦人科的処置						
その他						
健康診断書の申請				68		1
合計			2	75	3	4

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体面				4	3	
精神面						
その他						
小計				4	3	

B 救急処置

創部処置						
湿布			1			
投薬						
ベッド休養						
その他						
小計			1			

C 検査、診察

尿検査				3	3	
血圧測定				1		
心電図検査			1	1	1	
血液検査				2	1	
診察			1	5	1	
その他						
小計			2	12	6	

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行				68		1
紹介状発行				3		
その他						
小計				71		1

A+B+C+D延べ件数			3	87	9	1
再掲健康診事後措置				7	4	

新入生健康調査	80					
健康診断実施数		227				
健康教育						
国試面接						

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
6	2	2		1								21	5
												1	
				1						79		149	
6	2	2		2						79		171	5

												7	
												7	

												1	
												1	

3												9	
1		1										3	
2		1		1								7	
1		1										5	
4		2		1								14	
11		5		2								38	

				1						158		228	
1		1										5	
1		1		1						158		233	

12	6	3						158				279	
6	2											19	

												227	
								79				79	

月別保健管理センター利用状況（研究生）
利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置	8	2	5	3	3	2
外科的処置		1	1			1
整形外科的処置				1	2	1
眼科的処置						1
耳鼻科的処置						
皮膚科的処置		2	5		1	2
歯科口腔外科的処置	1	1			2	
精神神経科的処置						
泌尿器科的処置						
婦人科的処置					1	
その他						
健康診断書の申請		4	4	5	8	6
合計	9	8	15	9	17	13

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体面			2			1
精神面						
その他						
小計			2			1

B 救急処置

創部処置			3			1
湿布					1	
投薬		3	4	3	8	4
ベッド休養	7					
その他						
小計	7	3	7	3	9	5

C 検査、診察

尿検査	1				1	
血圧測定	1		2	1		
心電図検査						
血液検査						
診察	8	4	6	3	7	5
その他	5	2	1	1	3	2
小計	15	6	9	5	11	7

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行		7	7	5	9	8
紹介状発行						1
その他						
小計		7	7	6	9	9

A+B+C+D延べ件数	22	16	25	14	29	22
再掲 健診事後措置			3			

健康診断実施数	16					
健康教育						

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
8	2	12	23	12	5	85
		10	2	1	2	17
		5	1	2	3	15
						1
			2	1		3
	1	3				14
	1			1		3
						2
		1	1			2
	1					1
2	3	13	4	1		50
10	8	44	2	33	2	193

		2	1			6
		2	1			6

		11	1	1	1	18
		5				6
6	3	16	17	10	4	78
						7
6	3	32	18	11	5	109

						2
1		1	1	1		8
		1				1
			2			2
7	3	22	22	14	13	114
3		4	13	4	4	42
11	3	28	38	19	17	169

		1				1
2	3	14	4	1		60
		2	1		2	6
	1					2
2	4	17	5	1	2	69

19	10	79	62	31	24	353
12	1	3	7	29		55

	46				2	64
--	----	--	--	--	---	----

月別保健管理センター利用状況（職員）
利用者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
内 科 的 処 置	77	1	61	2	112	6	113	14	106	12	89	2
外 科 的 処 置	8	1	10		3		10		1		4	2
整 形 外 科 的 処 置	12	1	7	1	20	1	20		18	2	9	
眼 科 的 処 置			2		2		1		3	1	4	1
耳 鼻 科 的 処 置	4		1		1				1		3	1
皮 膚 科 的 処 置	6		16		12	2	9	1	13		10	
歯 科 口 腔 外 科 的 処 置	2		1		2		2		1		2	
精 神 神 経 科 的 処 置	3				1		1		2		1	
泌 尿 器 科 的 処 置	4	1	1		3		3	2	4		2	1
婦 人 科 的 処 置									3		3	
そ の 他							1				6	
健 康 診 断 書 の 申 請	1		3		1						2	
合 計	117	4	102	3	157	9	160	17	152	15	135	7

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身 体 面	10	10	20	9	8	6
精 神 面						
そ の 他						
小 計	10	10	20	9	8	6

B 救急処置

創 部 処 置	3	12	7	11	2	2
湿 布	1			3	1	2
投 薬	76	66	75	67	81	77
ベ ッ ド 休 養			1			2
そ の 他	1					
小 計	81	78	83	81	84	83

C 検査、診察

尿 検 査	9	7	9	14	13	14
血 圧 測 定	14	10	25	15	15	11
心 電 図 検 査	2		3	3	4	1
血 液 検 査	13	6	25	14	14	17
診 察	68	54	88	103	98	87
そ の 他	26	20	23	16	17	15
小 計	132	97	173	165	161	145

D その他

救 急 薬 品 貸 出				1		6
証 明 書 発 行	1	3	1			2
紹 介 状 発 行	3	3	7	17	14	5
そ の 他						
小 計	4	6	8	18	14	13

A+B+C+D延べ件数	227	191	284	273	267	247
再掲 健診事後措置		2	22	47	28	15

健 康 診 断 実 施 数	177	310	324			
健 康 教 育						

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
124	1	84	3	105	2	134	8	107	6	107	4	1,219	61
4		11	1	8		9		1		1		70	4
14		14		11		5		7		9		146	5
3		1				3	2	5		10	1	34	5
1						4		2	1	11		28	2
6		8		3		4		5		5		97	3
2		3		1		3				2		21	
										1		9	
3		2				3	1	2		2		29	5
		3								2		11	
4		3		5								19	
1		3		2		1		5		8		27	
135	1	132	4	132	2	166	11	134	7	158	5	1,710	85

7	2	6	9	1	5	93
7	2	6	9	1	5	93

4	13	4	8	2	2	70
1	3	3	1	1	1	17
99	76	91	92	82	86	968
			1		3	7
2					1	4
106	92	98	102	85	93	1,066

9	7	9	11	12	8	122
18	17	17	19	16	19	196
1			4	1	4	23
21	7	15	24	20	18	194
96	73	83	99	91	100	1,040
27	13	28	30	26	19	260
172	117	152	187	166	168	1,835

4		5				16
1	2	2	1	5	9	27
1	4	2	10	6	4	76
6	6	9	11	11	13	119

291	217	265	309	263	279	3,113
4		2	6	5	1	132

94	47		91			1,043
----	----	--	----	--	--	-------

健康診断実数は柳戸地区、定期健康診断については柳戸地区・北野町地区受診者の数をいう。

月別保健管理センター利用状況（その他）
利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置			1	2	2	1
外科的処置			1	1		1
整形外科的処置						1
眼科的処置						
耳鼻科的処置						
皮膚科的処置						
歯科口腔外科的処置						
精神神経科的処置		2	1	1	1	1
泌尿器科的処置					1	1
婦人科的処置						
その他						
健康診断書の申請						
合計		2	3	4	4	4

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体面			1	1		1
精神面			1	1	1	1
その他						
小計			2	2	1	2

B 救急処置

創部処置					1	1
湿布						
投薬				2		3
ベッド休養					1	
その他						
小計				2	2	4

C 検査、診察

尿検査						
血圧測定			1			
心電図検査						
血液検査						
診察		2	1		1	1
その他						
小計		2	2		1	1

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行						
紹介状発行					2	
その他						
小計					2	

A+B+C+D延べ件数		2	4	4	6	7
再掲 健診事後措置						

健康診断実施数						
健康教育						

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
2			13	3	1	25
	3		1	2		9
					1 1	2
						6
						1
			2			2
		1				1
2	3	1	16	5	2 1	46

	1					4
						4
	1					8

	3		1	2		8
					1	1
1			9	1		16
			9			10
1	3		19	3	1	35

1						2
			4		1	10
1			4		1	12

					1	3
		1				1
		1			1	4

2	4	1	23	3	3	59
---	---	---	----	---	---	----

--	--	--	--	--	--	--

月別保健管理センター利用状況（再掲 外国人留学生）
利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科的処置	9	9	14	7	3	2
外科的処置	3		1	1		1
整形外科的処置			2	2	1	1
眼科的処置						1
耳鼻科的処置						
皮膚科的処置		3	5	3	1	2
歯科口腔外科的処置	1	1		1	2	
精神神経科的処置		1	1			
泌尿器科的処置						
婦人科的処置			3	1	1	
その他						
健康診断書の申請		7	7	8	7	44
合計	13	20	2	8	7	51

右側数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

利用の内訳

A 健康相談、保健指導

身体面		2	3	1		1
精神面						
その他						
小計		2	3	1		1

B 救急処置

創部処置	2	1	3	1		1
湿布			2			
投薬	10	8	13	13	8	4
ベッド休養						
その他						
小計	12	9	18	14	8	5

C 検査、診察

尿検査			2			
血圧測定		1	1	1		
心電図検査						
血液検査	1		1			
診察	10	10	18	14	7	5
その他	6	5	4	6	3	2
小計	17	16	26	21	10	7

D その他

救急薬品貸出						
証明書発行		8	8	8	7	52
紹介状発行			1			1
その他						
小計		8	9	8	7	53

A+B+C+D延べ件数		35	4	8	7	
再掲 健診事後措置		3				

健康診断実施数	3	150				
健康教育						

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
24	1	14	1	12		23	1	24	2	8		149	5
1		1		10		2				3		23	
1		1		5		2		3		3		21	2
												1	
		1				2	1	1				4	1
2	1	2		3								21	1
								3				7	1
				1				1				4	
		1	1	1								6	2
				37								37	
3						5		3		1		85	
31	2	20	2	69		34	2	35	2	15		358	12

2	1	2	1	3		16
2	1	2	1	3		16

1	1	11	1	2	2	26
1		5				8
17	15	16	17	18	6	145
19	16	32	18	20	8	179

	3			4		9
4	1	1	1	2		12
		1				1
1	1		2	2		8
24	50	22	22	26	13	221
10	25	4	13	10	5	93
39	80	28	38	44	18	344

		1				1
3		39	5	3	1	134
	10	4				16
3	10	43	5	3	1	145

						514
7	3		28	6		47

	143					296
--	-----	--	--	--	--	-----

平成10年度 岐阜大学保健管理センター利用状況

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
		学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
応急処置及び保健指導	呼吸器系	64	27	74	20	57	19	32	12	8	19	56	19
	内科	12	5	8	4	19	10	13	9	5	16	11	10
	循環器系	4	17	2	14	6	16	7	13	7	19	8	15
	内分泌/栄養系	5	5	2	5	3	19	1	10	1	12	15	13
	その他	1		5	2	8	4	7	3	1		12	6
	外科系	30	7	33	9	40	3	18	10	12	1	34	4
	整形外科系	29	10	25	7	38	17	21	20	6	18	9	10
	皮膚・皮下系	19	6	19	15	29	13	21	7	12	14	22	10
	眼科系	1		4	3	5	2		1	2	2	4	3
	耳鼻咽喉科系		5	5	1			4	1			2	2
	歯科・口腔系	2	2	1	1	8	3		2	3	1	3	2
	神経系	8	2	1	1	9	6	4	2	10	2	13	2
	泌尿器系	2	3		1	5	2	2	2	2	3	4	1
	婦人科系	7		7		15		9		2	2	5	1
	その他												
A 小計		184	89	186	83	242	114	139	92	71	109	193	98
健康相談(身体面)	呼吸器系	2	2	2		2			2			2	1
	内科	1	2	1	1	2					2	1	3
	循環器系	1	10		2	2	6	1	8		3	3	
	内分泌/栄養系	1	6	3	7	16	10	9	6	2	4	10	4
	その他				1	1		1					2
	外科系	1	1			1						1	
	整形外科系			4		7	3	2				1	
	皮膚・皮下系	1	2	6		7		2	1	2	1	3	
	眼科系	1		5		3					1	4	
	耳鼻咽喉科系					2	1					1	1
	歯科・口腔系					1		1					
	神経系	2										1	
	泌尿器系	1	1			2				1			1
婦人科系	4		9		12		6		2	1	1	2	
その他			1										
B 小計		15	24	31	11	58	20	22	17	7	12	29	14
精神・社会面 学生相談	精神・心理・行動	15		19		12	2	16		14		21	
	対人関係	2	1			5		9		4		2	
	学業面	3				2		5		2		4	
	進路			1		1							
	経済												
その他	3	2	1		3		5	1	2	2	6		
C 小計		23	3	21		23	2	35	1	22	2	33	
健康診断	事後措置	126		76	2	321	22	102	47	13	28	10	15
	未受診者対応			15		20		1					
	証明書発行関連	2		10	2	3	1						
D 小計		128		101	4	344	23	103	47	13	28	10	
E 健康教育								11					
その他	ワクチン接種												
	各種測定											63	4
	その他	2				13				10		11	6
F 小計		2				13				10		74	10
A～F総合計		352	116	339	98	667	159	299	157	113	151	270	112

(再掲 岐阜地区保看班共通項目による分類)

10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		合計
学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	
78	33	80	32	89	40	100	50	92	44	49	24	779	339	1,118
18	17	10	15	19	13	14	18	8	10	9	16	146	143	289
47	30	3	18	9	20	5	22	3	24	8	32	109	240	349
5	17	5	8	2	14	2	26		15	6	18	47	162	209
6	13	5	3	1	5	2	2	2	1	2	11	52	50	102
20	4	35	11	48	8	8	9	11	1	12	2	301	69	370
25	12	19	12	21	12	12	4	14	5	14	8	233	135	368
28	6	13	7	7	3	1	4	9	5	7	4	187	94	281
3	3	3	1	3				3	3	1	11	29	29	58
3	1	4		3	1	1	2	4	2	3	13	29	28	57
2	2	2	4	2	1	2	3	3			1	28	22	50
3	1	9	2	7	2		3	1	4	4		69	27	96
2	3	2	2	2	1	3	3	3	2	5	3	32	26	58
15		8		11		3		7	2	4	1	93	6	99
		1					1					1	1	2
255	142	199	115	224	120	153	147	160	118	124	144	2,135	1,371	3,506
		1		1		1						14	5	19
1			2	1				1				8	10	18
4	3	2		1	4		2	1				15	38	53
11	4	5		10	1	5	3	9	6	4		85	51	136
1	1	3		1	1			1		1	1	10	6	16
						1						4	1	5
1	2			2		1	1			1		19	6	25
2						2		1	1	1	2	27	7	34
1		1				1	1					16	2	18
							2					3	4	7
												2		2
												3		3
						1		1				6	2	8
5		1		3		1				1	1	45	4	49
1						1		1				4		4
30	10	13	2	19	6	14	9	15	7	8	4	261	136	397
18		11		12		4		10		3	1	155	3	158
2		2						1		4		31	1	32
	1					6		6		6		35		35
2								2		1		7		7
1		1		1		1		6				30	5	35
23		15		13		11		25		14	1	258	9	267
73	4	12		11	2	39	6	124	5	202	1	1,109	132	1,241
				3						6		45		45
1				72				2		102		192	3	195
74	4	12		86	2	39	6	126	5	310	1	1,346	120	1,466
		430				800								
146	21	94	6	111	1	101	4	85	3	22	4	622	43	665
4	4	9		2	5	2						53	15	68
150	25	103	6	113	6	103	4	85	3	22	4	675	58	733
382	156	239	117	342	128	217	162	326	130	456	150	4,000	1,636	5,636

4. 平成10年度 健康診断書申込者数および発行枚数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
教 育 学 部	10 ()	48 ()	41 ()	51 ()	32 ()	31 ()
	35 ()	181 ()	113 ()	113 ()	51 ()	58 ()
地 域 科 学 部	()	()	()	()	()	2 (1)
	()	()	()	()	()	2 (1)
医 学 部	2 ()	1 ()	1 ()	()	1 ()	7 ()
	2 ()	1 ()	1 ()	()	1 ()	11 ()
工学部 (昼間)	64 ()	284 ()	68 ()	93 ()	190 ()	17 (2)
	211 ()	476 ()	127 ()	124 ()	204 ()	28 (3)
工学部 (夜間主)	2 ()	26 ()	11 ()	4 ()	7 ()	1 ()
	6 ()	51 ()	21 ()	9 ()	7 ()	1 ()
農 学 部	57 ()	78 ()	41 ()	30 ()	63 ()	7 ()
	253 ()	302 ()	120 ()	64 ()	82 ()	13 ()
合 計	135 ()	437 ()	162 ()	178 ()	293 ()	65 (3)
	507 ()	1,011 ()	382 ()	310 ()	345 ()	113 (4)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
医 療 技 術 短 大	()	()	()	68 ()	()	1 ()
	()	()	()	68 ()	()	1 ()

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
教 育 学 研 究 科	1 ()	3 ()	3 ()	4 ()	()	4 (3)
	3 ()	8 ()	3 ()	6 ()	()	5 (4)
医 学 研 究 科	1 ()	10 (3)	()	()	()	8 (8)
	1 ()	10 (3)	()	()	()	8 (8)
工 学 研 究 科	49 ()	124 (3)	23 (1)	15 ()	16 (2)	22 (13)
	88 ()	208 (4)	32 (1)	23 ()	19 (2)	30 (15)
農 学 研 究 科	2 ()	33 ()	19 ()	21 (4)	6 (2)	6 (4)
	18 ()	113 ()	47 ()	45 (4)	7 (2)	10 (7)
連 合 農 学 研 究 科	1 ()	()	(1)	()	()	8 (7)
	1 ()	()	3 (3)	()	()	8 (7)
連 合 獣 医 学 研 究 科	()	1 ()	()	1 ()	()	2 (2)
	()	1 ()	3 ()	1 ()	()	2 (2)
合 計	54 ()	171 (6)	47 (2)	41 (4)	22 (4)	50 (37)
	111 ()	340 (7)	88 (4)	75 (4)	26 (4)	63 (43)

研 究 生 等 (日 本 語 研 修 生)	()	4 (1)	4 ()	5 (4)	8 (3)	6 (4)
	()	7 (1)	7 ()	5 (4)	9 (3)	8 (5)

職 員	1 ()	3 ()	1 ()	()	()	2 ()
	1 ()	3 ()	1 ()	()	()	2 ()

合 計	190 ()	615 (7)	214 (2)	292 (8)	323 (7)	124 (44)
	619 ()	1,361 (8)	478 (4)	458 (8)	380 (7)	187 (52)

* 上段数字は申込者数、(数字)は外国人留学生再掲。

* 下段数字は申込枚数、(数字)は外国人留学生再掲。

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
29 ()	36 ()	3 ()	10 ()	7 ()	13 ()	311 ()
47 ()	43 ()	3 ()	14 ()	10 ()	38 ()	706 ()
2 (2)	()	()	()	1 ()	1 ()	6 (3)
2 (2)	()	()	()	1 ()	1 ()	6 (3)
()	1 ()	71 (1)	()	()	()	84 (1)
()	1 ()	71 (1)	()	()	()	88 (1)
9 ()	1 ()	4 ()	19 ()	2 ()	18 (1)	769 (3)
11 ()	1 ()	7 ()	20 ()	2 ()	20 (1)	1,231 (4)
1 ()	()	()	2 ()	1 ()	2 ()	57 ()
1 ()	()	()	3 ()	1 ()	6 ()	106 ()
8 ()	3 ()	4 ()	18 ()	4 ()	34 ()	347 ()
18 ()	5 ()	8 ()	25 ()	6 ()	38 ()	934 ()
49 (2)	41 ()	82 (1)	49 ()	15 ()	68 (1)	1,574 (7)
79 (2)	50 ()	89 (1)	62 ()	20 ()	103 (1)	3,071 (8)

医学部面接74人

農学部獣医面接28人

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
()	()	1 ()	()	()	79 ()	149 ()
()	()	1 ()	()	()	158 ()	228 ()

医短面接81人

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
1 ()	()	3 (2)	()	1 ()	3 ()	23 (5)
1 ()	()	3 (2)	()	1 ()	3 ()	33 (6)
()	()	10 (10)	()	11 (1)	()	40 (22)
()	()	11 (11)	()	11 (1)	()	41 (23)
2 ()	1 ()	13 (8)	8 (1)	5 (1)	5 ()	283 (28)
2 ()	1 ()	13 (8)	22 (1)	16 (1)	21 ()	475 (31)
2 ()	6 ()	6 (1)	6 ()	8 ()	9 ()	124 (11)
2 ()	13 ()	11 (1)	13 ()	25 ()	24 ()	328 (14)
()	()	3 (2)	2 ()	2 ()	2 ()	19 (9)
()	()	5 (2)	3 ()	2 ()	6 ()	28 (9)
1 ()	()	()	()	()	()	6 (2)
1 ()	()	()	()	()	()	8 (2)
6 ()	7 ()	35 (23)	16 (1)	27 (2)	19 ()	495 (77)
6 ()	14 ()	43 (24)	38 (1)	55 (2)	54 ()	913 (85)

2 (1)	3 ()	13 (13)	4 (4)	1 (1)	()	50 (31)
2 (1)	3 ()	14 (14)	4 (4)	1 (1)	()	60 (33)

()	1 ()	2 ()	1 ()	2 ()	8 ()	21 ()
()	2 ()	2 ()	1 ()	2 ()	9 ()	23 ()

57 (3)	52 ()	133 (37)	70 (5)	45 (3)	174 (1)	2,289 (115)
87 (3)	69 ()	149 (39)	105 (5)	78 (3)	324 (1)	4,295 (126)

II 研究・報告・調査

1. 定期健康診断におけるBMIと収縮期血圧の関係

岐阜大学保健管理センター

○ 古澤 洋子 後藤 紘司 浅田 修市 清水 章子
丹羽美穂子 本多 恭子 長瀬 江利

I. はじめに

最近、疾病の一次予防の大切さが強調されて、国をあげて生活習慣病対策に力をそそごうとしている⁽¹⁾。また、大学生は生活習慣の形成する時期であり生活習慣病の予備軍として疾病予防の観点からの健康教育・指導が必要だと考えられる。血圧と肥満は生活習慣病に関与する大きな因子であり、学生に実施している健康診断の中で異常所見の頻度が最も高いものである。

そこで、今回は定期健康診断のデータからBMI (Body Mass Index) と収縮期血圧に注目し検討したのでその結果を報告する。

II. 対象と方法

対象は、学部男子学生1年生から4年生までとし、1年生686人、2年生547人、3年生728人、4年生374人、計2,335名である。

方法は、身長・体重・血圧・体脂肪を下記に列記してある機械を用いて学生が測定し各自記入したデータを統計解析した。

- ・身長、体重 ; ヤガミ全自動身長・体重計
- ・体脂肪率 ; タニタ社製 TBF-102・202
- ・血圧 ; コーリン社製 BP-203RV II、ウエダ製作所 UDEX-1

III. 結果

BMIと体脂肪率は、 $r=0.86$ とかなり良い正の相関をしめしているので肥満度の指標をBMIとし、収縮期血圧との関係を検討した。

BMIと収縮期血圧の関係をみると(図1)、BMI 22を適正值としそれを基準に±10%を正常群、+10~20%の群、+20~30%の群、

+30~40%の群とすると収縮期血圧の平均値±標準偏差は順に 120.9 ± 12.7 , 125.9 ± 11.9 , 131.0 ± 12.5 , 134.4 ± 14.4 となり従来の報告⁽²⁾と同じようにBMIの増大とともに順に有意に大となった。

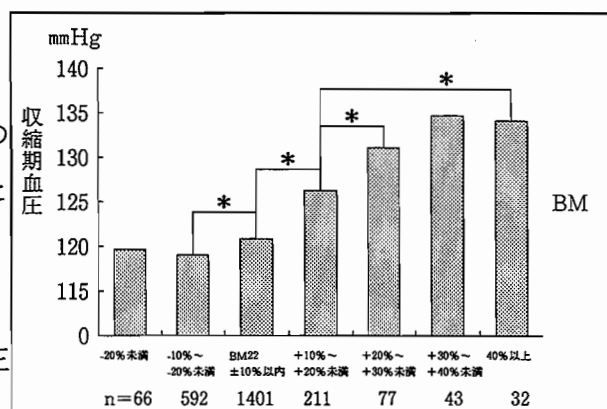


図1 BMIと収縮期血圧の関係

BMIの平均を学年毎にみると（図2）、1年生はやや高値だが2年3年4年と順に大となり、2年生に比べ3、4年生は有意に大となった。

一方、学年別収縮期血圧の平均±標準偏差は1年生が123.2±14.3、2年生120.4±13.4、3年生121.1±13.9、4年生121.8±12.2であった。1年生が高く、いったん2年生で下がり2年・3年・4年と順に高くなった。

ここで、学年別BMIと収縮期血圧の平均値で1年生を除いて2、3、4年生を比較すると（図3）、2年生に比し3年、4年の順に有意に大となり、収縮期血圧もBMIと同様に2年生から順次高くなり、2年生に比し4年生は有意に高値を示した。

すなわち、BMIの増加による収縮期血圧の上昇が示唆される。

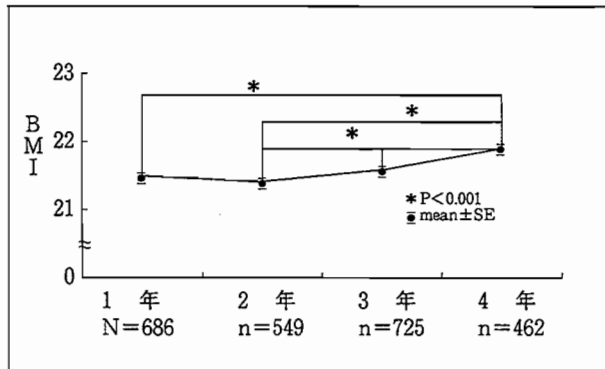


図2 男子学生 学年別BMIの平均値

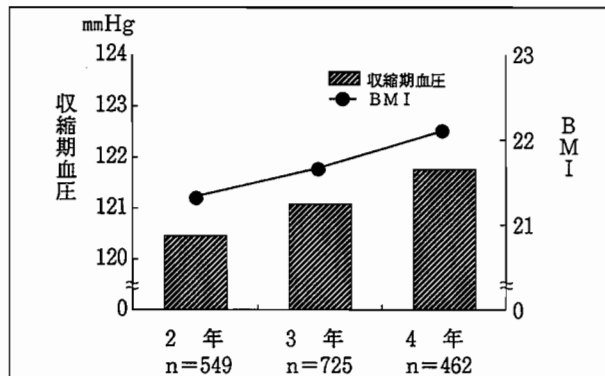


図3 男子学生 学年別収縮期血圧とBMIの平均

IV. 考 察

A. 「学生の健康白書」³⁾などの従来の報告に比べ、1年生の収縮期血圧が高い値となっている。例年本大学の1年生の収縮期血圧が高値を示しているか否かを検討するために、今年度2年生次と昨年度1年生次の同一母集団で収縮期血圧を比較してみた（図4）。男女ともに1年生次（1997年）に比し2年生次（1998年）になって

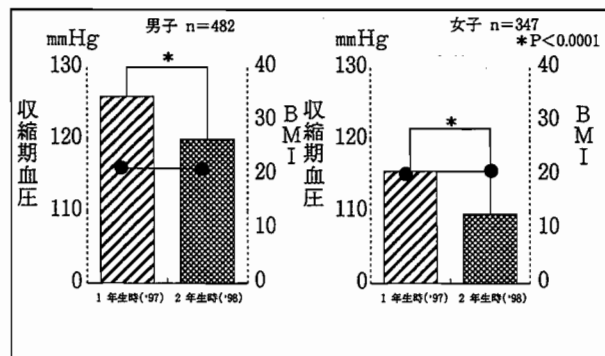


図4 1年生次('97)と2年生次('98)の収縮期血圧の比較

BMIはほとんど変化がないにもかかわらず、収縮期血圧の平均は男女ともに2年生時には6.5mmHg低下している。また、拡張期血圧も男女ともに2年生次は1年生次に比し3.5mmHg低下した。また、収縮期血圧140以上mmHgを対象に再検査を実施した結果では、他の学年に比し1年生は平均で24.6mmHgと健診時の血圧に対し再検査時の血圧の低下は最も大きかった。本大学において、例年1年生は入学直後に健診を実施しており、このため“新入学時高血圧”が考えられ健診時期

の検討が必要であると思われる。

- B. 血圧に影響する因子として、1) 家族歴
2) 塩分摂取量 3) 体重増加 4) 運動
5) アルコール 6) K、Ca、Mg摂取量
7) 心拍数 8) 加齢があげられている。
3) の体重増加については前述のごとく
である。

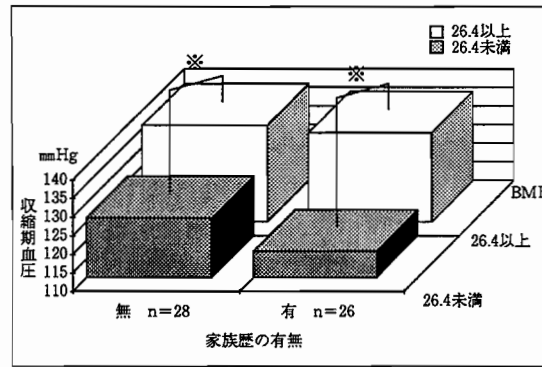


図5 BMIと家族歴が血圧に及ぼす影響

1) の高血圧の家族歴は血圧を論ずる時重要なものであるので⁽⁴⁾、家族歴の有無と収縮期血圧の関係を検討した(図5)。

本学では調査した対象が少なく、一部の偏ったピックアップデータのため今後の検討の余地はあるが、BMI 26.4以上の肥満学生26例とBMI 26.4未満の学生28例に

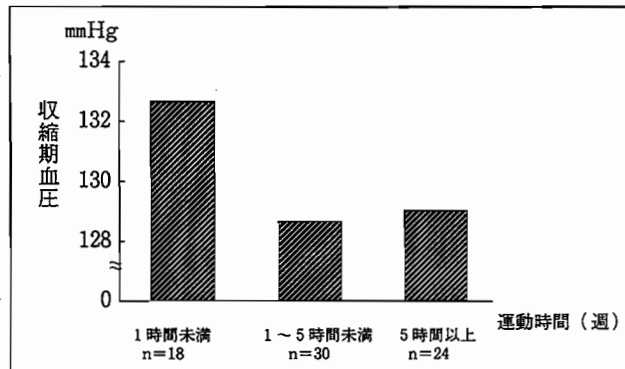


図6 運動時間と収縮期血圧の関係 (BMI 26.4以上 n=72)

において、高血圧の家族歴の有る群と無い群では収縮期血圧に有意差は認められず、

むしろ、本人の肥満の有る群では、家族歴の有無にかかわらず有意に収縮期血圧が高値だった。

4) の運動について、運動時間と収縮期血圧の関係を図6に表わした。肥満2次検診の対象者のみ72名について調べた結果である。通学の歩行・自転車等も運動時間として計上した。ほとんど運動をしない群では収縮期血圧の高い傾向にあったが、症例が少ないため有意差はみられなかった。

7) の心拍数と収縮期血圧との関係については本大学では相関関係はみられなかった。

8) の加齢による血圧の上昇については、種々の報告⁽⁵⁾がある。今回、BMIの正常群(BMI $22 \pm 10\%$ 以内)において、2, 3, 4年生それぞれの収縮期血圧について検討したが、血圧値の上昇はみられなかった。以上の結果から、今回の我々のデータにおいて2, 3, 4年生の順に収縮期血圧が上昇した。これは、BMIの関与が少なからずあることが示唆された。このことは、Chen Y.⁽⁶⁾の報告にもあるごとく若年者(10歳代・20歳代)においては、30~60歳代に比し、収縮期血圧がBMIの影響を最も受け易いことによると思われる。血圧値は、いわゆる正常範囲内であっても低値の方が脳血管障害、冠動脈疾患のリスクは少ないことが示されている⁽⁷⁾。また、JNC VI⁽⁸⁾でも至適血圧は120/80とされ、血圧の目標値がだんだん低値となっている今日、2年間で1.4mmHg程度の上昇は看過すべきではない。男子学生の体重と血圧のコントロールは、学生の健康管理上重要であると思われる。

V. 結語

1. BMIの増加とともに、収縮期血圧は有意に高値を示した。
2. 学年毎の収縮期血圧において1年生に“新入学時高血圧”が考えられたが、これは、本大学の健診時期が特殊な結果として考えられ、今後健康診断実施日等に配慮してゆきたい。
3. 大学生においては、体重の増加を介した収縮期血圧の上昇が既に始まっており、現在、正常域にある学生においても生活習慣予備軍としての管理・指導が必要であることが示唆された。

VI. 文献

- 1) 厚生省編：生活習慣病. 厚生白書 平成9年度版, PP50-79
 - 2) 中江康之, 大澤功ほか：2. 体格指数からみた血圧と高脂血症に関する集計結果. 学生の健康白書 1995-応用研究編-. pp18-23. 1998
 - 3) 三浦幸雄, 清水和政ほか：4. 大学生における血圧の現状-定期健康診断から見えるリスク因子. 学生の健康白書 1995 -応用研究編-. pp28-43
 - 4) Burke V, Gracey MP, et al. Family history as a predictor of blood pressure in a longitudinal study of Australian children: J Hypertens 1998;16:269-276
 - 5) Burt VL, Whelton P, et al. Prevalence of hypertension in the US adult population...Results from the third national health and nutrition examination survey, 1988-1991. Hypertension: 1995;25:305-313
 - 6) Chen Y, Rennie DC, et al. Age-related association between body mass index and blood pressure: The Humboldt Study. Inter J Obesity 1995;19:825-831
 - 7) MacMahon S, Peto R, et al. Blood pressure, stroke, and coronary heart disease. Part 1, Prolonged differences in blood pressure: prospective observational studies Corrected for the regression dilution bias. Lancet 1990;335:765-773.
 - 8) The sixth report of the Joint National Committee on prevention, detection, evaluation, and treatment of high blood pressure: Arch Int Med:1997;157:2413-2446
- <平成10年度 第36回 全国大学保健管理研究集会 (1998.11) 横浜にて発表>

2. 教官との相談・連携について（第2報）

岐阜大学保健管理センター 清水 章子
丹羽 美穂子
古澤 洋子
本多 恭子
長瀬 江利
岐阜大学教育学部 橘 良治

1. はじめに

近年、学内サポートシステムの重要性が強調されている。前回、筆者らは教官と相談・連携したケースを検討し、岐阜大学保健管理センター（以下、センター）と教官との連携が、学生の精神的な内側の課題と、大学生活の中の現実的な外側の課題を「つなぎ」ともに「抱える」働きをしたことを報告した。平成9年7月から平成10年12月までの1年半に当センターで精神保健相談を利用した学生73名（親のみ来所2名を含む）のうち、21名（28.8%）が、経過中、教官あるいは職員と何らかの連携をし、この他、センターに来所していない学生についての教官・事務官との連絡や相談が5件あった。これら26症例を、連携した教職員の立場から1群：教務厚生委員・学科長・クラス担任、2群：講座指導教官・就職担当教官、3群：その他の立場の教官、4群：職員（事務官）に分け、症例を検討し、各立場の教職員との連携の現状と学内連携を進める上での今後の課題について考察した。

2. センターで経験した教職員との相談・連携の現状（表1）

【1群：教務厚生委員・学科長・クラス担任と

の連携】

症例は10例であり、1年3名、2年2名、3年4名、単位不足のため研究室に配属されないまま休学した4年1名であった。10例ともセンターに本人が来所しているが、連携の働きかけが教官からあったものは3例に過ぎず、残り7例が保健管理センターから教官へ連絡をとっている。連携内容では、5例が学習意欲の喪失や病気療養のため休学を希望し、その手続き等で、センターから教務厚生委員へ橋渡しをしたという、かなり事務的な内容であった。一方、残り5例は、うつ状態に対する医療への橋渡しと学生への援助に関する助言、専門課目の学習に関する助言の依頼、対人恐怖のため合宿やグループ活動で緊張が高まる学生に対する援助の助言・協議など、連携が、学生の精神的な内側の課題と、生活面の外側の課題をつなぎ、共に抱える役割を果たし、内3例は、継続的な連携を行った。

【2群：講座指導教官・就職担当教官との連携】

症例は10例であり、学部4年4名、大学院修士課程4名、大学院博士課程1名、研究生1名であった。センターに本人が来所したものは7

例であり、母親のみ来所したものが1例、対象学生の直接の来所がないものが2例であった。連携の働きかけが教官からのものが8例あり、残り2例がセンターから連絡をとっている。連携内容では、7例が研究室での学生・院生の様子から、教官が、不登校、抑うつ状態、学業上の問題、奇妙な言動などの心身の問題に気づきセンターに援助を求め、センターも学生指導や援助について教官に助言したもので、1例はセンターで相談中の症例であったが、教官、本人、演者の3者面談を設定し、本人の抱えている問題を共有し、研究生活面での援助を依頼したもので、2例が無断欠席が続いている学生への接近や援助の方法について助言を求められたものである。

【3群のその他の立場の教官との連携】

症例は2例と少ない。1例は不本意入学と友人との軋轢から厭世的になっていた学生ボランティア情報を橋渡しするため、それに詳しい教官に照会したものであり、各分野の専門家である教官に所属や狭義の役割を越えて大学内の学生を導く人的資源として援助を期待した。また、もう1例は他の研究室の教官が一友人の立場で院生の相談を依頼したものであり、教官は、指導教官に相談し難しい問題を援助する第三者として関わっていた。

【4群：職員（事務官）との連携】

症例は4例で、学部1, 2, 4年各1名、大学院博士課程1名であった。センターに本人が来所したものは1名で、センターから留学生支援に

ついての情報を照会した。職員から働きかけた3例は、いずれも本人の来所はなく、職員が学生との対応や家族の電話での問題について連携を求めたものであり、連携回数もすべて1回のみであった。また、この他に、事故や事件が発生した場合にセンターの学生への関与の有無を問う照会が、若干あった。

3. 考 察

1群の対象である学部1年から3年までの学生は講義中心の生活が多く、物理的な居場所が定まらない。学部内やサークルで仲間を作れない学生は大学での「こころの居場所」が確保できず不全感を抱えやすいことが考えられる。講義以外には教官と接する機会が少ないため、学生が教官を身近に感じられず、教官も学生の問題に気づきにくく、連携を教官から求めることが少ないのではないかと考えられる。保健管理センターから休学という手続きのための連絡が多いことも、深刻化してから学生が相談に訪れることと無縁ではないと考えられる。学部1年から3年までの学生層への援助で、教職員と実りある連携をするためには、学生と教官との距離を近づけ、学生が身近に感じる教官の存在や、問題が早期に気づかれることが課題である。昨年末にキャンパスライフヘルパーという名称で、各学部の教務厚生委員を中心とした教職員が学生の相談窓口となることが決まったが、センターが、これらの組織や従来からある学生相談室員との有機的な連携をはかることが必要であり、また、各学部の助言教官やクラス担任の活動、共通教育などの授業形式や内容などにも、工夫

の余地があるように考えられる。

2群では、教官は学生と密な関わりがあり、学生の心身の変化にも気づきやすい。連携の働きかけが教官からに多い理由もそこにあると思われる。教官は連携の経過の中では、アスペルガー症候群が疑われた学生に論文を書くための指導法を工夫するなど、学生の抱える問題の理解を深め、環境面や指導に配慮することが多かった。しかし、一方、対象学生は、物理的な居場所や身近な指導教官を持ちながら、そこに馴染めなかつたり、対人関係の問題を抱え、教官に相談することができず、孤立し、行き場を失っているような場合もみられている。研究室の学生の健康を確保するためには、学業研究という役割をこなすばかりでなく、安心できる人間関係を持ち、それぞれの個性もある程度尊重されることが必要となる。研究室運営は講座の教官に任されており、各研究室による独自性を持ち、個々の学生により受け取り方にも差異があると考えられる。また、近年の大学院学生数の伸びは著しく、かつてよりも多様な背景や資質の大学院生が在籍していると言われており、大学が、学業研究のみならず、学生の抱える青年期の課題をこなせるような環境となれるよう、教官に働きかけることが大切であると考ええる。

3群は、狭義の役割や所属を離れた教官との連携であり、様々な情報を求めたい場合や、指導教官には相談しにくい問題を抱えている場合など、学生のサポートに広がりを与えるものと考えられるが、このような連携のためには、センターと教官との交流の機会と、相互の信頼関係が増すことが必要であると考ええる。

4群の職員との連携では、大半が、精神的な内側の課題と大学生活の外側の課題を「つなぎ」ともに「抱える」ような連携にはまだ至っていないが、窓口の職員は学生と直接接する機会が多く、学生の問題に気づきやすい立場にある。また、所属学部の教官との交流も深く、学生を教官に橋渡しすることも可能である。ここでの職員の役割は、問題に気づく、学生に声をかける、役立つ情報を学生に提供する、必要があれば教官や保健管理センターにつなげるなど多岐に渡り、学内のサポートシステムに貢献できる可能性が大きい。このような役割を日頃から意識してもらうこと、必要に応じて、センターが学生対応についてのコンサルテーションができるような交流を深めることなどが大切であると考ええる。

4. 結 語

教官と事務官との相談や連携のあった26症例を、連携した教職員の立場から1群：教務厚生委員・学科長・クラス担任など、2群：講座指導教官・就職担当教官、3群：その他の立場の教官、4群：職員（事務官）に分け、検討し、今後の課題として、1群では、教官と学生との距離が近づき、互いに身近に感じられる交流があること、2群では、教官が研究指導の他、健康や人格形成についての大学教育の役割を意識し、指導や環境に配慮するようセンターから働きかけること、3群では、所属や役割を越えた連携をすすめるために教官とセンターとの交流や相互信頼を深めること、4群では、職員には、問題に気づく、学生に声をかける、役立つ情報

質 疑 応 答

を学生に提供する、必要があれば教官や保健管理センターにつなげるなどの役割があることを日頃から意識してもらうことが大切であると考ええる。

【参考文献】

■青木省三 思春期ころのいる場所

岩波書店 1996東京

■学生のメンタルヘルスに関する特別委員会編
大学におけるメンタルヘルス 国立大学保健
管理施設協議会1992

■小林隆児 アスペルガー症候群

発達障害研究 17(2) 98-103 1995

(質問)

①連携の際、プライバシーについて留意しているのはどんなことか。

(回答)

センターから教官へ連携を働きかける際には、当事者である学生と相談して、必要性和希望を確認している。1例のみ危機状況の症例では例外あった。

②キャンパスライフヘルパーという制度について。

(回答)

セクハラ問題をどう対処するかという教務厚生委員会の話し合いの中で発足された制度で、各学部数人の教官からなる、よろず相談窓口である。

表 1 教官・職員と相談・連携した症例 (H.9年7月～H10年12月)

1群：教務厚生委員・学科長・クラス担任との連携

症例	所 属	学年	来所	備考	現 況	初回の連携の 働きかけ	関与教 職員数	連携 回数	学生の抱える問題	連 携 内 容
症例 1	教育学	学部生	1	本人	良好	学科長	2	5	対人関係・うつ状態	医学的援助への橋渡し
症例 2	教育学	学部生	1	本人	良好	センター	1	1	摂食障害	専門科目学習の助言依頼
症例 3	農 学	学部生	1	本人	休学	センター	2	5	摂食障害	休学手続きの橋渡し
症例 4	教育学	学部生	2	本人	良好	教務厚生委員	1	3	不登校	相談場所の提供と助言
症例 5	工 学	学部生	2	本人	休学・継続	センター	1	5	強迫神経症	休学手続きの橋渡し
症例 6	農 学	学部生	3	本人	退学	センター	1	1	不本意入学と学習意欲喪失	休学手続きの橋渡し
症例 7	農 学	学部生	3	本人	良好・継続	教務厚生委員	1	3	アパシーで2年半不登校	学生援助に関する助言
症例 8	農 学	学部生	3	本人	編入生 長欠・継続	センター	2	8	対人関係・うつ状態	学生援助に関する助言
症例 9	農 学	学部生	3	本人	良好	センター	1	2	摂食障害	休学手続きの橋渡し
症例10	工 学	学部生	4	本人	休学	センター	1	4	精神疾患で休学中	学生援助に関する助言

2群：講座指導教官・就職担当教官との連携

症例	所 属	学年	来所	備考	現 況	初回の連携の働きかけ	関与教職員数	連携回数	学生の抱える問題	連 携 内 容
症例11	工 学 学部生	4	無し	編入生	卒業・就職	講座指導教官	1	6	連絡なく長期欠席	学生援助に関する助言
症例12	工 学 学部生	4	本人		卒業・就職	就職担当教官ら	3	10	奇妙な言動（精神疾患）	医学的援助への橋渡しと助言
症例13	工 学 学部生	4	本人		他大学在籍	センター	1	2	研究室への不満・適応障害	学生指導に関する助言
症例14	工 学 学部生	4	家族		休学	講座指導教官	1	3	研究指導教官との対人関係	学生指導に関する助言
症例15	工 学 院(修)	1	本人		改善・継続	講座指導教官	1	4	論文が書けない・対人関係	学生指導に関する助言
症例16	農 学 院(修)	1	本人		良好・継続	センター	1	1	適応障害	学生指導に関する助言
症例17	工 学 院(修)	2	本人		良好・継続	講座指導教官	1	5	うつ状態	学生援助に関する助言
症例18	工 学 院(修)	2	本人		良好・継続	講座指導教官	3	5	うつ状態・対人関係	学生指導に関する助言
症例19	農 学 院(博)	2	本人	留学生	良好	講座指導教官	1	2	適応障害	学生指導に関する助言
症例20	工 学 研究生		無し		不明	講座指導教官	1	1	連絡なく研究室を長期欠席	学生援助に関する助言

3群：その他の立場の教官との連携

症例21	農 学 学部生	3	本人		良好・継続	センター	2	2	不本意入学・意欲喪失	ボランティア情報の橋渡し
症例12	農 学 院(博)	2	本人		休学	他研究室教官	1	1	対人関係	学生相談の依頼の連絡

4群：職員（事務官）との連携

症例23	地 域 学部生	1	無し	留学生	良好	学部窓口職員	1	1	対人関係の問題・意欲喪失	学生援助に関する助言
症例24	工 学 学部生	2	無し		不明	学生部	1	1	呼び出しに被害的な反応	学生対応に関する助言
症例25	工 学 学部生	4	無し	編入生	良好	学生部	2	1	自殺した友人で動揺	学生対応に関する助言
症例26	医 学 院(博)	2	本人	留学生	不変	センター	1	1	研究指導教官との対人関係	留学生支援の情報の照会

<平成10年度 第20回 全国大学メンタルヘルス研究会（1999.1）高松にて発表>

3. 平成10年度メンタルヘルス研究協議会

期 日 平成10年9月17日(木)・18日(金)
会 場 虎ノ門パストラル(東京農林年金会館)
主 催 国立大学等保健管理施設協議会
弘 前 大 学
文 部 省
出 席 学生部厚生課長 塩川 銀三
教育学部教育心理学助教授 橘 良治

1. 開 会 式

開会の辞 メンタルヘルス研究協議会運営委員会委員長
国立大学等保健管理施設協議会
学生のメンタルヘルスに関する特別委員会委員長
弘前大学保健管理センター所長 佐々木 大輔
挨拶 国立大学等保健管理施設協議会会長
東京大学保健管理センター所長
東京大学医学部教授 豊岡 照彦
文部省高等教育局長 佐々木 正峰
弘前大学長 吉田 豊

経過説明 メンタルヘルス研究協議会運営委員会顧問
国立大学等保健管理施設協議会
学生のメンタルヘルスに関する特別委員会委員長
茨城大学保健管理センター所長 中島 潤子

(挨拶) ・平成7月の3月、オカルト集団オーム真理教団による地下鉄サリン事件が本協議会発足のきっかけ。

今年度のテーマ:『人が育つキャンパスの充実に向けて』

人を育てる努力が大切。自分達の意識改革が必要。

・10月末には大学審議会の答申が!その中で、学部教育の再構築について!

多様な学生が入学(約50%の進学率)している状況

教養教育の重要性!

大学が学生を如何に付加価値をつけて卒業させるか!

環境整備、学生相談体制の整備充実が必要!

・大学院生も視野に入れた対応が必要!

(経過報告)

・平成8年6月文部省から要請 3人のメンタルヘルス特別委員で会議の企画と運営を検討 ①カウンセラーは増やさない

②学生に接する教職員の層を厚くして欲しい

・昭和40年代後半から、大学生の留年問題、とりわけスチュウデント・アパシーとよばれる不登校の病理、対人関係をもてない学生など、多くの心の健康の問題

・8年度:基調講演「これからの大学—学生の志と学問について—」

(大阪大学長 金森順二郎 氏)

・9年度:基調講演「今日の大学と学生—学生は大学に何を求めているか—」

(名古屋大学副学長 森 政人 氏)

・10年度開催の意義—今後に向けて—

2. 分科会

分科会共通テーマ「人が育つキャンパスの充実に向けて」

大学部会（4部会）

- a. 入学時のサポートシステム
- b. 就学上の問題
- c. 学生の気質と問題
- d. サポートシステムや制度

a. 入学時のサポートシステム（司会 名古屋大学 高橋俊彦 氏）

出席者：橋 良治

主な発言内容

形骸化したクラス担任制 学生相談連絡協議会（学生相談のネットワーク作り）

各専攻ごとの新入生研修（各専攻のアイデンティティの確立）

入学時の全員面接

全教官が行うフレッシュマンセミナー

心理テストの全員フィードバック

2年ごとの（6年間）チューター変更制度

学生が教官を選ぶ指導教官制度

時差出勤による事務サービス、昼休みは当番制で

討 議

新入生サポートシステムをサポートする上位システムの確立が必要

連絡会議等の相談チャンネル作り

学生の面倒をみることに對する評価システムが必要

相談に来ない相談の必要な学生をどうするか

事務官と学生との関係

b. 就学上の問題（司会 静岡大学保健管理センター助教授 石川憲彦 氏）

形が定まっていない問題が多い。

どこまでやるのか？（個人として、全体のシステムとして…）

「グレーゾーンの学生」の見極めが大事！

ゼミで学生と一緒に酒を飲みに行くこと等も必要。

c. 学生の気質と問題（司会 福岡教育大学保健管理センター教授 碓 浩一 氏）

幼児から高校まで競争の時代

進学率（約50%）の上昇による大学の大衆化、偏差値教育などによって無気力、社会性に未熟（常識、マナーの欠如…）の学生が増加。

「教養」 大学として教養人を育てるためのシステム

個人的興味から教えるのではなく、自己解決ができるような教養教育を！

大学の学長、学生部長等のリーダーシップで方向性を示すことが重要！

大学が引き受ける問題と社会に返す問題との仕分けが重要！

d. サポートシステムや制度（司会 東京工業大学保健管理センター助教授 齋藤 憲司 氏）

出席者：塩川 銀三

学生と学生相談機関（保健管理センター、学生相談所等）

学生と教官

学生と事務官（学部学務係、学生部等）

学生と家族

保健管理センターと学外医療機関

教官・事務官・保健管理センター等の相互のネットワーク、コミュニケーションづくりが重要

◎学生と学生相談機関（保健管理センター、学生相談所等）とのつなぎ

- ・入学時のオリエンテーション・学生各種セミナーやイベントの実施／・学生向け利用案内／
- ・インターネットを使った案内、電話による相談受付等（人と人との体面が苦手の場合）

◎学生と教官とのつなぎ

- ・指導教官制度／・助言教官制度／・クラス担任制度／
- ・授業を通じた働きかけ（いずれも学生と教官との信頼関係が大事）

◎学生と事務官（学部学務係、学生部等）とのつなぎ

- ・忙しい時でも一声かけてやることが大事

◎学生どうしのつなぎ

- ・新入生合宿研修／・在来生合宿研修

◎教官・事務官・保健管理センター等の相互のつなぎ（全学体制の構築）

- ・懇談会、連絡会議などの全学的会議の実施／
- ・学生サポートガイドブックの作成（全学職員の注意喚起）

（例）東京工大「教職員のための学生サポートガイドブック」

大学におけるメンタルヘルス・東工大版を作成（平成9年12月）

主な発言内容

- ・不本意入学が多く、留年学生が多い。（K大学）
- ・T大学セクハラ調査では、約1／4が受けたことがあると回答。
学生間におけるストーカー問題について、保健管理センターがどう関わるか？
- ・大学に来ない学生への連絡、呼び出しに苦慮している。（T大学）
- ・メイリングリスト作成のため、携帯電話・電話番号等を届けさせることは問題か？（T大学）
- ・教務委員会、学生委員会でメンタルヘルスの問題について討議されていない。（複数大学）
全学的・調整的な会議で終わっている。
- ・保健管理センター教官が学生委員会等でメンタルヘルス等についての発言の機会が必要。
- ・カウンセリング懇談会（助言教官等を含む。）年2回開催
インフォーマルな懇談会（本音がしゃべれる場）が有効（T大学）
- ・メンタルケアとプライバシー
学業成績の取得状況等をどこまで知らせるか。（全体）
- ・指導教官等にメンタルヘルス等をどう指導するか！（全体）
- ・時代が変わっている。
教官の研究に対する評価に比べ、教育に対する評価が低い。（全体）
- ・学内のネットワーク・コミュニケーションづくりが重要（全体）

4. 喫煙の防止と喫煙者に対する禁煙・分煙活動について

アンケートの実施（喫煙に関する実態調査）について

1. 目的：喫煙の状況、健康に対する意識の実態とその問題点を明確にするとともに、その問題点を解決する具体的な方法等について、当面の計画、及び、長期的な計画を策定するために行う。
2. 調査日：1998年4月～6月
3. 対象：①学生全員 ②職員全員（非常勤等を含む）
4. 方法：①学生：定期健康診断受診者（5369人）に事前又は当日アンケートを配布、健診終了時に提出してもらった。
 ②職員：職員係より職員全員（1898人）にアンケートを配布してもらい、各部署単位で保健管理センターに返送してもらった。
5. アンケートの結果＜別紙 参照＞

(1) 喫煙率

区分	有効回答数（回答率）	男女の内訳	喫煙率
学生	3,629人（67.6%）	男 2,105人（58.0%） 女 1,524人（42.0%）	学 部 男 21.9% 女 3.1% 研究科 男 26.1% 女 4.7%
職員	1,052人（55.4%）	男 589人（56.0%） 女 463人（44.0%）	男 26.1% 女 7.6%

*1995年学生の厚生白書では、男20.0%、女1.8%の喫煙率であった。

*1998年国民衛生の動向では、男56.1%、女14.5%の喫煙率であった。

*職員の回答率は、把握できない非常勤職員もいるため、正確ではない。

(2) 喫煙者について

区分	喫煙開始年齢	平均1日本数 平均喫煙年数	喫煙係数 (1日の喫煙本数×喫煙年数) *600以上は危険	禁煙教育を受けたこと がある人の割合
学部生	平均 18.1 歳	12.2本 3.2年間	39	19.1%
院 生	平均 19.2 歳	15.7本 6.2年間	97	15.4%
職 員	平均 20.4 歳	19.4本 21.2年間	411	4.2%

・たばこを吸う理由は、「習慣」、「気分転換」の順に多かったが、学生の53.7%、職員の59.0%は「禁煙したい」と答えている。

(3) たばこをやめた人について

区分	喫煙開始年齢	喫煙をやめた年齢	平均1日本数 平均喫煙年数	喫煙係数 (1日の喫煙本数×喫煙年数) *600以上は危険
学部生	平均 17.7 歳	平均 19.5 歳	7.9本 2.2年間	17
院 生	平均 19.4 歳	平均 22.4 歳	9.6本 3.9年間	37
職 員	平均 20.1 歳	平均 33.6 歳	18.9本 13.6年間	257

・たばこをやめた理由「病気をしたため」が最多で、学部生36.6%、院生35.4%、職員43.4%であった。

(4) 非喫煙者の喫煙しない理由

・たばこを吸わない理由は、「からだによくないから」、「なんとなく」、の順に多く、学生・院生は3番目に「他人に迷惑をかけるから」、職員は「たばこを吸うきっかけがなかった」であつた。

(5) 全員に対する共通質問で特徴的なこと

・「あなたの側でたばこを吸われることについてどう感じるか？」という質問では、吸わない人では、「病気になるのが心配」「目やのどが痛い」と喫煙に否定的な回答が多かつた。

・「たばこの害は何だと思えますか？」という質問では、「周りの人に影響する」、「発癌性がある」という回答が、喫煙者、やめた人、吸わない人とも多かつたが、喫煙者では、「発癌性がある」と自分の体に対する影響を挙げた回答が比較的多かつたのに対し、やめた人や吸わない人では、喫煙者に比べて「周囲に対する影響」をより高く意識している傾向がうかがえる。

・「大学で、実施可能な対策があるとすれば何だと思えますか？」という質問では、喫煙者、やめた人、吸わない人とも「分煙（喫煙コーナーの設置）」を挙げた回答が最も多く、喫煙者の非喫煙者に配慮する意識が高く現われている。

6. まとめ

- (1) アンケートの結果、岐阜大学における学部生の喫煙率は、全国平均（1995年学生の厚生白書）より高率であつた。また、学部生では医療短大、医学部、教育学部の喫煙率が高率であつた。
- (2) 学年がすすむにつれ、喫煙率が高くなっていることから、新入生に対する禁煙教育が喫煙開始の防止につながると考える。
- (3) 喫煙者の半数以上は、「禁煙したい」と答えているが、「禁煙教育を受けたことがある」と答えた人は少なく、個別又は集団による禁煙教育が必要である。
- (4) 大学での実施可能な対策は、学生・職員とも「分煙（喫煙コーナーの設置）」と多くが答えている。また、「分煙の実際について」では「実施されていない」と答えた学生は全体で18.7%、職員は全体で66.2%であつた。このことから、学生より職員の方が分煙されていないと感じている人が多いため、学生のみならず職員にも喫煙コーナーの設置など、分煙推進の必要性がある。

喫煙に関するアンケートの結果（学生）

所属別喫煙率

学 生（男 性）

区 分	吸わない		やめた		吸 う		男合計
	男	%	男	%	男	%	
教 育 学 部	139	69.5 %	14	7.0 %	47	23.5 %	200
地 域 科 学 部	27	87.1 %		%	4	12.9 %	31
医 学 部	87	67.4 %	7	5.4 %	35	27.1 %	129
工 学 部	769	74.4 %	45	4.4 %	219	21.2 %	1,033
農 学 部	162	71.7 %	17	7.5 %	47	20.8 %	226
医療技術短期大学部	3	42.9 %		%	4	57.1 %	7
小 計	1,187	73.0 %	83	5.1 %	356	21.9 %	1,626
教育学研究科	30	66.7 %	2	4.4 %	13	28.9 %	45
医学研究科	18	60.0 %	2	6.7 %	10	33.3 %	30
工学研究科	201	70.5 %	19	6.7 %	65	22.8 %	285
農学研究科	45	61.6 %	3	4.1 %	25	34.2 %	73
連合農学研究科	23	67.6 %	2	5.9 %	9	26.5 %	34
連合獣医学研究科	8	66.7 %	1	8.3 %	3	25.0 %	12
小 計	325	67.8 %	29	6.1 %	125	26.1 %	479
合 計	1,512	71.8 %	112	5.3 %	481	22.9 %	2,105

学 生（女 性）

区 分	吸わない		やめた		吸 う		男合計
	女	%	女	%	女	%	
教 育 学 部	558	94.9 %	12	2.0 %	18	3.1 %	588
地 域 科 学 部	50	98.0 %		%	1	2.0 %	51
医 学 部	70	98.6 %	1	1.4 %		%	71
工 学 部	142	93.4 %	5	3.3 %	5	3.3 %	152
農 学 部	347	96.4 %	3	0.8 %	10	2.8 %	360
医療技術短期大学部	163	93.1 %	2	1.1 %	10	5.7 %	175
小 計	1,330	95.2 %	23	1.6 %	44	3.1 %	1,397
教育学研究科	40	87.0 %	3	6.5 %	3	6.5 %	46
医学研究科	11	100.0 %		%		0.0 %	11
工学研究科	11	84.6 %		%	2	15.4 %	13
農学研究科	44	91.7 %	3	6.3 %	1	2.1 %	48
連合農学研究科	6	85.7 %	1	14.3 %		%	7
連合獣医学研究科	2	100.0 %		%		%	2
小 計	114	89.8 %	7	5.5 %	6	4.7 %	127
合 計	1,444	94.8 %	30	2.0 %	50	3.3 %	1,524

男女合計

2,956

142

531

3,629

学年別喫煙率

学 生（男 性）

区 分	回答者数	喫煙者数	
	男	男	%
学部 1年	447	42	9.4 %
学部 2年	212	35	16.5 %
学部 3年	353	81	22.9 %
学部 4年	520	166	31.9 %
学部 5年	33	10	30.3 %
学部 6年	54	18	33.3 %
研究生等	6	3	50.0 %
無記名	1	1	100.0 %
小 計	1,626	356	21.9 %
研究科 1年	182	48	26.4 %
研究科 2年	229	59	25.8 %
研究科 3年	25	8	32.0 %
研究科 4年	9	4	44.4 %
研究科 5年	13		%
研究生等	6		%
無記名	15	6	40.0 %
小 計	479	125	26.1 %
合 計	2,105	481	22.9 %

学 生（女 性）

区 分	回答者数	喫煙者数	
	女	女	%
学部 1年	341	4	1.2 %
学部 2年	324	8	2.5 %
学部 3年	330	15	4.5 %
学部 4年	335	16	4.8 %
学部 5年	25		%
学部 6年	29	1	3.4 %
研究生等	4		%
無記名	9		%
小 計	1,397	44	3.1 %
研究科 1年	68	1	1.5 %
研究科 2年	47	5	10.6 %
研究科 3年	2		%
研究科 4年	1		%
研究科 5年			%
研究生等	4		%
無記名	5		%
小 計	127	6	4.7 %
合 計	1,524	50	3.3 %

たばこのアンケート結果「学部生」

平均年齢 20.1±2.0歳

「吸う人」

- 1) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていますか?
 (18.1±2) 才から 1日 (12.2±8) 本 × (3.2±2.3) 年間

2) たばこを吸う理由は何ですか? n=511		
ア	気分転換になる	151 29.5 %
イ	気分が落ち着く	148 29.0 %
ウ	かっこいいから	15 2.9 %
エ	習慣(癖になっている)	177 34.6 %
オ	その他	20 3.9 %

3) 禁煙したいと思いますか? n=376		
ア	思う	202 53.7 %
イ	思わない	174 46.3 %

4) 今までに禁煙教育を受けたことがありますか n=392		
ア	ある	75 19.1 %
イ	ない	317 80.9 %

「やめた人」

- 5) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていましたか?
 (17.7±2.4) 才から 1日 (19.5±2.4) 才まで
 1日 (7.9±6.2) 本 × (2.2±1.7) 年間

6) やめた理由は何ですか? n=134		
ア	からだによくないから	9 6.7 %
イ	病気をしたため	49 36.6 %
ウ	他人に迷惑をかけるから	25 18.7 %
エ	不経済だから	31 23.1 %
オ	その他	20 14.9 %

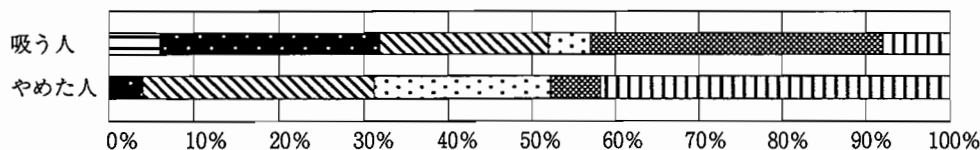
「吸わない人」

7) 吸わない理由は何ですか? n=3635		
ア	周囲がうるさいから	42 1.2 %
イ	家族の者が吸っていたから	299 8.2 %
ウ	友達が吸っていたから	35 1.0 %
エ	たばこを吸うきっかけがなかった	234 6.4 %
オ	なんとなく	571 15.7 %
カ	からだによくないから	1,541 42.4 %
キ	病気をしたため	25 0.7 %
ク	他人に迷惑をかけるから	484 13.3 %
ケ	その他	404 11.1 %

「共通質問」

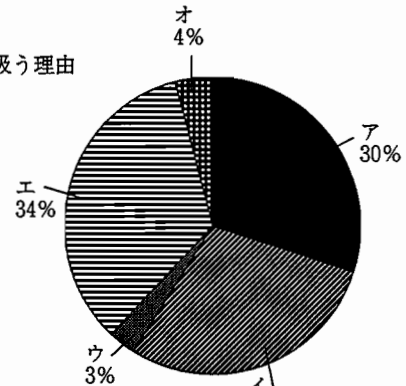
8) たばこを吸い始めた理由は何ですか?	吸う人 n=484	やめた人 n=115
ア	たばこの宣伝を見て	1 0.2 %
イ	家族の者が吸っていたから	27 5.6 %
ウ	友達が吸っていたから	133 27.5 %
エ	好奇心	97 20.0 %
オ	つまらなかったから	19 3.9 %
カ	なんとなく	169 34.9 %
キ	その他	38 7.9 %

8) たばこを吸い始めた理由は何ですか?

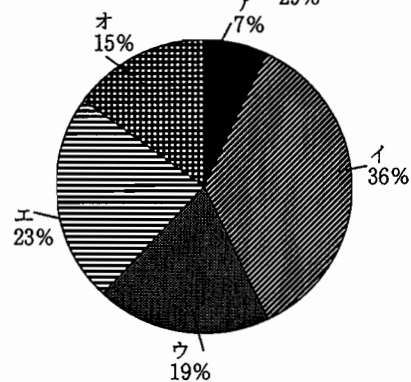


9) 今後、たばこを吸いたいと思いますか?	やめた人	吸わない人
ア	75 19.1 %	
イ	317 80.9 %	

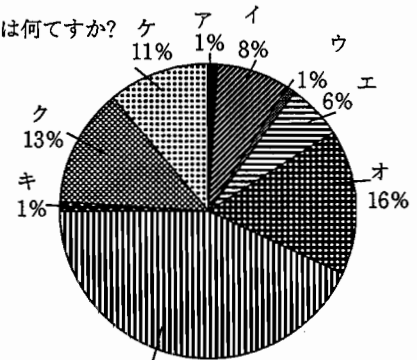
2) たばこを吸う理由



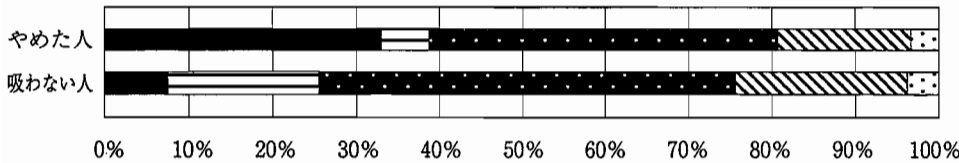
6) たばこをやめた理由



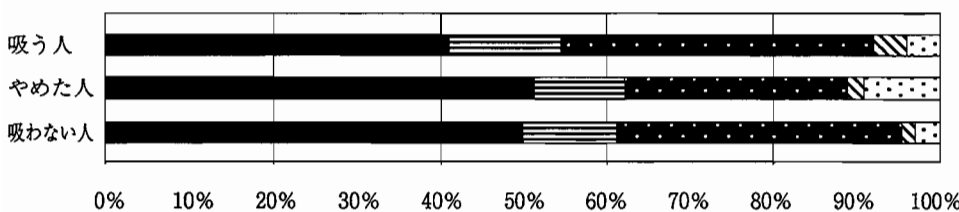
7) 吸わない理由は何ですか?



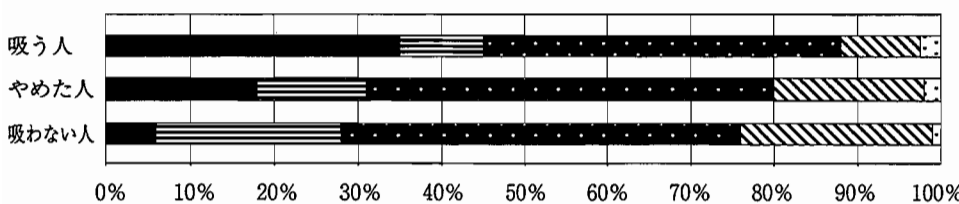
10) あなたの側でたばこを吸われることについて、どう感じていますか?	やめたい人 n=112		吸わない人 n=3539	
ア 何とも感じない	37	33.0%	263	7.4%
イ 目やのどが痛い	6	5.4%	593	16.8%
ウ においが気になる	47	42.0%	1,798	50.8%
エ 病気になるのが心配	17	15.2%	703	19.9%
オ その他	5	4.5%	182	5.1%



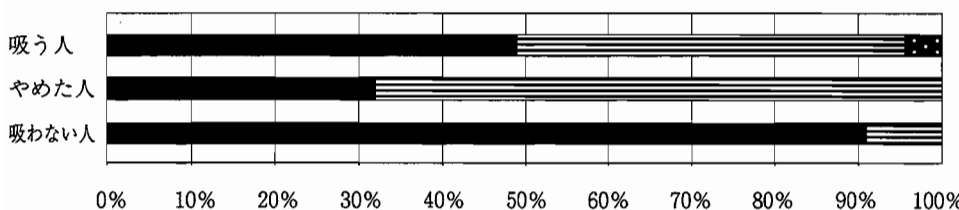
11) たばこの害は何だと思えますか?	吸う人 n=595		やめた人 n=147		吸わない人 n=3938	
ア 周りの人に影響する	249	41.8%	76	51.7%	2,002	50.8%
イ 心臓病に影響する	71	11.9%	14	9.5%	373	9.5%
ウ 発癌性がある	241	40.5%	44	29.9%	1,409	35.8%
エ 害はない	16	2.7%	2	1.4%	31	0.8%
オ その他	18	3.0%	11	7.5%	123	3.1%



12) 大学で、実施可能な対策があるとすれば何だと思えますか?	吸う人 n=414		やめた人 n=116		吸わない人 n=3041	
ア ない	146	35.3%	21	18.1%	200	6.6%
イ 全館禁煙	44	10.6%	15	12.9%	647	21.3%
ウ 分煙 (喫煙コーナーの設置)	174	42.0%	57	49.1%	1,459	48.0%
エ 事務室では一切禁煙にする	38	9.2%	21	18.1%	699	23.0%
オ その他	12	2.9%	2	1.7%	36	1.2%



13) 分煙の実際について	吸う人 n=373		やめた人 n=99		吸わない人 n=1498	
ア 実施されている	184	49.3%	32	32.3%	1,367	91.3%
イ 実施されていない	170	45.6%	67	67.7%	131	8.7%
ウ その他・希望など	19	5.1%		%		%



たばこのアンケート結果「研究科」

「吸う人」

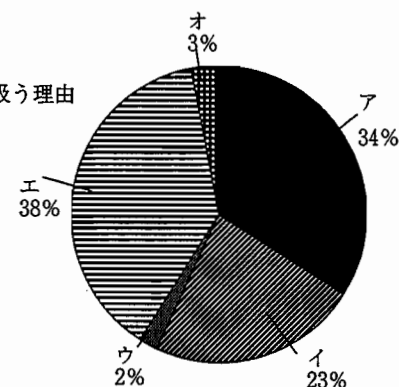
平均年齢 25.1±4.8歳

1) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていますか?

(19.2±2.4) 才から 1日 (15.7±7.6) 本 × (6.2±4.3) 年間

2) たばこを吸う理由は何ですか? n=172			
ア	気分転換になる	59	34.3 %
イ	気分が落ち着く	39	22.7 %
ウ	カッコいいから	3	1.7 %
エ	習慣(癖になっている)	66	38.4 %
オ	その他	5	2.9 %

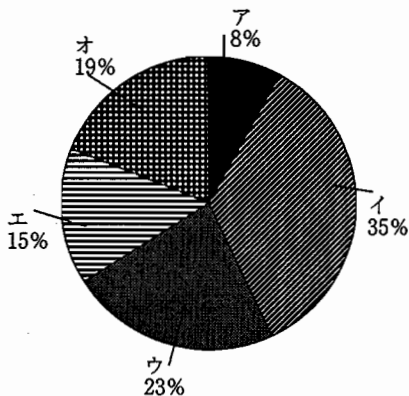
2) たばこを吸う理由



3) 禁煙したいと思いますか? n=118			
ア	思う	70	59.3 %
イ	思わない	48	40.7 %

6) たばこをやめた理由

4) 今までに禁煙教育を受けたことがありますか n=130			
ア	ある	20	15.4 %
イ	ない	110	84.6 %



「やめた人」

5) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていましたか?

(19.4±2.4) 才から 1日 (22.9±4.4) 才まで

1日 (9.6±7.1) 本 × (3.9±3.9) 年間

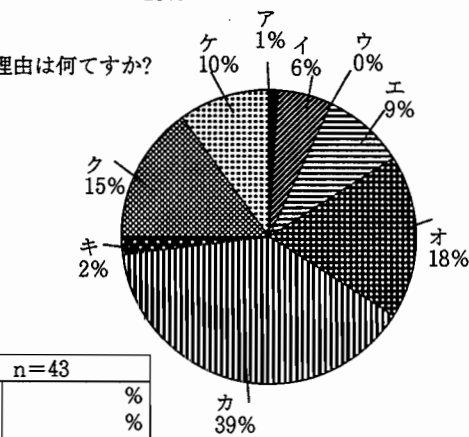
6) やめた理由は何ですか? n=48			
ア	からだによくないから	4	8.3 %
イ	病気をしたため	17	35.4 %
ウ	他人に迷惑をかけるから	11	22.9 %
エ	不経済だから	7	14.6 %
オ	その他	9	18.8 %

「吸わない人」

7) 吸わない理由は何ですか? n=617

ア	周囲がうるさいから	4	0.6 %
イ	家族の者が吸っていたから	39	6.3 %
ウ	友達が吸っていたから	2	0.3 %
エ	たばこを吸うきっかけがなかった	56	9.1 %
オ	なんとなく	112	18.2 %
カ	からだによくないから	241	39.1 %
キ	病気をしたため	10	1.6 %
ク	他人に迷惑をかけるから	91	14.7 %
ケ	その他	62	10.0 %

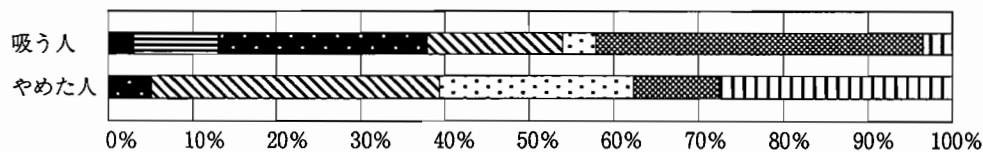
7) 吸わない理由は何ですか?



「共通質問」

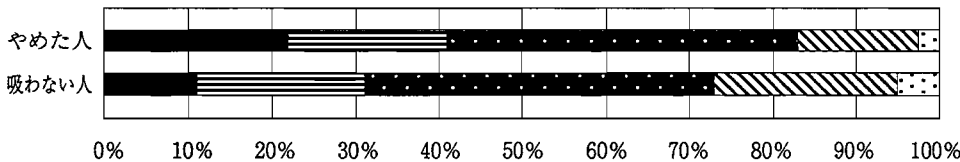
8) たばこを吸い始めた理由は何ですか?	吸う人	n=152	やめた人	n=43
ア	たばこの宣伝を見て	4	2.6 %	%
イ	家族の者が吸っていたから	13	8.6 %	%
ウ	友達が吸っていたから	41	27.0 %	2 4.7 %
エ	好奇心	25	16.4 %	15 34.9 %
オ	つまらなかったから	6	3.9 %	10 23.3 %
カ	なんとなく	57	37.5 %	4 9.3 %
キ	その他	6	3.9 %	12 27.9 %

8) たばこを吸い始めた理由は何ですか?

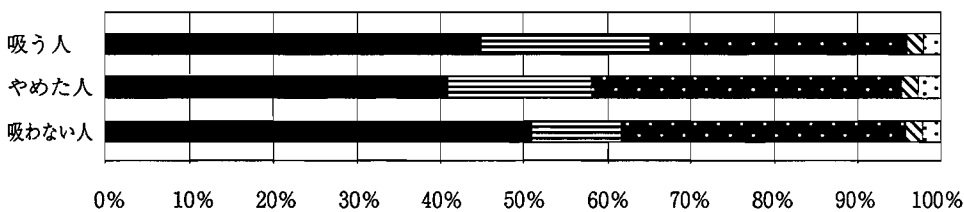


9) 今後、たばこを吸いたいと思いますか?	やめた人	吸わない人
ア	3	6 %
イ	33	4309 %

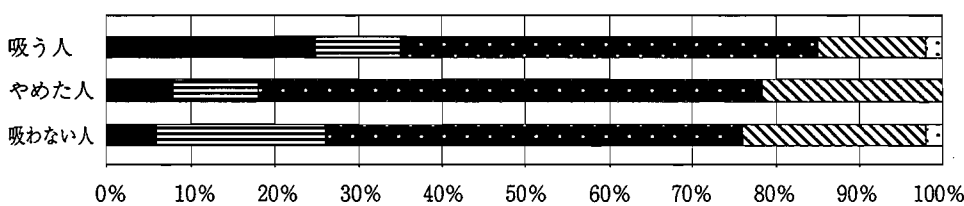
10) あなたの側でたばこを吸われることについて、どう感じていますか?	やめたい人 n=48		吸わない人 n=636	
ア 何とも感じない	11	22.9%	67	10.5%
イ 目やのどが痛い	9	18.8%	127	20.0%
ウ においが気になる	20	41.7%	275	43.2%
エ 病気になるのが心配	7	14.6%	132	20.8%
オ その他	1	2.1%	35	5.5%



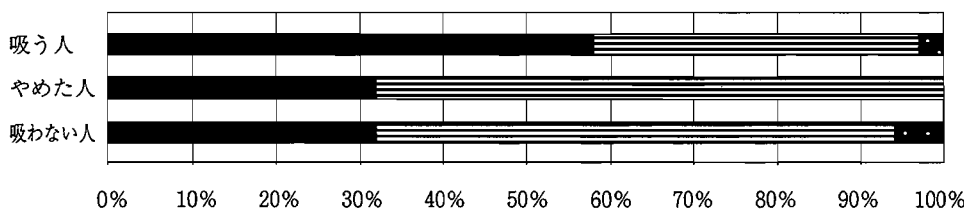
11) たばこの害は何だと思えますか?	吸う人 n=216		やめた人 n=61		吸わない人 n=682	
ア 周りの人に影響する	95	44.0%	25	41.0%	350	51.3%
イ 心臓病に影響する	28	13.0%	9	14.8%	76	11.1%
ウ 発癌性がある	84	38.9%	24	39.3%	226	33.1%
エ 害はない	5	2.3%	1	1.6%	10	1.5%
オ その他	4	1.9%	2	3.3%	20	2.9%



12) 大学で、実施可能な対策があるとすれば何だと思えますか?	吸う人 n=147		やめた人 n=46		吸わない人 n=549	
ア ない	7	25.2%	3	6.5%	31	5.6%
イ 全館禁煙	13	8.8%	5	10.9%	112	20.4%
ウ 分煙 (喫煙コーナーの設置)	75	51.0%	28	60.9%	270	49.2%
エ 事務室では一切禁煙にする	20	13.6%	10	21.7%	129	23.5%
オ その他	2	1.4%		%	7	1.3%



13) 分煙の実際について	吸う人 n=121		やめた人 n=34		吸わない人 n=399	
ア 実施されている	69	57.0%	11	32.4%	128	32.1%
イ 実施されていない	48	39.7%	23	67.6%	246	61.7%
ウ その他・希望など	4	3.3%		%	25	6.3%



たばこのアンケート結果「職員」

平均年齢 39.0±12歳

「吸う人」

1) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていますか？

(20.4±3.1) 才から 1日 (19.4±9.2) 本 × (21.1±11) 年間

2) たばこを吸う理由は何ですか？ n=279			
ア	気分転換になる	90	32.3 %
イ	気分が落ち着く	62	22.2 %
ウ	かつこいいから		%
エ	習慣（癖になっている）	117	41.9 %
オ	その他	10	3.6 %

3) 禁煙したいと思いますか？ n=181			
ア	思う	98	54.1 %
イ	思わない	83	45.9 %

4) 今までに禁煙教育を受けたことがありますか n=191			
ア	ある	8	4.2 %
イ	ない	183	95.8 %

「やめた人」

5) たばこを何歳から、1日何本、何年間、吸っていましたか？

(20.1±2.7) 才から 1日 (33.6±8.8) 才まで

1日 (18.9±9.5) 本 × (13.6±8.3) 年間

6) やめた理由は何ですか？ n=219			
ア	からだによくないから	9	4.1 %
イ	病気をしたため	95	43.4 %
ウ	他人に迷惑をかけるから	70	32.0 %
エ	不経済だから	16	7.3 %
オ	その他	29	13.2 %

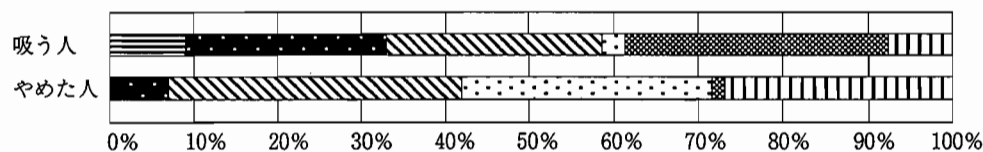
「吸わない人」

7) 吸わない理由は何ですか？ n=930			
ア	周囲がうるさいから	4	0.4 %
イ	家族の者が吸っていたから	36	3.9 %
ウ	友達が吸っていたから	1	0.1 %
エ	たばこを吸うきっかけがなかった	146	15.7 %
オ	なんとなく	147	15.8 %
カ	からだによくないから	328	35.3 %
キ	病気をしたため	8	0.9 %
ク	他人に迷惑をかけるから	110	11.8 %
ケ	その他	150	16.1 %

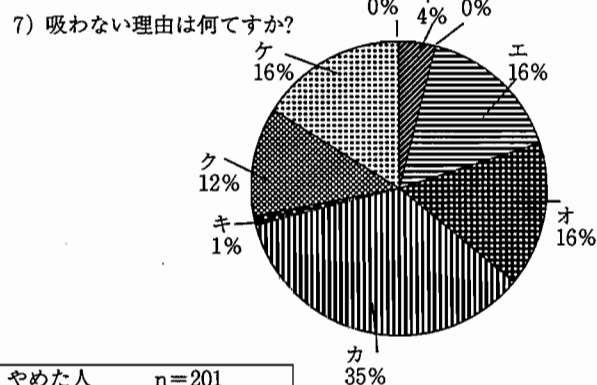
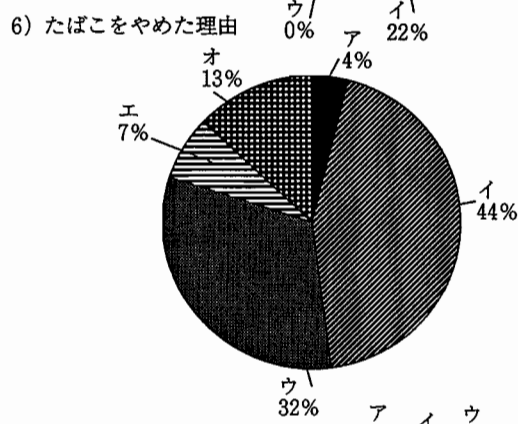
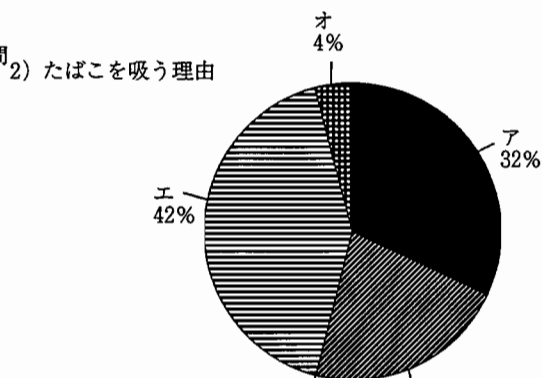
「共通質問」

8) たばこを吸い始めた理由は何ですか？	吸う人	n=226	やめた人	n=201	
ア	たばこの宣伝を見て	1	0.4 %	1	0.5 %
イ	家族の者が吸っていたから	18	8.0 %		%
ウ	友達が吸っていたから	51	22.6 %	12	6.0 %
エ	好奇心	63	27.9 %	73	36.3 %
オ	つまらなかったから	4	1.8 %	58	28.9 %
カ	なんとなく	72	31.9 %	2	1.0 %
キ	その他	17	7.5 %	55	27.4 %

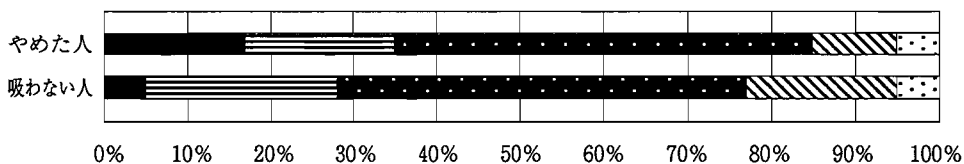
8) たばこを吸い始めた理由は何ですか？



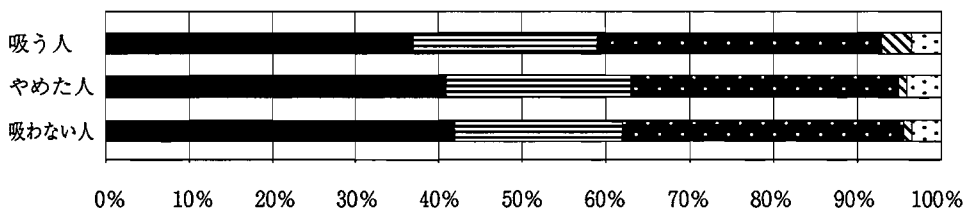
9) 今後、たばこを吸いたいですか？		
ア	思う	5 %
イ	思わない	694 %



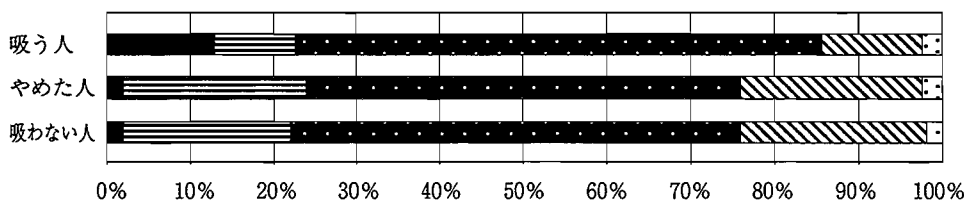
10) あなたの側でたばこを吸われることについて、どう感じていますか?	やめたい人 n=226		吸わない人 n=1129	
ア 何とも感じない	38	16.8%	60	5.3%
イ 目やのどが痛い	39	17.3%	268	23.7%
ウ においが気になる	115	50.9%	542	48.0%
エ 病気になるのが心配	23	10.2%	197	17.4%
オ その他	11	4.9%	62	5.5%



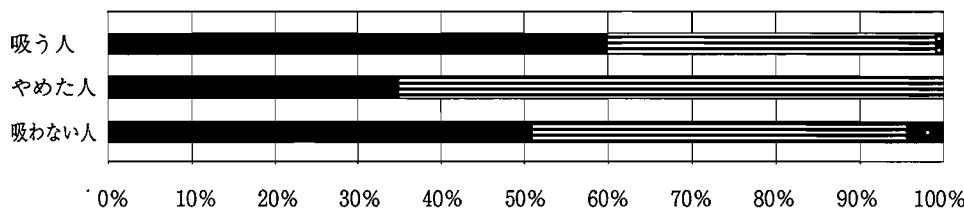
11) たばこの害は何だと思えますか?	吸う人 n=361		やめた人 n=328		吸わない人 n=1353	
ア 周りの人に影響する	132	36.6%	134	40.9%	578	42.7%
イ 心臓病に影響する	84	23.3%	72	22.0%	271	20.0%
ウ 発癌性がある	125	34.6%	108	32.9%	453	33.5%
エ 害はない	10	2.8%	2	0.6%	9	0.7%
オ その他	10	2.8%	12	3.7%	42	3.1%



12) 大学で、実施可能な対策があるとすれば何だと思えますか?	吸う人 n=205		やめた人 n=212		吸わない人 n=887	
ア ない	27	13.2%	4	1.9%	15	1.7%
イ 全館禁煙	18	8.8%	48	22.6%	175	19.7%
ウ 分煙 (喫煙コーナーの設置)	131	63.9%	113	53.3%	497	56.0%
エ 事務室では一切禁煙にする	24	11.7%	41	19.3%	180	20.3%
オ その他	5	2.4%	6	2.8%	20	2.3%



13) 分煙の実際について	吸う人 n=178		やめた人 n=145		吸わない人 n=650	
ア 実施されている	107	60.1%	52	35.9%	331	50.9%
イ 実施されていない	69	38.8%	93	64.1%	291	44.8%
ウ その他・希望など	2	1.1%		%	28	4.3%



5. エイズ講演会について

学生へのエイズの知識涵養と啓蒙のため、下記のように実施した。

記

日 時 平成10年 11月9日(月) 13:00～14:30

場 所 岐阜大学小講堂(附属図書館)

講演者 羽島市民病院産婦人科部長

荒 堀 憲 二 先生

演 題 「性による健康被害」

対 象 学生・教職員 440名

性を様々な角度から見つめ、AIDSを含めた性による心身の健康被害に関する新しい情報を紹介する。

1 性の分化と同性愛

ヒトの性器は胎児期に遺伝子の指令によって男女に分化する。同時に自分がどのような性を好むかという性的志向も生得的に決定される。大脳領域で決められた性的志向の人為的な変更は現在不可能とされる。性分化の異常である半陰陽の患者や外性器と性的志向が一致しない性同一性障害者にとって、社会の性規範から受ける苦悩は甚だしいものがある。同性愛、性転換など性のidentityに関わる問題には、誤解や偏見を排し科学的な見地から人間理解を深める必要がある。

2 性行為の意義

性行為には生殖、快楽、親密の意義がある。パートナーを亡くした男性が早死にするように、性を通じた親密な関係の保持を健康的な生活習慣として認知する必要がある。一方性倒錯や乱交など破壊的な性行為もある。つまり性には健康の増進と障害の両面がある。

3 性行為による健康被害

若者が性的に活発なのは生物学的に極めて自然であるが、問題は望まない妊娠と性感染症(STD)である。

中絶によるトラウマは後の性関係や母子関係を困難にすることもあるので、中絶の決定には慎重を要する。避妊にはピルとコンドームがあるが、性交後72時間以内の、ピルによる緊急避妊法も有用である。また避妊していても、月経が遅れたら必ず妊娠検査が必要である。

STDのうちクラミジアは妊婦の5%にあるといわれ、コンジローマやヘルペスもよく見る。性あるところに感染があり、相手はSTDに罹っているという前提で接することが必要。

STDは後天性免疫不全症候群の略であり、その原因がHIV即ちヒト免疫不全ウイルスである。

世界のAIDS患者は1894万人で内1170万人が死亡。生存する患者・感染者は3060万人で毎日16000人が感染している。日本の患者・感染者数は5000人。多くが異性間性交渉による。悪いのは同性愛でも患者でもなくHIVである。予防効果はSteady & Safer sex を実行する個人の意識にかかっている。

妊娠も中絶もSTDも女性の被害が大きい。このことを理解した上で、いつ誰とどんな性関係を持つかを女性は自己決定してほしい。人が性を楽しめる条件は、愛するパートナー、性知識、避妊実行の3つが揃うことである。

4 性犯罪・性差別による被害

AIDSと並んで欧米で大きな社会問題になっているのが子どもへの性虐待（CSA）である。子どもに馴染みの大人が、その子が了承もせず理解もできない性行為に引き込む結果、子どもは心と身体の統合が崩れ様々な損害を残すのである。その子が大人になり子どもを虐待する世代間連鎖も明らかにされている。その他レイプ/デート・レイプ、セクハラ、夫婦間暴力など、社会が内包する闇の暴力による被害は甚大である。

インドでの中絶は女兒が極めて多い。ルワンダ紛争では25万人以上の女性がレイプの被害を受けた。アフリカを中心に毎年何百万人という女子が性器切除を受けている。つまり女性は子宮内、家庭、職場、戦場などいたる所で大きな被害を受けている。国連が、「性差別を克服することは社会の全てが変わることであり人類の歴史にとって奴隷解放以上の価値がある」というのはそのためである。

5 まとめ

有性生殖はよりよく生き残るための重要な戦略である。その仕組みの上に望まぬ妊娠や中絶、STD、性犯罪、性差別がある。それらは無知と偏見と暴力と差別の産物で、よりよく生き残ることとは無縁である。自身の豊かな人生と次世代の命のために、Steady で親密な性を大切に、良き共生社会に築かれるよう学生諸君に期待したい。

6. 「喫煙の害と禁煙」についての講演会

趣 旨 生活習慣病の危険因子として重要な喫煙率を低くし学生の健康の維持増進を図る。

日 時 平成11年1月22日（金）13：00～16：00

場 所 岐阜大学小講堂

対 象 者 学生・教職員

演 題 「喫煙の害と禁煙」

講 演 者 JR仙台病院保健管理部部長

山 本 蒔 子 先生

健康をつくる生活習慣

7つのポイント

6つ以上の人は11年長生きと報告（ブレスロー）

若い頃から習慣作りが重要

1. 組み合わせのよい食事 米、肉、魚、卵、牛乳、豆腐
緑黄色野菜 その他の野菜、果物
2. 規則正しく3度の食事 朝食は仕事始めのスイッチ
3. 標準体重±10%以内の体重を目指す。
4. 睡眠を7時間程度とる
5. 一日1万から7千歩歩く 通勤や階段を使う
6. タバコは吸わない
7. お酒は2合まで、休肝日を作る

タバコによる健康影響

◎どうしてタバコをやめなければならないのか？

1. たばこはこんな症状を引き起こす

咳、痰がでる。口臭にタバコの臭がする。歯や歯茎が汚れる。血圧が上がり、脈が増える。血行不良のため、皮膚の老化が進み、しわが増える。ビタミンCが破壊されるので、肌の色が黒くなる。手先や足先がしびれる。ぼけやすくなる。

2. 健康診断の結果に影響がでている

白血球数の増加、HDL-コレステロールの減少、赤血球や血色素の増加

3. たばこの健康障害；たばこ病

循環器疾患；虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）

脳血管障害（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）

大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症

消火器疾患；胃潰瘍、十二指腸潰瘍、慢性胃炎、口内炎、肝硬変、慢性閉塞性肺疾患、

癌；口腔癌、食管癌、喉頭癌、肺癌、胃癌、肝臓癌、膵臓癌、膀胱癌、乳癌、子宮癌

小児疾患；妊婦の喫煙による低体重児や奇形児の出産、

受動喫煙による呼吸器疾患、乳幼児突然死症候群

歯疾患；歯周病

4. 喫煙で病気が悪化したり、重症になる

高血圧、糖尿病、高脂血症、心電図異常、肝炎、骨粗しょう症、月経不順、

5. 受動喫煙の害 タバコの煙を吸う総ての人に、肺癌や虚血性疾患を引き起こす

◎どうしてタバコが止められないのか？

ニコチン依存症になってから

1. 長期禁煙や節煙が不可能
2. 喫煙中止により離脱症状が現われる
3. タバコによる病気にかかっている、吸い続ける

◎タバコへの依存度や喫煙量の指標

ニコチン依存度：ファーガストローム指数

喫煙係数：一日の喫煙本数×喫煙年数 600以上は危険

呼吸中のCO濃度：非喫煙者 5 ppm以下

喫煙者 10-50ppm 喫煙本数により増加

ニコチン依存度テスト

	A	B	C
起床してから何分後に最初の一服を吸いますか。		30分以内	30分以降
禁煙車で、禁煙するのに非常な努力が必要		はい	いいえ
一日のなかで一番タバコがおいしく感ずるのは		朝一番 の一服	特に決まって いない
一日の喫煙本数	26以上	25-16	15以下
一日のうちで午前中に多く吸いますか		はい	いいえ
病気の時もタバコを吸わずにいられますか		はい	いいえ
いつもすっている銘柄の強さはどの程度ですか	強い	中位	弱い
深く吸い込む頻度はどのくらいですか	いつも	時々	めったに

得点 A-2点、 B-1点、 C-0点

ファーストローム指数 0-3：低い、 4-6：中位、 7-11：高い

◎禁煙方法 : 断煙法が成功する。減煙では成功しない。

◎離脱症状

喫煙渴望感、気分が落ち着かない、イライラする、精神集中困難、頭痛、疲労感

◎離脱症状を克服する方法

口が寂しくなったら、水、お茶、果物ジュースをのんだり、うがいをしたり、歯を磨いたりする。

あめ等の甘いものは体重増加の原因になるので避ける。軽く体を動かしたり、散歩をする。

食事はあっさりしたものにして、コーヒーやアルコールを控える。

7. 平成10年度 保健管理センター業務報告（関係行事を含む）（学生）

実施月日	実施行事（内容等）	対象者等
4月 7 7~8 14.15.16.22.24(夜) 20.21 25	入学式（保健管理センターのオリエンテーション） 健康調査 定期健康診断 身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査 内科診察、胸部レントゲン間接撮影 特別定期健康診断（問診・採血） 岐阜地区（保看班）研究会（於：岐阜大学）	保健管理センター所長 新入生 工学部4年・工学部（夜間） 教育学部1・4年 教育研究科・農学部4・5・6年 工学研究科（前期2年・後期） 放射線取扱者 保健婦、看護婦
5月 6.7.12.13.18.20.21. 27 19 8.9.16	定期健康診断 身長・体重・体脂肪測定、視力検査、尿検査 内科診察、胸部レントゲン間接撮影 再検査（放射線取扱者健診の事後措置） 再検査（定期健康診断の事後措置）	地域科学部1年 農学部1・2・3年 連農、連獣 医学部1～6年 医学研究科 教育学部2・3年 工学部1・2・3年 工学研究科（前期1年） 農学研究科 該当者 該当者
6月 3 8~30 16 13 15~19 29~	定期健康診断 再検査（定期健康診断の事後措置） 胸部レントゲン直接撮影（司地区・柳戸地区） 定期健康診断（未受診者）13：30～15：30 岐阜県大学保健管理研究会（於：ワシントンホテル） 肥満二次検診 体脂肪測定、血圧測定、心電図検査、血液検査 食事調査 肥満二次検診個別指導	医療技術短期大学部 該当者 該当者（間接撮影で要精検となつた学生および経過観察を要する学生） 該当者 該当者
7月 ~3 1.2 6.10 8 14.15.17 28 29.30	肥満二次検診個別指導 パソコン研修 乗鞍参加学生健診（血圧、検尿、内科診察） 肥満二次検診集団指導 サークルリーダー研修会（国立乗鞍青年の家） 全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会研究集会（保看班） 全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会研究集会 当番大学 福井大学	該当者 古澤・本多・長瀬出席 定健未受診者 該当者 後藤担当 長瀬出席 長瀬出席

平成10年度 保健管理センター業務報告（関係行事を含む）（職員）

実施月日	実施行事（内容等）	対象者等
4月	17 特別定期健康診断（問診・採血）	放射線、病原体、有害物質取扱者
5月	12 事務指導担当者研修会（於：岐阜県立健康管理院） 29 特別定期健康診断（問診・採血）再検査 29.30 特別定期健康診断（問診等） 一般定期健康診断 身長・体重測定、視力検査、内科診察、尿検査 血圧測定、胸部レントゲン間接撮影	自動車運転手 放射線取扱者 柳戸地区
6月	2～20 3.4 一般定期健康診断の再検査 一般定期健康診断 身長・体重測定、視力検査、内科診察、尿検査 血圧測定、胸部レントゲン間接撮影 13 便潜血、喀痰、血液検査（午前）、心電図検査（午後） 一般定期健康診断後の再検査 胸部レントゲン直接撮影	医療技術短期大学部 司地区職員 医学部・医研学生（未受診者） 柳戸地区（35歳と40歳以上） 該当者 該当者（間接撮影で要精検となった職員及び経過観察を要する職員）
7月	「健康院自動化健診」事後指導	受診者
8月	〃	受診者
9月	〃	受診者
10月	16 特別定期健康診断（問診・採血・検尿・X線）	放射線、病原体、有害物質取扱者
11月	2～14 20 臨時の健康診断（子宮癌検診） 特別定期健康診断（問診、視力検査、握力検査等）	35歳以上女子 〔自動車運転手・ 食品取扱い・VDT業務者〕
14	14 平成10年度第1回職員健康診断指導区分判定会議	
12	12.13 一般定期健康診断（胃の検査）	
3月	14 平成10年度 第2回職員健康診断指導区分判定会議	

8. 平成10年度 疾病分類別要管理者内訳 (学部学生)

大分類	学部 指導区分 病名	教育学部		地域科学部		医学部		工学部		農学部		合計					
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
Ⅲ 血液および 造血器の疾病	鉄欠乏性貧血	4	1	1	1				1		1	5	6	1	11	1	7
	その他										1		1	1			1
Ⅳ 内分泌、代 謝疾患	甲状腺機能亢進症										2		1		2		1
	橋本病								1								1
	糖尿病								1		1				2		
	肥満	2			1	2				26		4	3	1	31	7	1
Ⅴ 精神および 行動の障害	精神分裂病、分裂病型 障害および行動の障害								1			1		1	1		
	気分(感情)障害	1							1		1	1		2	2		
	神経症性障害、ストレス関 連障害及び身体表現性障害	9							7		1	3		8	12		
	摂食障害			1								3			3		1
	その他										1				1		
Ⅷ 耳および乳 様突起の疾患	めまい・耳鳴			2													2
Ⅸ 循環器系の 疾患	僧帽弁閉鎖不全症								3	1					3	1	
	不整脈	2			1				2		1	1	1	1	3	4	1
	川崎病								1						1		
	期外収縮								3		1	5			4	5	
	w p w 症候群				1				1						1	1	
	洞性徐脈	1							1						1	1	
	房室ブロック	1														1	
	心膜嚢腫																
	高血圧	1							3						3	1	
	心雑音	2	1								1				3	1	
Ⅹ 呼吸器系の 疾患	肺結核												1				1
	気胸									1							1
	陳旧生硬化巣								1						1		
	縦隔腫瘍																

大分類	学部 指導区分 病名	教育学部		地域科学部		医学部		工学部		農学部		合計									
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療								
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
X 呼吸器系の疾患	その他							3		1		4									
XI 消化器系の疾患	潰瘍性大腸炎							2				2									
	B型肝炎キャリア									1		1									
	その他	1								1		1	1								
Ⅷ 筋骨格系及び結合組織の疾患	全身性エリトマトーデス										1		1								
	その他									1	2	1	2								
XIV 尿路性器系の疾患	慢性腎炎					1		1	1		1	2	1	1							
	慢性糸球体腎炎							1				1									
	突発性腎出血							2				2									
	IgA腎症							1													
	起立性蛋白尿	1						1		1		1									
	ネフローゼ症候群					1															
	その他					1	1	1		1		2									
XVII 先天奇形および染色体異常	心房中隔欠損症	2						1				1									
	心室中隔欠損症	1																			
総合計		2	27	1	4	1	5	2	1	1	64	4	1	16	29	1	12	80	63	3	16

平成10年度 疾病分類別要経管理者内訳（大学院生）

大分類	学部 指導区分 病名	教育研究科		医学研究科		工学研究科		農研・連農・連獣		合計			
		要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療	要 観 察	要 医 療		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
I 感染症および寄生虫症結	鉄欠乏性貧血								1		1		
	その他												
III 血液および造血器の疾患	鉄欠乏性貧血								5		5		
	その他					2		1		3			
IV 内分泌、代謝疾患	糖尿病					1		1		2			
	肥満	2				16		6		22	2		
V 精神および行動の障害	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害					3		1	3	4			
	その他					1				1			
IX 眼及び付属器の疾患	眼球振盪												
IX 循環器系の疾患	不整脈					2		1		3			
	右脚ブロック					2				2			
	心肥大							1		1			
	高血圧							1		1			
	その他	1								1			
X 呼吸器系の疾患	肺結核							1	1	1	1		
XII 筋骨格系および結合組織	その他					1				1			
XIV 尿路器系の疾患	慢性膀胱炎					1				1			
	シスチン尿症					1				1			
XVI 先天奇形、変形および染色体異常	心室中隔欠損症					1				1			
総合計		1	2			31		13	9	1	45	8	1

平成10年度 疾病分類別要管理者内訳（医療技術短期大学部）

大分類	指導区分 病名	要観察		要医療		合計	
		男	女	男	女	男	女
Ⅳ 内分泌、代謝疾患	糖尿病境界型		2				
	甲状腺腫		2				
Ⅷ 耳および乳様突起の疾患	難聴		1				
Ⅸ 循環器系の疾患	僧帽弁逸脱症		2				
	肥大型心筋症		1				
合計			8				

9. 平成10年度 休学・退学・除籍者調べ

(1) 休学者

(学部、医療技術短期大学部)

区 分	教育学部		地 域 学 部		医 学 部		工 学 部 間		工 学 部 間		農 学 部		合 計		医 療 技 術 短 期 大 学 部
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
精 神 障 害	1	1			4	4			1	1	2	2	8	8	
消極的理由(アバシー群)	6	6	1	1			24	27	3	3	5	5	39	42	
積極的理由(留学・受験等)	7	8			2	2	13	14	9	9	4	5	35	38	
家族・経済的理由等	4	4	1	2			6	6	2	2	4	4	17	18	
単 位 取 得 済 み					1	1	15	15	1	1			17	17	
身 体 疾 患	2	2					3	3	1	1			6	6	
不 詳 ・ 不 明	1	1					1	1					2	2	
合 計	21	22	2	3	7	7	62	66	17	17	15	16	124	131	

*左段は実人数、右段は延べ人数。

(大学院)

区 分	教育研究科		医学研究科		工学研究科		農学研究科		合 計		連 合 農 学 研 究 科		連 合 獣 医 学 研 究 科	
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
精 神 障 害			1	1					1	1				
消極的理由(アバシー群)					3	4	2	2	5	6				
積極的理由(留学・受験等)		1	1		12	16	1	2	14	19			1	1
家族・経済的理由等	2	2	3	3			3	5	8	10	4	5		
単 位 取 得 済 み														
身 体 疾 患					1	1			1	1				
不 詳 ・ 不 明					1	1			1	1				
合 計	3	3	4	4	17	22	6	9	30	38	4	5	1	1

(2) 退学者

(学部、医療技術短期大学部)

区 分	教育学部		地 域 学 部		医 学 部		工 学 部 間		工 学 部 間		農 学 部		合 計		医 療 技 術 短 期 大 学 部
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
精 神 障 害	1				1								2		
消極的理由(アバシー群)							16	4			7		26		
積極的理由(留学・受験等)	4						12	9			7		32		
家族・経済的理由等	1				1		1	2			1		6		
身 体 疾 患	2												2		
不 詳 ・ 不 明							1						1	1	
合 計	8				2		30	15			14		69	1	

*特殊教育特別専攻科1名を含む。

(大学院)

区 分	教育研究科	医学研究科	工学研究科	農学研究科	合 計	連合農学 研究科	連合獣医学 研究科
精 神 障 害		1			1		
消極的理由(アパシー群)	1	1	3	1	6	1	1
積極的理由(留学・受験等)	1	9	6	3	19		
家族・経済的理由等	1	2	3		6	2	
身 体 疾 患							
不 詳 ・ 不 明		1			1		
合 計	3	14	12	4	33	3	1

(3) 除籍者

(学部・医療技術短期大学部)

区 分	教育学部	地 域 科 学 部	医 学 部	工 学 部 間	工 学 部 間	農 学 部	合 計	医 療 技 術 短 期 大 学 部
死 亡	病 気							
	事 故							
	自 殺			2			2	
	そ の 他							
授 業 料 未 納	2			3	4	1	10	
そ の 他								
合 計	2			5	4	1	12	

(大学院)

区 分	教育研究科	医学研究科	工学研究科	農学研究科	合 計	連合農学 研究科	連合獣医学 研究科
死 亡	病 気						
	事 故						
	自 殺						
	そ の 他						
授 業 料 未 納			1		1		
そ の 他							
合 計			1		1		

Ⅲ 参 考 資 料

1. 健康診断受診率

定期健康診断受診率

表 1 学 部 別

学部 年度	教 育 部	地 域 科学部	医学部	工 学 部		農学部	教養部	全 学 平均	備 考
				昼 間	夜間主				
元	86.8%	%	48.6%	87.2%	%	84.6%	67.3%	74.3%	各学部等の協力なし
2	95.0		47.7	91.5		89.7	92.9	89.3	受診促進のための資料配布
3	94.0		77.9	91.4		97.4	95.7	93.5	大学入試センター試験開始 受診促進のための資料配布 各学部等の協力あり
4	97.4		91.4	93.1	90.2	98.0	95.9	95.5	
5	95.0		94.4	94.7	83.0	95.9		94.6	
6	94.2		89.7	93.1	81.6	96.5		93.3	
7	95.8		87.1	93.1	79.3	94.7		92.8	
8	93.6		86.7	81.9	68.1	90.4		85.9	
9	92.3	98.2	70.7	70.7	57.8	90.6		81.9	
10	89.5	88.8	67.1	78.3	55.9	87.4		80.3	

表 2 学 年 別

年度	学 年	1	2	3	4	5	6	全学平均	備 考
元		85.9%	50.0%	79.6%	84.8%	46.8%	88.7%	74.3%	
2		97.4	88.6	91.0	84.5	56.8	93.7	89.3	
3		97.5	94.1	96.1	87.4	66.5	96.0	93.5	
4		98.1	93.7	97.5	93.7	83.5	99.1	95.5	
5		97.2	92.7	96.8	92.2	90.9	98.3	94.6	
6		95.3	89.5	95.1	93.6	91.2	93.8	93.3	
7		98.6	89.7	90.1	93.2	89.2	93.1	92.8	
8		89.3	77.5	86.4	88.2	92.9	98.3	85.9	
9		92.9	72.2	76.7	83.4	84.7	95.5	81.9	
10		84.4	70.0	86.0	80.4	69.5	98.0	80.3	

※ 大学院、医療技術短期大学部を除く

表 3

学年 年度	大 学 院	医 療 技 術 短 期 大 学 部	備 考
元	83.4 %		受診促進のための資料配布
2	82.5		受診促進のための資料配布 各学部等の協力あり
3	87.0		
4	83.9	100.0	
5	81.9	100.0	
6	80.7	99.6	
7	79.4	99.2	
8	76.4	99.6	
9	79.9	99.2	
10	78.7	94.2	

2. 学生への配布資料「定期健康診断について」

平成10年度から新4年生・研究科新2年生に対して、前倒しの定期健康診断を実施する。

新4年生・研究科新2年生になる学生の皆さんへ！ 定期健康診断実施の案内

平成11年度、学部4年生と研究科2年生になる学生のうち、健康診断書が早期に必要な人は下記の実施日に受けてください。ただし、健康診断書の発行は4月1日以降になります。この健康診断日に受けなかった人の健康診断書の発行は、7月1日以降の発行になります。

年月日	曜日	学部等	学年	対象人数	受付時間	対 象	受付時間	対 象
11. 1.25	月	教育学部	新・4年	270	13:00 ~14:15	男子全	14:15 ~15:30	女子全
		教育研究科	新・2年					
		農学部（獣医以外）	新・4年					
		農学研究科	新・2年	270				
		連合農学研究科	新・3年					
		連合獣医学研究科	新・4年					
11. 3. 1	月	工学部（昼間）	新・4年	350	13:00 ~14:15	土木・機械	14:15 ~15:30	応 化
		工学部（夜間主）	新・4年					
11. 3. 8	月	工学研究科	新・前2年	350	13:00 ~14:15	電 情	14:15 ~15:30	工 研
			新・前3年					
		工学部（昼間）	新・4年					
		工学部（夜間主）	新・4年					

健診項目と注意事項

- ①身長・体重・体脂肪測定 ②視力 ③血圧測定 ④尿検査 ⑤胸部X線（間接撮影）⑥内科診察
⑦最終場所で健康管理カードを提出

*問診表はあらかじめ記入し、当日内科診察の医師に見せてください。

*レントゲン撮影時は、Tシャツ（白地）の着用可ですが、柄やボタン・ワンポイント・刺繍等のついたものは撮影にさしつかえますので注意してください。

・再検査、精密検査の実施日については、当日案内いたします。

そ の 他

- ・該当日に受診出来ない時は他の日にうけても良いです。
- ・大学院進学等健康診断書が早期に必要なでない学生さんは、健康診断日を5月に予定していますので4月以降に案内をいたします。

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書の発行はできません。

教 育 学 部	対 象	月 日	時 間	持 ち 物	場 所
教 育 学 部	1 年 全 員	◎4月22日(水)	12:00～13:30	健康管理カードI 問診票	保健管理センター
地 域 科 学 部	1 年 全 員	◎5月27日(水)	12:00～13:30		
医 学 部	1 年 全 員	◎5月18日(月)	12:00～13:30	無地で薄地の Tシャツ (女子のみ)	医療短大
工 学 部	土木、機械、応用精密	5月13日(水)	12:00～13:30		
学 部	生命工学、電気電子、応用情報	5月13日(水)	13:45～15:30		
夜 間 部	1 年 全 員	4月24日(金)	17:30～18:30		
農 学 部	1 年 全 員	◎5月20日(水)	13:45～15:30		
医 療 技 術 短 期 大 学 部	1 年 全 員	6月 3日(水)	13:00～15:30		

健康の項目と注意事項

入学直後（健康調査の面接時）に、計測してあれば省略できます。

身体測定 同上

血圧測定 裸目、矯正とも測定します。コンタクトレンズをはずせるように準備してください。

視力測定 事前に記入した問診票を医師に提出します。

内科診察 当日、トイレで尿検します。

尿検査 胸部レントゲン撮2階のレントゲン室で撮影します。(レントゲン車はセンター玄関前にきます)

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できな場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・健康管理カードI、問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参してください。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースに刺繍の付いたものは不可とします。
- ・他診終了後、健康管理カードIは、センター1階の回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・再検査、再診察が必要となった人はその場で説明します。指示された日に必ず来てください。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書の発行はできません。

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。

第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです。)

内科診察に問診票を導入しました。

指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。

混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

教 育 学 部	対 象	月 日	時 間	持 ち 物	場 所
教 育 学 部	1 年 全 員	◎4月22日(水)	1部 12:00～13:30	問診票 無地で薄地の Tシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	2 年 全 員	5月 6日(水)	1部 12:00～13:30		
	3 年 国語、社会、数学、理科、音楽	5月21日(水)	1部 12:00～13:30		
	4 年 経済情報、経済情報	5月21日(水)	2部 13:45～15:30		
教 育 学 研 究 科	1 年 全 員	◎4月16日(水)	1部 12:00～13:30		
	2 年 全 員	4月16日(水)	2部 13:45～15:30		
	1 年 全 員	◎4月22日(水)	2部 13:45～15:30		
	2 年 全 員	◎4月22日(水)	2部 13:45～15:30		

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できな場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースに刺繍の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・他診終了後、健康管理カードIは、センター1階の回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・健診の受診順序は自由です。(学生証は必要ありません)

定期健康診断のお知らせ

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書等の発行はできません。

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。
 第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです)
 内科診察に問診票を導入しました。
 指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。
 混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

地域科学部	対象	月日	時間	持ち物	場所
地域科学部	1年全員	◎5月27日(水)	1部 12:00~13:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	2年全員	◎5月27日(水)	1部 12:00~13:30		

研究生は上記日程のうちで受診してください。

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できない場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可(白色で薄地)ですが、柄やボタン、ワンピースの刺繍の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康管理カードIは、センター1階の回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと)。
- ・健診の受診順序は自由です。

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書等の発行はできません。

健康の方法を変更しました

内科診察に問診票を導入しました。
 指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。

混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

(個別配布)

医学部	対象	月日	時間	持ち物	場所
医学部	1年全員	◎5月18日(月)	1部 12:00~13:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	2年全員	◎5月18日(月)	1部 12:00~13:30		
	3年全員	5月12日(火)	11:00~14:00		
	4年全員	5月12日(火)	11:00~14:00		
	5年全員	5月12日(火)	11:00~14:00		
	6年全員	5月12日(火)	11:00~14:00		
医学研究科	全員	5月12日(火)	11:00~14:00		

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できない場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可(白色で薄地)ですが、柄やボタン、ワンピースの刺繍の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康管理カードIは、回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと)。
- ・健診の受診順序は自由です。

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書の発行はできません。

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。

第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです。)

内科診察に問診票を導入しました。

指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。

混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

教育学部	対象	月日	時間	持ち物	場所
教育学部	土木、機械、応用精密	5月13日(水)	1部 12:00~13:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	生命工学、電気電子、応用情報	5月13日(水)	2部 13:45~15:30		
	2年全員	◎5月20日(水)	1部 12:00~13:30		
	土木、情報	◎5月18日(月)	1部 12:00~13:30		
教育学研究科	機械、機械応用化、電気電子	◎5月18日(月)	2部 13:45~15:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	土木、応化	◎4月14日(火)	1部 12:00~13:30		
	機械、電情	◎4月14日(火)	2部 13:45~15:30		
	1年	◎5月27日(水)	2部 13:45~15:30		
教育学研究科	2年	◎4月22日(水)	2部 13:45~15:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	全員	◎4月22日(水)	2部 13:45~15:30		

研究生は上記日程のうちで受診してください。

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できな場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出て下さい。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースの襟の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康診断カードIは、センター1階の回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・健診の受診順序は自由です。(学生証は必要ありません)

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書の発行はできません。

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。

第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです。)

内科診察に問診票を導入しました。

指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。

混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

工学部	対象	月日	時間	持ち物	場所
工学部	1年全員	4月24日(金)	1部 17:30~18:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター
	2年全員	4月24日(金)	1部 17:30~18:30		
	3年全員	4月24日(金)	2部 18:45~20:00		
	4年全員	4月24日(金)	2部 18:45~20:00		

研究生は上記日程のうちで受診してください。

◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できな場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出て下さい。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースの襟の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康診断カードIは、回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・健診の受診順序は自由です。(学生証は必要ありません)

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

定期健康診断のお知らせ

岐阜大学保健管理センター

平成10年度の定期健康診断を下記の日程で実施します。日時等をよく確かめて、必ず受診してください。健康診断を受けなかった学生には、健康診断書の発行はできません。

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。
第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです。)
内科診察に問診票を導入しました。
指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。
混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

学部	対象	月日	時間	持ち物	場所	
農学部	1年全員	◎5月20日(水)	2部 13:45～15:30	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	保健管理センター1	
		◎5月27日(水)	1部 12:00～13:30			
	2年全員	5月7日(水)	1部 12:00～13:30			
		5月7日(水)	2部 13:45～15:30			
	3年生	システム、獣医	4月15日(水)			1部 12:00～13:30
			4月15日(水)			2部 13:45～15:30
	4年生	利用、生産、システム、獣医	4月15日(水)			1部 12:00～13:30
			4月15日(水)			2部 13:45～15:30
	農学研究科	全員	5月6日(水)			2部 13:45～15:30
			5月7日(水)			2部 13:45～15:30
連合農学研究科	全員	5月7日(水)	2部 13:45～15:30			
連合獣医学研究科	全員	5月7日(水)	2部 13:45～15:30			
農業別科の学生および研究生は上記日程のうちで受診してください。 ◎印の日は、レントゲン車もきますので、レントゲン撮影は2ヶ所となります。						

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できない場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースに刺繍の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康管理カードIは、センター1階の回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・健診の受付順序は自由です。(学生証は必要ありません)

健康の方法を変更しました

受付時間を2部制に分けて、一度に集中しないようにしました。
第1部の受付開始を1時間早め、12時からとしました。(第2部は午後1時間45分からです。)
内科診察に問診票を導入しました。
指定日以外の受診には、あらかじめ別日の予約が必要となります。
混雑を解消するために、ご協力をお願いします。

(個別配布)

医療技術短期大学部	対象	月日	時間	持ち物	場所
大 学 部	1年全員	6月3日(水)	午後1時～3時30分	問診票 無地で薄地のTシャツ (女子のみ)	医療 短 大
	2年全員				
	3年全員				

※必ずお読みください※

- ・指定された健診日に受診できない場合は、別日の予約が必要です。保健管理センターまで申し出てください。
- ・問診票はあらかじめ記入して、健康診断当日に必ず持参して、内科診察で医師に渡して下さい。
- ・女子はレントゲン撮影時に、Tシャツの着用可（白色で薄地）ですが、柄やボタン、ワンピースに刺繍の付いたものは不可とします。
- ・職場や、その他の医療機関で10年度中に健康診断を受ける予定のある学生は、その結果の写しを保健管理センターまで提出してください。
- ・健診終了後、健康管理カードIは、回収場所まで返却してください。(持ち帰らないこと。)
- ・健診の受付順序は自由です。(学生証は必要ありません)

3. 学生の間診票と職員の健康調査票（平成10年度から導入した）

㊦ 新入生健康診断問診票

*健康診断受診に必ず持参してください。内科診察の医師がうけとります。

*この問診票は、あなたの健康管理のための大切な資料となります。全項目、正確に記入してください。

*個人の秘密は厳守します。 記入年月日（日 月 年 日）

学部	学科	学籍番号									
氏名		男・女	生年月日	年	月	日	歳				
質問事項			該当する箇所に○をつけるか、記入をしてください								
1. 今までに何か病気をしたことがありますか?			はい							いいえ	
			～ 歳 アレルギー性疾患（鼻炎・結膜炎）								
			～ 歳 アトピー性皮膚炎								
			～ 歳 気管支喘息								
			～ 歳 心疾患（							）	
			～ 歳 腎疾患（							）	
			～ 歳 肝疾患（							）	
			～ 歳 貧血								
			～ 歳 結核								
			～ 歳 精神疾患（							）	
			～ 歳 自律神経失調症								
			～ 歳 やせ症または過食症								
			～ 歳 その他（							）	
2. 現在治療中または経過観察中の病気がありますか?			ある							なし	
			病名（							）	
			医療機関名（							）	
			入学後の通院状況について								
			①今までと同じ医療機関へ通院する								
			②医療機関から紹介してもらっている								
			紹介先医療機関名								
			③医療機関から紹介状の有無（有・無）								
3. 今、継続して薬を飲んでますか?			はい	どんな薬ですか?							いいえ
			（							）	
4. 薬物アレルギーがありますか?			ある	どんな薬ですか?							なし
			（							）	
食物アレルギーがありますか?			ある	どんな食物ですか?							なし
			（							）	

* 裏面に続く

〔裏面〕

岐阜大学保健管理センター

質問事項	該当する箇所に○をつけるか、記入をしてください	
5. 身体障害がありますか? 6. 最近、気になる症状がありますか?	ある 部位・程度 () 障害者手帳の有無 (有・無) (級) はい 脈がとぶ 脈が乱れる 動悸 胸痛がある 頭が重い 頭痛 腰痛 背中が痛い 肩こり めまい 耳鳴り しびれがある 眠れない 疲れやすい イライラする 食欲がない 最近やせてきた 最近太った 口渇 腹痛 下痢 湿疹 その他	なし なし
7. あなたの血族に右の病気にかかった人があれば該当するところに○をつけてください。	a. 高血圧 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) b. 高脂血症 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) c. 糖尿病 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) d. 肥満 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) e. その他 () (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟)	なし
8. 女子のみ 月経について困っていることがありますか?	ある 月経痛 月経不順 無月経 その他 治療中の有無 (有無)	なし
9. 保健管理センター・相談室での相談を希望しますか?	はい さしつかえなければ書いてください その他	いいえ

保健管理センター・学生相談室では、種々の相談に応じています。気軽に利用してください。

1 問題なし 2 再検 3 医療 4 相談

㊦ 学生健康診断問診票

岐阜大学保健管理センター

*健康診断受診に必ず持参してください。内科診察の医師がうけとります。

*この問診表は、あなたの健康管理のための大切な資料となります。全項目、正確に記入してください。

*個人の秘密は厳守します。

記入年月日 (H. 年 月 日)

学部	学科	年	学籍番号								
研究科	専攻科	年									
学部・研究科/専攻科・研究生・聴講生・日本語研修生・その他 ()											
フリガナ 氏名			男・女	生年月日	年	月	日	歳			
質問事項			該当する箇所に○をつけるか、記入をしてください								
6. 最近、気になる症状がありますか?			ある/ 脈がとぶ 脈がみだれる 動悸 胸痛がある 頭が重い 頭痛 腰痛 背中が痛い 肩こり 耳鳴り しびれがある 眠れない 疲れやすい イライラする 食欲がない 最近やせてきた 最近太った 口渇 腹痛 下痢 湿疹 その他							なし	
2. 今までにかかった病気がありますか? いつ頃ですか? (かぜは除く) 現在も治療中・経過観察中ですか?			ある/具体的に書いてください いつ (年 月) はい (治療中・経過観察中) 病院名 () 服薬の有無 (無・有/薬の種類)							なし	
3. あなたの血族に右の病気にかかった人があれば該当するところに○をつけてください。			a. 高血圧 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) b. 高脂血症 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) c. 糖尿病 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) d. 肥満 (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟) e. その他 () (1.父 2.母 3.祖父 4.祖母 5.兄弟)							なし	
4. 女子のみ 月経について困っていることがありますか?			ある/ 月経痛 月経不順 無月経 その他 治療中の有無 (有無)							なし	
5. 保健管理センター・相談室での相談を希望しますか?			はい さしつかえなければ書いてください。 治療中の有無 (有無)							なし	

保健管理センター・学生相談室では、種々の相談に応じています。気軽に利用してください。

1 問題なし 2 再検 3 医療 4 相談

裏面の記入もお願いいたします

秘 平成10年度 職員 健康調査票

記載日 平成 年 月 日

健康診断受診日に必ず持参して、内科診察時に渡して診察を受けて下さい。

所 属	学科・係	氏 名 (男・女)	生年月日 昭和 年 月 日
-----	------	--------------	------------------

* 次の項目の該当する番号を○で囲んで下さい。又は()に記入して下さい。

A)現在の生活状況

- 1)片道の通勤時間
 - ①30分未満
 - ②30分～1時間未満
 - ③1時間～2時間未満
 - ④2時間以上
- 2)往復の通勤での徒歩または自転車利用時間
 - ①15分未満
 - ②15分～30分未満
 - ③30分～60分未満
 - ④60分以上
- 3)睡眠時間
 - ①5時間未満
 - ②5時間～6時間未満
 - ③6時間～8時間未満
 - ④8時間以上
- 4)タバコ
 - ①吸わない
 - ②1日に10本未満
 - ③1日に10本～30本未満
 - ④一日に30本以上
- 5)お酒
 - ①飲まない
 - ②週1～2回
 - ③週3回～5回
 - ④毎日
- 6)お酒を飲む回数(3回以下を含む)
 - ①1合未満
 - ②1合～2合未満
 - ③2合～4合未満
 - ④4合以上
- 7)コーヒーや紅茶
 - ①飲む
 - ②1日1杯
 - ③1日2杯～3杯
 - ④1日4杯以上
- 8)1ヵ月あたりの残業時間
 - ①ほとんどない
 - ②20時間未満
 - ③20～60時間
 - ④60時間以上
- 9)運動はしていますか?

()を 週に()回している

 - ①はい
 - ②ときどき不規則
 - ③いいえ
- 10)毎日3食規則正しくとっていますか

()回ぐらい ()回ぐらい

 - ①朝食は月に()回ぐらい
 - ②昼食は月に()回ぐらい
 - ③夕食は月に()回ぐらい
 - ④ほとんどしない
- 11)外食はよくしますか

()回ぐらい ()回ぐらい

 - ①朝食は月に()回ぐらい
 - ②昼食は月に()回ぐらい
 - ③夕食は月に()回ぐらい
 - ④ほとんどしない

A)あなたの病歴について

- 1)高血圧
- 2)貧血
- 3)糖尿病
- 4)肺結核
- 5)胃潰瘍
- 6)十二指腸潰瘍
- 7)心臓病
- 8)肝臓病
- 9)腎臓病
- 10)緑内障
- 11)白内障
- 12)中耳炎
- 13)ぜんそく
- 14)胆石
- 15)がん
- 16)痛風
- 17)その他()

B)現在のからだの様子や気分分の状態

- 1)疲れ易い
- 2)頭痛がある
- 3)耳なりがある
- 4)耳が聞こえにくい
- 5)めまいがある
- 6)せき・たんがある
- 7)血痰がでたり痰に血がまじることがある
- 8)声がかすれることがある
- 9)肩こりがある
- 10)体のどこかにしびれ・しびれているところがある
- 11)体のどこかが、かゆいときがある
- 12)血圧が高いといわれたことがある
- 13)血圧が低いといわれたことがある
- 14)どろろき・息切れがある
- 15)脈が乱れることがある
- 16)胸がしめつけられるような感じがする
- 17)関節の痛みがある
- 18)食欲がない
- 19)胃の痛みがある
- 20)胃の具合が悪い
- 21)便に血が混じったり、黒い便が出る
- 22)下痢をよくする
- 23)便秘がらである

D)現在治療中の病名について

- 1)高血圧
- 2)貧血
- 3)糖尿病
- 4)肺結核
- 5)胃潰瘍
- 6)十二指腸潰瘍
- 7)心臓病
- 8)肝臓病
- 9)腎臓病
- 10)緑内障
- 11)白内障
- 12)中耳炎
- 13)ぜんそく
- 14)胆石
- 15)がん
- 16)痛風
- 17)その他()

その他気になることがありましたら、保健管理センターで御相談下さい。

岐阜大学保健管理センター

保健管理センター利用案内

～明るく健康な学生生活のために～

業 務

相談

身体面・精神面・その他誰に相談してよいかわからないような問題・悩み事の相談に応じます。
相談内容の秘密は守られますので安心して相談して下さい。
整形外科・産科婦人科・皮膚科の専門医が月1回相談に応じます。

救急処置

救急薬品を常備し、急病・けがなどの応急処置をします。
応急処置はできますが、長期治療はできません。
休養ベットも用意してありますので、気分が悪いときは休むこともできます。

健康診断

全学生を対象として4～5月に実施される定期健康診断や特別・臨時の健康診断を実施しています。
必ず、毎年受検して自分の健康をチェックしましょう。
なお、健康診断を受けていないと就職や進学等に必要な健康診断書の発行はできません。

その他

サークルの合宿・遠征等に必要な救急薬品の貸し出しや、エイズ等健康に関する知識の啓蒙活動
をします。
保健管理センター『ホームページ』アドレス：<http://www.gifu-u.ac.jp/~asa/hk01.htm>

利用するには

時間 月・水～金曜日 9:00～16:30
火曜日 9:00～19:00 (但し授業日に限る)

方法 保健管理センターに直接来所して、申し込んで下さい。
センターにこられない場合は直接電話(058)293-2174による相談も受け付けます。
保健婦・看護婦は常時相談に応じますが、医師による相談・診察は別記の時間帯になります。
気になることは、早めに相談・診察を受けてスッキリした気持ちで学生生活を送りましょう。

健康相談・診察

◎柳戸地区(担当医師)

曜日	診療科	午前	午後
月	精神神経科 内 科	清水章子	浅田修市
火	精神神経科 内 科	清水章子	清水章子 浅田修市
水	精神神経科 内 科	後藤絃司	後藤絃司 加藤昌彦
木	精神神経科 内 科	清水章子 後藤絃司	平野高弘 浅田修市
金	精神神経科 内 科	清水章子 後藤絃司	清水章子 浅田修市 越路正敏

※月1回 担当医師

青木隆明(整形外科) 第1木曜日 9:00～12:00
伊藤美穂(産科婦人科) 第3火曜日 9:00～12:00
野田徳朗(皮膚科学) 第2火曜日 9:00～12:00

◎司地区(担当医師)

柴田敏朗 (第3内科)
*詳細は保健管理センターに申し込んで下さい

◎医療技術短期大学部(担当医師)

宮崎青爾 (第3内科)
*詳細は医療技術短期大学部学務係に申し込んで下さい

お知らせ

病状によっては医療機関を紹介しますので、家族と離れて生活する場合は『遠隔地被扶養者証』を必ず手元に用意しておいて下さい。
保健管理センターからの連絡は各学部の掲示板で行います。

岐阜大学保健管理センター
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
TEL 058(293)2174 ダイヤルイン

医療技術短期大学部 学務係
〒500-8807 岐阜市北野町70-1
TEL 058(262)1416

学生相談

学生相談室員の紹介

1. 学部(専門分野) 2. 趣味 3. 学生への一言 4. 相談時間 5. 連絡方法

柳 戸 地 区	 三井淳蔵 1. 教育学部(学校保健教育) 2. 盆栽、園芸 3. 気力・体力の充実を 4. 火・水曜日午前中 5. 保健体育棟 207室 Eメール junmitsu@cc.gifu-u.ac.jp TEL 293-2288	柳 戸 地 区 司 地 区	 若井和憲 1. 工学部(機械工学、熱工学) 2. レコード鑑賞 3. 人に話すことで、自分の考えが整理できるのです。 4. 火曜日 5. Eメール wakai@cc.gifu-u.ac.jp TEL 293-2534
	 馬路泰蔵 1. 教育学部(食物学) 2. テニス、音楽、トレッキング 3. 何を食べようかいつも迷う人、太りたい人、やせたい人、食事のことなら何でも相談に応じます。希望なら栄養評価もします。お気軽にどうぞ。 4. 月曜日14時～17時 5. 教育A棟 4階 421号室 Eメール magician@cc.gifu-u.ac.jp TEL 293-2311		 渡邊貞司 1. 工学部(電気工学、雷放電物理) 2. テニス、囲碁、将棋、燻製作り、クラシック音楽 3. 悩みは誰もが経験し、乗り越えていくものです。燻製を食べながら話してみたい。 4. 火曜日午後 5. Eメール watanabe@cc.gifu-u.ac.jp TEL 293-2700 (FAX 230-1621)
	 大井修三 1. 教育学部(比較心理学) 2. つり、スキー 3. 大学では、授業計画でも日常生活でも(授業に出ないも)自分で決めていかなくてはなりません。しかし、その行動の責任も自分でとらなければなりません。自律こそ大学卒業の基本的な資格だと思います。 4. 木曜日13時～15時まで 5. 地域科学部棟 5階 503 TEL 293-3014		 笹野伸治 1. 農学部(農業工学) 2. 山歩き、読書、笛 3. 人生は長い旅路。ゆったりと楽しみつつ歩いて下さい。 4. 木曜日午前 5. 農学部 A棟 135室 TEL&FAX 293-2878
	 杉森弘幸 1. 教育学部(体育学・スポーツ方法学) 2. 読書、小旅行、アウトドア 3. 自分に自信をつける方法はたくさんあると思います。自分から気軽に来て下さい。 4. 火曜日 10時～12時 5. 保健体育棟 1階 TEL 293-3123		 景山幸二 1. 農学部(植物病学) 2. スキー 3. 明るく考えましょう。 4. いつでも都合の良い時に 5. 農学部 A棟4階 Eメール kageyama@cc.gifu-u.ac.jp TEL&FAX 293-2850
	 橘 良治 1. 教育学部(教育心理学) 2. 囲碁 3. 敷居は高くありません。気楽な気持ちで相談して下さい。 4. 前期:木曜日午後 後期:金曜日15時以降 5. 教育学部 7階 710 Eメール tatibana@cc.gifu-u.ac.jp TEL&FAX 293-2330		 小出浩之 1. 精神医学 2. 読書 3. 気軽に話に来て下さい。 4. 月・水曜日午前 5. TEL 267-2284
	 鈴木 壯 1. 教育学部(臨床心理学・スポーツ心理学) 2. 映画鑑賞、旅行 3. 悩んだり、苦しんだりすることは悪いことではありません。可能性を切り開くものです。悩みや苦しみを話にきてみませんか。 4. 火・水曜日の授業のない時間帯 5. 保健体育棟 2階215研究室 Eメール suzumasa@cc.gifu-u.ac.jp TEL 293-2292		 柴田敏朗 1. 内科学(内分泌代謝) 2. 音楽鑑賞 3. バランス感覚のとれた人間になって欲しい。 4. 火曜日終日、水曜日午後 5. Eメール tshibata@cc.gifu-u.ac.jp TEL 267-2328
 合田昭二 1. 地域科学部(産業配置論、地理学) 2. ソフトボール 3. 人生にはいろんなことがあります。 4. 月・火曜日午前 5. 教育学部 A506室 TEL 293-2228	 宮崎青爾 1. 内科学(高血圧・内分泌) 2. 音楽、スポーツ、絵画、写真、料理、散歩 3. 打ちこめる趣味をもつこと。好奇心の眼を持ち続けること。 4. 随時 5. TEL 262-1489		

- * 今年度から各学部より広く学生相談員が構成されました。気軽にご相談ください。
- * 学生相談室員への相談を希望する方は、保健管理センターに申し込むか、直接連絡をして予約をとってください。
- * 相談内容については秘密厳守します。安心してご利用ください。

IV 保健管理センター規則等

1 岐阜大学保健管理委員会規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学医療技術短期大学部（以下「医療技術短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学 長
- 二 各学部長、大学院連合農学研究科長、大学院連合獣医学研究科長及び医療技術短期大学部部长
- 三 医学部附属病院長
- 四 保健管理センター所長
- 五 事務局長
- 六 学生部長
- 七 その他学長が必要と認める者

2 前項第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針に関する事項
- 二 環境衛生の維持改善に関する事項
- 三 保健管理センターの組織及び運営に関する重要事項
- 四 保健管理センターの所長及び教官の人事に関する事項
- 五 その他保健管理に関する重要事項

2 前項第4号に掲げる事項について審議する場合には、前条第1項第5号及び第7号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(会 議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(専門委員会)

第7条 委員会は、特定の事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、委員長が委嘱する。

(幹 事)

第8条 委員会に幹事を置き、庶務部長及び学生部次長をもって充てる。

2 幹事は、委員会の事務を処理する。

附 則

この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

附 則

この規則は、平成元年6月22日から施行し、この規則による改正後の規則の規定は平成元年5月29日から適用する。

附 則

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

2 岐阜大学保健管理センター規則 (昭和49年7月16日 岐阜大学規則第14号)

(趣 旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター(以下「保健管理センター」という。)は、岐阜大学(岐阜大学医療技術短期大学部(以下「医療技術短期大学部」という。))を含む。以下「本学」という。)における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- 三 健康相談に応ずること。
- 四 救急処置を行うこと。
- 五 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- 六 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
- 七 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
- 八 その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 専任の教官
- 三 技術職員
- 四 事務職員

(分室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

- 2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(学生相談室)

第5条 保健管理センターに、学生のカウンセリングを行うため、学生相談室を置く。

- 2 学生相談室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長の職務)

第6条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

(所長等の選考)

第7条 所長及び専任の教官の選考については、別に定める。

(委員会)

第8条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、所長の諮問に応じ、保健管理センターの運営に関する具体的な方策その他必要な事項を審議する。

(委員会の組織)

第9条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 所長
- 二 学生部長
- 三 保健管理センターの専任の教官
- 四 各学部及び医療技術短期大学部から選出された教官 各1人
- 五 庶務部長
- 六 学生部次長
- 七 その他委員会が必要と認める者

2 前項第4号及び第7号に規定する委員は、学長が委嘱する。

(委員の任期)

第10条 前条第1項第4号及び第7号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第11条 所長は、委員会を招集し、その議長となる。

(事務)

第12条 保健管理センターに関する事務は、学生部厚生課において処理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和49年7月16日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については庶務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課において、それぞれ処理するものとする。

附 則

この規則は、昭和55年12月18日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

3 岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岐阜大学保健管理センター規則第5条第2項の規定に基づき、岐阜大学保健管理センター学生相談室（以下「学生相談室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(業 務)

第2条 学生相談室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 心身の悩みに関する個人相談に応ずること。
- 二 相談・助言及び指導に必要な資料を備えること。
- 三 相談・助言及び指導の調査、研究を行うこと。

(組 織)

第3条 学生相談室に次の職員を置く。

- 一 室長
- 二 学生相談室員

2 室長は、保健管理センター所長をもって充てる。

3 学生相談室員は、保健管理センターの専任教官及び保健管理センター所長が推薦する者をもって充てる。

4 前項に規定する保健管理センター所長が推薦する学生相談室員は、学長が委嘱する。

(秘密の厳守)

第4条 相談内容については、秘密を厳守する。

(学生相談室会議)

第5条 室長は、相談・助言及び指導に関し必要なときは、学生相談室員を招集し、学生相談室会議を主宰することができる。

2 室長は、学生相談室会議の議長となる。

3 室長に事故があるときは、室長があらかじめ指名する者が議長を代理する。

4 室長が必要と認めるときは、学生相談室会議に学生相談室員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

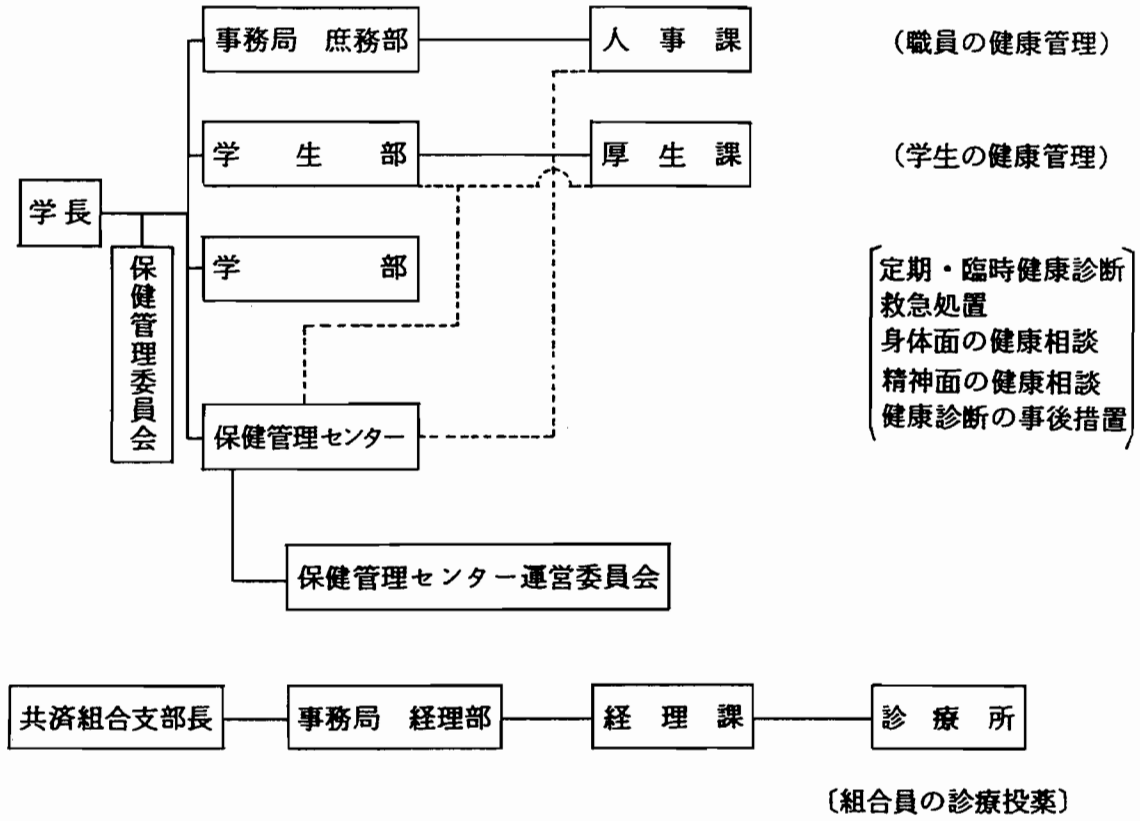
(事 務)

第6条 学生相談室の事務は、学生部厚生課において処理する。

附 則

この細則は、平成9年4月1日から施行する。

4 岐阜大学健康管理機構略図



5. 保健管理センター医師・学校医及び学生相談室員の担当日時

柳戸地区 岐阜市柳戸1番1

〈058〉293-2174

曜 日	担 当 者	専 門 科 目	担 当 時 間
月	⑩ 後 藤 教 授	内 科	8:30 ~ 12:30
	⑩ 浅 田 助 手	放 射 線 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 清 水 助 手	神 経 精 神 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 馬 路 教 授	食 物 学	14:00 ~ 15:00
	⑩ 景 山 助 教 授	植 物 生 産 遺 伝 学	10:00 ~ 12:00
火	⑩ 後 藤 教 授	内 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 浅 田 助 手	放 射 線 科	13:30 ~ 17:00
	⑩ 清 水 助 手	神 経 精 神 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 市 橋 助 手	皮 膚 科	9:00 ~ 12:00
	⑩ 伊 藤 助 手	産 婦 人 科	9:00 ~ 12:00
	⑩ 三 井 教 授	保 健 体 育	10:00 ~ 11:00
	⑩ 杉 森 助 教 授	体 育 学 ・ ス ポ ー ツ 方 法	11:00 ~ 12:00
	⑩ 鈴 木 助 教 授	体 育 学 ・ 臨 床 心 理 学	10:00 ~ 11:00
	⑩ 若 井 教 授	エ ネ ル ギ ー 開 発 工 学	15:00 ~ 17:00
⑩ 渡 邊 教 授	エ ネ ル ギ ー 制 御 工 学	14:00 ~ 16:00	
水	⑩ 後 藤 教 授	内 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 浅 田 助 手	放 射 線 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 清 水 助 手	神 経 精 神 科	14:00 ~ 17:00
	⑩ 加 藤 助 手	内 科	13:00 ~ 17:00
	⑩ 橋 助 教 授	教 育 心 理 学	15:00 ~ 16:00
	⑩ 合 田 教 授	地 域 政 策	14:00 ~ 15:00
木	⑩ 後 藤 教 授	内 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 浅 田 助 手	放 射 線 科	13:30 ~ 17:00
	⑩ 清 水 助 手	神 経 精 神 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 平 野 医 師	内 科	13:00 ~ 16:00
	⑩ 青 木 医 師	整 形 外 科	9:00 ~ 12:00
	⑩ 大 井 教 授	実 験 心 理 学	14:00 ~ 15:00
	⑩ 笹 野 教 授	生 産 環 境 整 備 学	10:00 ~ 12:00
金	⑩ 後 藤 教 授	内 科	8:30 ~ 12:30
	⑩ 浅 田 助 手	放 射 線 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 清 水 助 手	神 経 精 神 科	8:30 ~ 17:00
	⑩ 越 路 助 手	内 科	13:00 ~ 17:00

毎週火曜日（本学の休学日の火曜日は除く）は、午後7時まで開設しています。

司地区 岐阜市司町40

<058> 267-2335

曜日	担当者	専門科目	担当時間
水	㊟ 小出教授	神経精神科	13:00 ~ 14:00
木	㊟ 柴田助手	内科	9:00 ~ 12:00
			13:00 ~ 14:00

北野町地区 岐阜市北野町70の1

<058> 262-1435

曜日	担当者	専門科目	担当時間
月 水	㊟ 宮崎教授	内科	9:00 ~ 12:00
			16:00 ~ 17:00

※ 保健管理センター医師は㊟・学校医は㊟・学生相談室員は㊟で示す。

6. 関係職員（平成10年度）

○保健管理委員会委員

（平成 10. 4. 1 現在）

委員長	学	長	金	城	俊	夫
委員	教育	学	木	下	康	彦
〃	地域	科学	松	田	之	利
〃	医学	部	野	澤	義	則
〃	工学	部	清	水	宏	晏
〃	農学	部	中	村	孝	雄
〃	大学院	連合	杉	山	道	雄
〃	大学院	連合	鈴	木	義	孝
〃	医療	技術	武	内	章	二
〃	附属	病院	佐	治	重	豊
〃	保健	管理	安	田	圭	吾
〃	事務	局	鬼	島	康	宏
〃	学生	部	岩	田	弘	敏

○保健管理センター運営委員会委員

（平成10. 7. 1 現在）

保健管理センター所長	委員長	安田圭吾	備考
学生部長	委員	岩田弘敏	
保健管理センター教授	〃	後藤紘司	
〃 助手	〃	浅田修市	
〃 助手	〃	清水章子	
教育学部教授	〃	山内克典	
地域科学部教授	〃	津田雅夫	
医学部教授	〃	森脇久隆	
工学部教授	〃	丸井悦男	
農学部教授	〃	柵木利昭	
医療短期大学部助教授	〃	松宮良子	
庶務部長	〃	富張実	
学生部次長	〃	橋本俊二	

○保健管理センター

所長(併)	センター教授	安	田	圭	吾
医師	教授	後	藤	紘	司
〃	助手	浅	田	修	市
〃	〃	清	水	章	子
	看護婦主任	丹	羽	美穂	子
	保健婦	古	澤	洋	子
	〃	本	多	恭	子
	〃	長	瀬	江	利

(柳戸地区)

学生相談室員	教育学部教授	馬	路	泰	藏
〃	〃教授	三	井	淳	藏
〃	〃教授	大	井	修	三
〃	〃助教授	橋		良	治
〃	〃助教授	杉	森	弘	幸
〃	〃助教授	鈴	木		壯
〃	地域科学部教授	合	田	昭	二
〃	工学部教授	若	井	和	憲
〃	〃教授	渡	邊	貞	司
〃	農学部教授	笹	野	伸	治
〃	〃助教授	景	山	幸	二
学校医	平野病院院長	平	野	高	弘
	附属病院助手	加	藤	昌	彦
〃	〃助手	越	路	正	敏
〃	医学部助手	市	橋	直	樹
〃	附属病院医員	伊	藤	美	穂
〃	平野病院整形外科医師	青	木	隆	明

(司地区)

学生相談室員	医学部教授	小	出	浩	之
〃	附属病院助手	柴	田	敏	朗
学校医	〃助手	柴	田	敏	朗

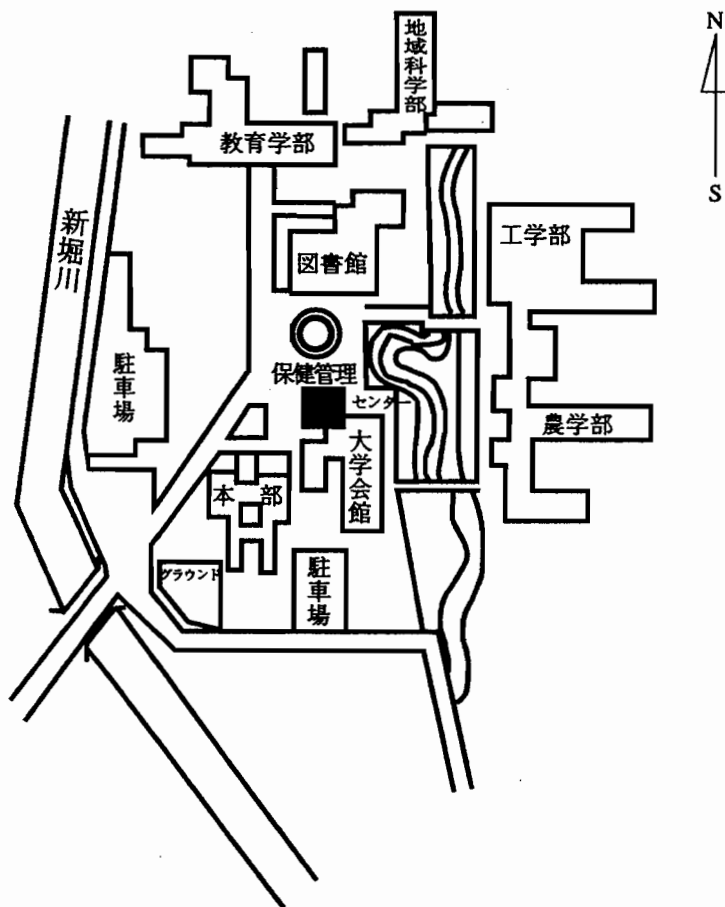
(北野町地区) <058> 262-1435

学生相談室員					
学校医	医療技術短期大学部教授	宮	崎	青	爾

○保健管理センターに関する事務担当課(学生部厚生課)

厚生課長	文部事務官	塩	川	銀	三
厚生係長	〃	岩	間	正	誼

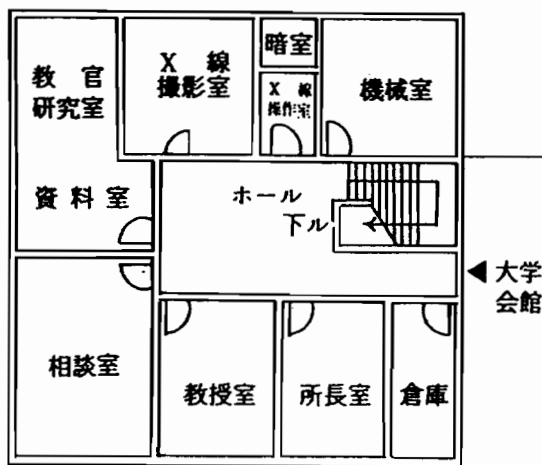
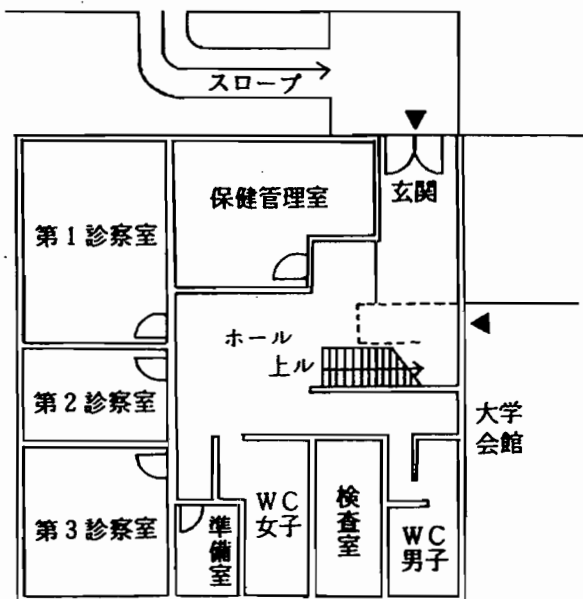
7. 保健管理センター位置図



保健管理センター平面図

1 階 (260 m^2)

2 階 (265.1 m^2)



8. 主要設備備品

(平成11年3月現在)

品名	規 格	数 量
顕 微 鏡	オリンパスEHS 423	1
〃	オリンパスBHS 111	1
ス ラ イ ド 映 写 機	マスターハイルクスズーム 300	1
映 写 機	キャビン4A・アタッシュ	1
X 線 撮 影 機	東芝KXO-15型	1
マ イ コ ン 心 電 計	多要素心電計 FCP-4101	1
マ イ ク ロ 波 治 療 機	ミナト医科学(株)製MT-300 N型	1
エースカウンター血球計数装置	フクダ電子 FLC-240	1
間 接 シ ャ ー カ ス テ ン	オリオン製 ORS-4013型	1
ワ ー ド プ ロ セ ッ サ ー	東芝パーソナルワープロルポ JW98W	1
パ ー ソ ナ ル コ ン ピ ュ ー タ ー	アップル M3704 J/A	1
〃	アップル Logitec LCM-17	1
〃	FUJITSU FMV-5133D7	1
ノ ー ト パ ソ コ ン	FUJITSU FMV-5200	2
テ レ ビ	ソニーKV 1300 外	4
ビ デ オ コ ー ダ ー	ナショナル AG 2700 外	2
パ ー ソ ナ ル コ ン ポ ー ネ ント ス テ レ オ	SONY MHC-P 77	1
血 圧 計	アコマ標準水銀	5
〃	ヤガミ スタンド式 外	6
シ ャ ー カ ス テ ン	オリオン 卓上用	3
寝 台	(ストレッチャ) マーキスMD 554 外	2
担 架	NK-1 スチールパイプ 外	2
滅 菌 器	エルクレープMAC-500	1
車 椅 子	KAMO KM-8	1
処 置 台	NK-30	1
高速オーション・アナライ ザー尿自動分析装置	京都第一科学製 HS-7型	1
ミニオーションアナライザン	MA-4240 京都第一科学製	1
グルコース・L・ラクテート アナライザー	MODEL 2300 STAT 日科機	1
呼 吸 機 能 測 定 器	AS-500 ミナト医科学	1

品 名	規 格	数 量
キャノン自動視力計	CV-20型	3
V D T 視力計一式	トーマー製 NS-05 OLV型	2
オージオメーター2人用	YN-2D型	1
体内脂肪計	タニタ TBF-102	1
肩整 タタキロボット	ナショナル モミモミ EP 569	1
摂取カロリー計算機	ダイエット カウンターB	1
検 耳 鏡	EN-29100 米国ウエルチアリ社	1
人口蘇生器	救急用 NKP-1型	1
皮下脂肪計	ヤガミ NK-60	1
人口呼吸訓練用人形	アイカニューレサシアン	3
実 験 台	ヤマト科学FFS-120M (R) 外	5
薬 品 戸 棚		7
器械卓子(ステンレス製)	キャスター付き製	1
保 管 庫	ヤマト科学SLK-15 外	10
冷 蔵 庫	ナショナル (G) NR-174TR 外	4
肺 活 量 計		2
背 筋 力 計	スパート スタンダード型	1
デジタル全自動身長体重計	ヤガミ PHS-S型 09946	1
体 重 計	MSH-150 外	2
身 長 計	ヤガミ デジタル式 外	3
座 高 計	ヤガミ デジタル式	2
医 療 バ ッ グ	G型 合成皮革	5
ス ク リ ー ン	三脚スタンド式	1
カ ロ リ ナ ー	スズケン 栄養指導用	1
370 視力検査器	YST-2	3
ライフコーダー	Kenz	2
マイクロスモーカーライザー	EC-50 ハンディタイプ ヤガミ	1

岐阜大学保健管理センター年報 第23号

平成12年3月 発行

編集
発行 岐阜大学保健管理センター

岐阜市柳戸1の1

TEL <058> 293-2174

(ダイヤルイン)